

第五十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會會議錄(速記)第十九回

會議

大正十五年三月九日(水曜日)午前十時
四十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤政之助君

理事 永田善三郎君

理事 吉津 度君

理事 岩切 重雄君

橋本 喜造君 飯塚春太郎君

神部 爲藏君 太田信治郎君

工藤 鐵男君 奧村 千藏君

佐藤富十郎君 斯波 貞吉君

來栖 七郎君 松本 眞平君

堀切善兵衛君 山本条太郎君

竹内友治郎君 長田 桃藏君

星島 二郎君 山内 範造君

田中 隆三君 本多貞次郎君

沼田嘉一郎君 清水 長郷君

佐々木平次郎君 岡田 温君

倉元 要一君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 濱口 雄幸君

農林大臣 早速 整爾君

商工大臣 片岡 直温君

出席政府委員左ノ如シ

復興局長官 清野長太郎君

大藏政務次官 武内 作平君

大藏參與官 三木 武吉君

大藏省主税局長 黒田 英雄君

大藏書記官 藤井 眞信君

農林政務次官 矢部規矩治君

農林參與官 小山 松壽君

農林省農務局長 高田 耘平君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

四圓五十錢ニナツテ居リマス、之ニ對シ
マシテハ現行法ノ据置ヲ主張致シマシ
テ、六圓ニ改メタイト云フノデアリマ
ス、以上三項目ガ修正ノ箇條デアリマ
スガ、之ニ就テハ極メテ簡單ナル説明
ヲ一言加ヘテ置キタイト思ヒマス、小
麥ヲ修正致シマスル理由ハ、我國ニ於
ケル農家ノ二毛作ト致シマシテ、小麥
ハ農家ニ最モ重大ナル生産物トシテノ
位置ヲ占メテ居ルノデアリマスガ、漸
次其小麥ノ價格ガ米ト間ニ平均ガ取
レマセヌノデ、昨今數年來ノ狀況ヲ見
マス、漸次作付段別モ減少致シマシ
テ、價格モ到底農家ノ生産ニ對シテ酬
ユルダケノ價格ニナツテ居ラナイト云
フ理由カラ致シマシテ、之ヲ引上ゲル
事ニ依テ作付段別モ増シ、農家ノ産業ヲ
助ケルト云フ立場カラ致シテ、之ヲ改メ
タイト云フノデアリマス、小麥粉ハ小麥ト
相伴ヒマシテ、當然ノ結果トシテ此程
度ニ改メタイト云フノデアリマス、五
十九ノ鳥卵ハ、是モ農家ノ副業ト致シ
テ最モ重要ナルモノデアリマスルガ、
政府當局ニ於カレテモ將來六年間計畫
ヲ立テマシテ、其期間ニ於キマシテハ
十分自給自足ノ途モ立ツト云フ見當モ
着イテ居ルノデアリマスカラ、此際鳥
卵ニ對スル稅率ヲ引上ゲマシテ保護ス
ルナラバ、暫クハ食料品トシテノ騰貴

ビオカ、マニオカ及セーゴ「コトンス
ターチ」是ハ現在我國ニ於キマスル農
家ノ食糧ト致シマシテ十分保護ノ必要
ノアルモノ認メマシテ、「タビオカ、マ
ニオカ及セーゴ」ハ二圓位ノ程度ニ引
上ゲタイ、「コトンスターチ」ハ三圓程度
ニ改メタイト云フ吾々ハ希望ヲ有ッテ
居ルノデアリマス、次ニ二十五ノ「菜子
及芥子」デアリマスガ、是モ菜種油ノ製
造業ノ立場カラ農村保護トノ關係ヲ考
慮致シマシテ、現在ノ六十五錢程度ガ
最モ適當デアルト考ヘタノデアリマ
ス、五十二稅番ノ「鳥獸肉類」デアリマ
スガ、此項目ニ對シマシテモ適當ノ修
正ヲ吾々ハ必要ト認メタノデアリマ
ス、五十二ノ「魚介」ノ「生鮮ナルモ
」竝ニ「鹹魚及乾魚」之ニ對シマシテ
モ現行ノ三割及一割五分ガ適當デハナ
イカト思フノデアリマス、五十三稅番
ノ「バター、人造バター」及ビ五十五稅
番ノ「コンデンスミルク」是モ乳製品ト
致シマシテ畜產獎勵ノ意味カラ今少シ
適當ナル保護ノ稅率ガ必要デアルト吾
吾々ハ認メタノデアリマス、七十二ノ「皮
革類」デアリマスガ、此中ノ「一ノ乙」、
是ハ主トシテ「キット革」ノ關稅ニ屬ス
ルモノデアリマスガ、現在ノ稅率デハ
多少當ヲ得ナイ點ガアルト思ヒマシ
テ、二百圓程度ニ引上ゲタイト考ヘル
ノデアリマス、丙ノ中「丙ノ一」「丙ノ
二」此兩方ニ對シマシテハ一ハ三十四
圓、二ノ方ヲ二十圓程度ヲ適當ト認メ

タノデアリマス、百十一番ノ「オレイ
ン」ニ付キマシテハ八圓五十錢ノ保護
ヲ必要ト認メマス、百九十五番ノ「フオ
リマリ」モ八圓程度ノ關稅ガ必要デ
ハナイカ、二百四十四番ノ「酸化コバル
ト(吳須ヲ含ム)」二百四十五番ノ「金
液」此兩稅番ハ現今我國ニ於キマシテ
ハ未ダ十分ナル生産ヲ見ナイノデアリ
マシテ、是ハ輸出貿易ノ陶器或ハ瑠璃
鐵器其他ノ關係カラ、現行法通り無稅
ヲ以テ最モ適當ナモノト認メタノデア
リマス、二百七十二番ノ「綿織絲」ノ中
ノ主トシテ甲ニ屬スルモノデアリマス
ガ、是ハ昨年議會ニ於テ三派ノ間ニ撤
廢ノ動議ガ成立致シタノデアリマシテ、
是ハ其意思ヲ尊重致シマシテ、矢張撤
廢ガ當然デアルト思フノデアリマス、
併ナガラ亦一面ニハ只今支那ノ關稅モ
未ダ尙ホ懸案ノ中ニアルコトヲ考ヘマ
シテ、相當ニ此問題モ前後ノ事情ヲ斟
酌シテ研究スル必要アリト考ヘタノデ
アリマス、二百七十三稅番ノ「綿絲ハ」カ
タ絲ニ屬スルモノデアリマスガ、之ニ
對シマシテモ相當ノ修正ガ必要デア
ルト信ジマス、二百八十七番ノ「生絲」
中ノ「二其ノ他」トアリマスガ、是ハ主
トシテ支那ノ絲ニ屬スルモノデアリマ
シテ、我國ノ生絲トハ別種ノモノニ屬
スルモノデアリマス、輸出貿易ノ立場
カラ致シマシテモ、是ハ無稅ガ適當ノ
モノデハナイカト考ヘルノデアリマ
ス、三百六十一番「製紙用バルブ」デア
リマスガ、其ノ一ノ「メカニカルバル
ブ」ハ既ニ今日我國ニ於テハ十分製造
能力ヲ持チマスルシ、此上保護致ス所
ノ必要ガナイガ故ニ、是ハ無稅ニスル
コトガ寧ロ適當デハナイカ、二ノ其ノ
他ハ「デビカルバルブ」ニ屬スルモノ
デアリマスガ、樺太廳ノ事情及國外ノ
輸出ノ事情ヨリ考ヘマシテ、五十四錢
程度ノ保護ガ必要デハナイカト認メル
ノデアリマス、三百六十二ノ「印刷料
紙」ノ中「一、アトトベーパー」「二、其ノ
他」ノモノデアリマスガ、是ハ日用品ト
シテ餘リ保護ニ過ギルコトハ十分考ヘ
ナケレバナラヌモノト考ヘマシテ、相
當引下ゲテ吾々ハ考ヘタノデアリマ
ス、四百五十二稅番ノ「寫眞用乾板」ニ
付キマシテモ、適當ナ修正ヲ希望致シ
タイノデアリマス、四百六十二ノ「鐵
」デアリマスガ、此問題ハ尙ホ希望第二
ノ中ニモアリマスカラ、其方面ニ於テ
簡單ニ意見ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒ
マスガ、其中ノ「リードワイヤ」ト「線索
及撚合線」之ニ吾々ハ適當ナ修正ヲ必
要ナリト考ヘルノデアリマス、五百二
十七ノ「懷中時計部分品」之ニモ適當ノ
修正ガ必要デアルト認メマス、五百五
十七ノ「樂器」ノ中ノ「ピアノ」ハ寧ロ贅
澤品ノ中ニ廻ス方ガ適當デハナイカト
考ヘマシテ、此際此關稅定率法ノ中ニ
於テ五割程度ノモノヲ必要ト認メマ
ス、五百六十八ノ「船舶」ハ我國ニ於ケ
ル古船ノ増加致シマスコトハ、船舶事

業ノ立場カラ致シテ頗ル不利益デアリ
マス、之ニ對シマシテモ相當ナ程度ノ
改正ガ必要デアル、寧ロ十年以內二十
年、及其ノ他ト三項目ニ分ケマシテ、
十五圓、二十圓、二十五圓ニ之ヲ區別
スルコトガ却テ適當デハナイカト考ヘ
ルノデアリマス、六百十二ノ「木材」デ
アリマスガ、是モ内地品ノ保護ヲ今少
シク考慮スル必要ガアルト認メタノデ
アリマス、六百三十五ノ「白熱電球」是モ
生産費ヲ調査致シマシテ、今少シ引下
ルコトヲ適當ト認メルノデアリマス、六百四
十ノ運動器具ニ對シマシテモ同様適當
ナル修正ヲ必要ト認メマシタ、以上申上
ゲマス所ガ吾々ノ附帶希望ニ屬スルモ
ノデアリマスガ、尙ホ此外ニ於キマシテ
モ勿論常設委員會ニ於キマシテ審査シ
テ、改ムベキモノハ十分之ヲ改メテ、來
ルベキ議會ニ提出致シタイト云フノガ
吾々ノ希望デアリマス、斯ク申上ゲマ
スレバ此際之ヲ改メルコトガ寧ロ適當
デハナイカト云フ議論モアリマスガ、
吾々ハ事總テ產業ニモ關シ、極メテ重
要ナル關係モ有シマスカラシテ、之ヲ
常設委員會ニ於テ更ニ慎重ニ取扱ヒマ
シテ、過チナキヲ期シテ來ルベキ議會
ニ政府ニ於テモ之ヲ提出サレンコトヲ
希望スル者デアリマス、附帶希望ノ二
ト致シマシテ、其一ハ不當廉賣防止ニ
關シ適當ナル修正ヲ希望スルノデアリ
マス、是ハ説明スル必要モナイト思ヒマ
ス、其二ハ稅番二百四十三、別號ニ掲ゲ

ザル合成染料ニ對スル輸入制限令ニ依
ル取扱ハ、將來使用者ヨリ申請アルト
キハ簡便迅速ニ其輸入申請ヲ許可シ、
營業者ノ利便ヲ圖ルコト、此問題ハ染
料ノ國策ニ關係アル問題デアリマシ
テ、又一面營業者カラ見マスレバ最モ
重要ナルモノトシテ、本委員會ニ於キ
マシテハ頗ル議論ノ繰返サレタルモノ
デアリマス、尙ホ濃度ニ關シマシテ相
當ナル取締ヲ爲スト云フ事モ、吾々ハ
此中ニ説明トシテ附加ヘテ置キマス
ガ、政府トシテモ相當ノ考慮ヲ煩シタ
イト思フノデアリマス、其三ハ稅番四
百六十二ノ鐵デアリマスガ、是ハ製鐵
國策ノ見地ヨリ致シマシテ、更ニ精査
シテ稅率ヲ變更シテ貫ヒタイト云フ希
望ヲ持ツテ居ルノデアリマス、鐵ノ問題
ハ更ニ製鐵獎勵法ナルモノモ近ク提出
サレルト云フノデアリマスガ、何レノ
點カラ考ヘマシテモ製鐵事業ヲ尙ホ此
上徹底的ニ國家ガ保護スルコトハ極メ
テ必要ナ問題ト考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、偶此委員會ニ於キマシテモ論
議サレマシタ如ク、目下印度トノ關係
モ外交上頗ル「デリケート」ナ關係ニモ
立ツノデアリマスカラ、此問題ハ是等
ノ外交問題ノ推移モ能ク見マシテ、次
ノ議會ニ於キマシテハ必ズ適當ナル修
正ヲ加ヘマシテ、眞ニ製鐵國策ノ確立
ヲ完ウスル如キ成案ヲ政府ニ於テ提出
サレンコトヲ特ニ希望スルノデアリマ
ス、以上ガ吾々ノ修正案ヲ昨日小委員

會ニ於キマシテ定メマシタ其報告デゴザ
イマス、尙ホ最後ニ一言私希望ト致シマシ
テ政府ニ御考慮ヲ煩シタイ事ガ一ツアリ
マス、ソレハ沖繩縣及鹿兒島縣ノ大島郡
ハ、本上トハ極メテ事情ヲ異ニ致シテ居
リマスノデ、生活ノ資料ニ於テハ極メ
テ缺乏セル狀況ニ在ルノデアリマス、
此關稅ノ増率ト云フモノニ對シマスル
關係ハ、内地トハ逆ナ地位ニ立ッテ居リ
マスノデ、或ハ生活ノ必需品其他ノ物
ガ騰貴致スコトハ、總テ移入國ト致シ
マシテ重大ナル負擔ヲ負ハナケレバナ
ラナイノデアリマス、此問題ニ對シマ
シテハ特ニ本土トハ異ナレル是等ノ事
情ヲ斟酌サレマシテ、政府ニテモ相當
ナル御考慮ヲ將來ニ於テ煩シタイト私
ハ考ヘルノデアリマス、以上ノ報告ヲ
以テマシテ修正案ヲ提出致ス次等デア
リマス、ドウゾ御賛成アラントラ希
望致シマス
○加藤委員長 此際大藏大臣ニ質疑ヲ
シタイト云フ通告ガアリマス——沼田
嘉一郎君
○沼田委員 私ハ只今岩切君ヨリ小委
員會ノ申合ニ對シテ述ベラレタ點ニ對
シマシテ、大藏大臣ハ如何ナル所感ヲ
有シテ居ラレルカト云フコトヲ先ヅ第
一ニ承リタイト思フノデアリマス
○濱口國務大臣 私出席ガ少シ遲レマ
シテ、岩切君ノ御演說ヲ途中カラ承リ
マシタガ、併シ御希望ノ點ハ大概承ッタ
積リデアリマス、數ヶ條ノ御希望ガア

リマシタガ、之ニ對シテハ篤ト考慮致
ス積リデアリマス、特ニ第一點ノ御希
望ニ對シテハ私申上ゲテ置ク事ガアル
ト思ヒマス、即チ岩切君ハ數ヶ條ノ品
目ヲ御舉ゲニナリマシテ、其品目ニ對
スル所ノ稅率ヲ相當ニ調査研究ヲ致
シ、議會開會後ニ於テ常設委員會ヲ設
ケテ、其常設委員會ノ諮問ヲ經テ政府ニ
於テ適當ナル所ノ案ヲ得タナラバ、其
改正案ヲ次期議會ニ提出セラレンコト
ヲ望ムト云フコトヲ述ベラレマシタ、
十數ヶ條ニ互テノ品目ヲ舉ゲラレマシ
テ、サウシテ最後ニ、其他ニモ尙ホ改正
ヲ要スル點ガアルト認ムルニ依テ、之ニ
付テモ委員會ニ於テ十分ナル調査研究
ヲシテ貫ヒタイ、斯ウ云フ御希望デア
リマシタ、關稅ノ常設委員會ヲ設ク
ルト云フコトニ付キマシテハ、御希望
ガアリマセヌデモ政府ニ於テ相當ノ考
慮ヲ致シテ居リマス、議會ガ終リマス
レバ直ニ委員會ヲ設クル考ヲ持ッテ居
リマス、而シテ之ニ付キマシテハ相當
ノ費用ヲ要スル事勿論デアリマスルガ
故ニ、大正十五年度ノ追加豫算ヲ提出
致シマシテ、其委員會ニ要スル經費ヲ
要求スル考ヲ以テ、追加豫算ノ編製中
デアリマス、政府ガ委員會ヲ設ケルト
云フコトヲ考ヘマシタ所以ノモノハ、
申ス迄モナク此關稅ヲ課スベキ所ノ品
目ハ、其番號カラ申シマシテモ七百有
餘ノ多キニ達シテ居ル、稅率ノ異ル毎
ニ細分ヲ致シマスレバ、一千數百ノ多

キニ達シテ居リマス、此度ノ改正ニ於
キマシテ政府ハ相當ノ機關ノ調査ヲ經
マシテ、出來得ルダケ研究ヲ致シ、適當
ト認ムル所ニ依テ提案ヲ致シマシテ
協賛ヲ仰イデ居ル次第デアリマスル
ガ、併ナガラ内外ノ產業界、經濟界ノ狀
況ハ日ニ月ニ變化ヲ致シテ止ラヌモノ
デアリマス、隨テ今日ニ於テ適當ト考ヘ
テ提案ヲ致シテ御協賛ヲ得テ置キマシ
テモ、半年一年ヲ經過スルニ從ッテ、產
業界或ハ經濟界ノ變遷ニ依テ、ソレガ
適當デナイト云フコトニナルモノガア
ルト云フコトハ、是ハ避クベカラザル
コトデアリマス、隨テサウ云フ場合ニ
對シマシテ、怠ラズ調査ヲ致シ、以上ノ
變遷ニ應ジテ一度定メタ稅率ヲ改正ス
ルト云フコトハ、是ハ最モ必要ナ事柄
デアルト考ヘマシテ、其爲ニ委員會ヲ
設ケル考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、其
委員會ヲ設ケマス以上ハ、只今岩切君
ガ御舉ゲニナリマシタ各品目ニ付キ、
又ハ御舉ゲニナリマセヌデモ、其以外
ノ品目ニ付キマシテモ、政府ハ相當ノ
研究ヲ致シマシテ、其原案ヲ委員會ニ
附シテ、其委員會ノ諮問ヲ經マシテ改
正スルコトガ適當デアルト云フコトヲ
發見致シマシタ場合ニ於テハ、相當ノ
案ヲ具シテ次期ノ議會ニ改正案ヲ提案
ヲ致シタイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマ
スカラ、此事ハ特ニ申上ゲテ置キマス、
其他ノ御希望ノ點ニ付キマシテハ、大

體ニ於テ異存ハアリマセヌガ、尙ホ篤ト調査攻究ヲ致ス積リデアリマス

○加藤委員長 尙ホアリマスカ、成ベク一ツ簡明ニ御願ヲシタイ

○沼田委員 アリマス——修正ヲシテ居リマス所ノ小麥、小麥粉並ニ鶏卵ノ修正ニハ、政府ハ御同意ノ御意見ヲ持ッテ居ラレカト云フコトノ御所感ヲ承リタイト思ッテ居リマス、ソレニ對スル御答辯ハ承ッテ居ラヌヤウニ思ヒマスガ、重ネテ御尋致シマス

○濱口國務大臣 其修正ノ點ニ付キマシテハ、私丁度出席ガ遅レマシタカラ、其間ニ御述ニナッタヤウデアリマス、只今御答ヲ漏シマシタ、此度ノ改正案ヲ提案致スニ付キマシテハ、先刻申シマシタ通り、政府ハ相當ナル機關ノ議ヲ經マシテ、調査攻究ノ上適當ト信ジタル所ニ依テ提案ヲ致シデアリマス、隨テ只今岩切君ノ修正ノ御意見ヲ承ッタル儘デハ、マダ政府ノ態度ヲ申上ゲル時機ニ達シテ居ラスト思ヒマス、其修正案ガ此委員會ヲ通過シ、又衆議院ヲ多數ヲ以テ通過シタ場合ニ於キマシテハ、相當ノ考慮ヲ致シマスガ、今日ニ於テハ其修正ノ御案ニ對シマシテ政府ノ意見ヲ發表スル時機デハ只今ハナイト思ヒマス

○沼田委員 能ク意味ハ分リマシタノデアリマスガ、私共モウ一步進メテ御尋致シタイト思フノデアリマス、現内閣ノ方針——大藏大臣ガ終始口ニシテ

居ラレルコトハ、所謂稅制整理ノ場合ニ於キマシテモ社會政策ヲ以テ進ムモノトシテ居ラレル、今岩切君ノ修正セラレル七百バカリアル稅番ノ中、特ニ小麥、殊ニ小麥粉、鳥卵、是ハ國民生活ノ必需品デアアルノデアリマス、政府ノ社會政策ト云フモノノ見地カラ見マシタナラバ、之ニ向ッテ直ニ政府ハ同意ヲスルコトノ御出來ニナルモノト云フ私ハ御言明ヲ得ラレルモノト思ッテ居ッタデアリマス、大藏大臣平常ノ御抱負、平常議場ニ於テ聲明セラレ、國民ノ前ニ聲明セラレル其意氣ト御精神ニ依テモ、是アルベキモノハ當然ト私共ハ思ヒマス、特ニ此七百幾番アル中ニ於テ、國民ノ生活必需品デアアル小麥並ニ小麥粉、鳥卵ノ修正ヲスルト云フ、此申合セニ對シマシテハ、政府ハ直ニ御答ガ出來ナケレバナラヌモノデアアル、考慮スルト云フコトニ付テハ、私共ハ大藏大臣ノ平常ノ御意見ニ對シテ疑ガ起ルノデアリマス、重ネテ御尋致シマスガ、矢張考慮ノ意味ヲ以テ御答ニナルノデアリマセウカ

○加藤委員長 モウ御意見ノヤウデアリマスガ

○沼田委員 意見デアアリマセヌ

○濱口國務大臣 御答致シマスガ、同ジコトニナリマスケレドモ、政府ハ適當ト信ジタル案ヲ提案ヲ致シデアリマス、ソレニ依テ御協賛ヲ仰イデ居ルコトデアリマスガ、今日ニ於キマシハマ

ダ修正案ニ對シテ意見ヲ申述ブル機會デナイト思ヒマス、是ハ今申シマシタ通り、其修正案ガ多數ヲ以テ衆議院ヲ通過シマスレバ、其時ニ於テ適當ニ考慮シマス、今日ニ於テハ是以上ノ御答ハ出來マセヌ

○沼田委員 一寸御尋致シマス、サウスルト大藏大臣ハ唯鳥卵小麥ト云フモノニミナラズ、總テノ稅番ニ對シマシテ、若シ此委員會ガ修正ヲ行ヒマシタ場合ニ於テモ、丁度同一ノ御考ヲ持ッテ居ラレルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

○濱口國務大臣 ソレハ具體的ノ問題デアリマセヌト御答ハ出來マセヌ、他ノ修正ヲ加ヘタ場合ニ於テト云フ假定ノ問題ニ對シテハ、私ハ御答ハ出來マセヌ

○加藤委員長 佐藤富十郎君ハ通告ハアリマスガ、大藏大臣ニ何カ質問ガアリマスカ

○佐藤委員 止メマス

○加藤委員長 ソレデハ山本条太郎君

○山本委員 私ハ修正案ノ提出者デア

ル岩切君ニ對シテ、此修正ヲ加ヘラレタルコトニ付テ私共ノ疑問ノ點ヲ御尋致シタイト思ヒマス、岩切君ハ小麥、小麥粉及鳥卵ニ對シテ修正ヲ御提議ニナリ、且ツ其理由ヲ御述ニナッタノデアリマスガ、私共考ヘテ見マスルト、此小麥ト申シ、小麥粉ト申シ、鳥卵ト申シ、悉ク我國ノ農產物ナリ、或ハ農業ノ副產

物トシテ重要ナルモノデアリマスルガ、此御修正ニナッタ趣旨ガ、若シ日本ノ農產物ノ生産ノ増大ヲ期スルト云フ意味ニ於テ御修正ニナッタノデアアルト致シマシタナラバ、他ノ農產物モ亦等シク同ジ考慮ヲ加ヘラレネバナラヌコトニナリハセヌカト考ヘルノデアリマス、殊ニ我國ニ於ケル重要食糧タル米、麥トノ關係上、小麥ノコトハ只今モ御話ニナリマシタル通り、二毛作ノ獎勵デアアルトカ、政府モ亦農業ノ改良ト云フコトニ對シテハ、特ニ御考慮ニナッテ居ルコトデアリマスルカラ、此生産ヲ増スト云フコトハ洵ニ尤ナ案デアリマスルガ、併ナガラ重要食糧ノ生産ヲ増スト云フ點ニ至ッテハ、私共ノ意見ハ小麥ニ對シテ米ヲ考慮スルコトガ更ニ重要ナル問題デアリハセヌカト信ジテ居ルノデアリマス、吾々ノ承ッテ居リマス所ノ統計ニ依リマシテモ、過去三十四年ニ互リ我國ノ米ノ出來高ハ著シク増加致シテ居リマス、其段別ニ對スル收穫ノ率モ亦大ニ増進致シテ居ルノデアリマス、其上ニ我國ニハマダ未開墾地ト稱スルモノガ二百餘萬町歩アル、更ニ耕地整理ヲ要スルモノガ百二十萬町歩アルト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、内地ノ狀況ハ斯ノ如クマダ農事ニ大ナル開拓ヲ要シ、農業ノ改良ヲ要スル點ガ澤山アル、其外ニ朝鮮ニ於テノ產米計畫ノ如キ、既ニ政府ハ計畫ヲ立テテ御進行中ニ相成ッテ居ル、臺灣

ニ於ケル米種ノ改良モ、近來ニ至ッテハ著シク改良セラレ、殆ド内地米ニ異ナラザル米ガ臺灣カラ輸入セラレル、斯ノ如クニシテ、我國ニ於ケル米ノ生産ヲ増スト云フコトハ、頗ル確實ナル根據ガアル、之ヲ小麥ノ增收ヲ圖ル點カラ較ベテ見タナラバ、其確實性ハ遙ニ優ッテ居ル、又生産ノ餘地ニ對シテモ、確ニ小麥ニ對スルヨリハ更ニ多クノ餘裕ヲ存シテ居ルト云フコトニ吾々ハ信ジテ居ルノデアリマス、私共ガ概算シテ見マシテモ、若シ是等ノ諸計畫、大藏大臣ガ關稅委員會ノ當初ニ於テ御述ニナリマシタ如ク、此關稅政策及各般ノ施設ト相俟ッテ、多クノ産業ノ發達ヲ圖ルト云フ御趣旨ノ下ニ此案ヲ考ヘテ見マシテモ、米ノ生産額ハ或ハ七八年若クハ十年ノ後ニハ——遠イ將來ノコトハ今此所デ想像スルコトハ出來マセヌガ、米ダケハドウヤラ日本ノ國內ニ於テ自給自足ヲスルコトガ出來ルト云フ數字ヲ認メテ居ルノデアリマス、斯様ニ確實ニ生産ヲ増シ、我國ニ於ケル最も重要食糧ノ根本問題タル米ニ對シテ生産ノ増大ガ出來ルト云フコトガ、總テノ統計事實ニ於テ認メラレテ居ルニ拘ラズ、小麥ダケ御引上ゲニナッテ而シテ米ノ事ハ何等顧ミラレナカッタト云フコトハ、若シ關稅ノ御修正ニ際シ小麥ニ對スル御修正ガアツタ趣旨ガ、日本内地ノ根本食糧ノ生産ヲ増大スルト云フ御趣旨デアッタナラバ、米ヲ顧ミラレ

ナカッタコトハ甚ダ其意義ガ徹底セヌト云フ感ジガ致スノデアリマス、此點ニ付テハ必ズ重大ナ事デアリマスカラ、黨ニ於テモ御評議ガアツタコト考ヘマフガ、御意見ガアリマシタラ伺ッテ置キタイ

○岩切委員 只今山本君ノ御質疑ガアリマスガ、私ヨリ御答ヲ致シマス、只今御質問ノアリマシタ如ク、米ガ或ハ産米計畫其他耕地整理ノ餘地ガ有ッテ十分増殖ノ目的ガ達シ得ラレルニモ拘ラズ、小麥ノミニ其方針ヲ採ッタ理由ハ如何ト云フ御質問デアルト思ヒマス、只今御質問ノアリマシタ如ク米ノ數量ノ増加ト云フ點ハ、或ハ産米計畫ニ依リ、或ハ耕地整理ニ依リ、之ヲ達スル途ガ有ルト思フノデアリマス、尙又價格ヲ相當ニ維持スルト云フ點ニ對シマシテハ、米穀法ノ今日設ケラレテ居ルコトモアルノデアリマス、然ルニ小麥ニ對シマシテハ從來殆ド顧ミラレナカッタ狀況ニアルト吾々ハ信ズルノデアリマス、假ニ小麥ト米トノ關係ヲ考ヘテ見マスルト、大正六七年頃ニ於テ最も小麥ノ値段ノ著シク騰貴致シマシタ時代ノ物價指數ヲ見マシテモ、米ガ百デア

ル場合ニ小麥ハ七十二、大正七年ノ米ノ百ニ對シテ小麥ハ七十一ト云フ數字ヲ示シテ居リマス、大正七年、八年、九年、十年、十一年、十二年、十三年ト漸次年次ヲ經マスニ從ヒマシテ、米ニ對スル小麥ノ價格ハ段々落キマシテ、七十

ニデアッタモノガ大正八年ニハ五十一ニナリ、九年ニハ四十九ニナリ、翌年ハ六十二ニナリ、四十八ニナリ、四十九ニナリ、大正十三年ハ百ニ對スル四十八ト云フ指數ヲ示シテ居ルノデアリマス、尙又作付反別ニ於キマシテモ、小麥ハ大正七八年頃ニ比ベマスト漸次減少致シテ居リマス、即チ米ニ對シテハ從來色々ナ方法ヲ講ジ、尙ホ既ニ産米計畫ノ如キモ計畫サレテ居ルノデアリマスケレドモ、小麥ニ對シテハ政府ガ何等顧ル所ガアリマセヌノデ、之ヲ關稅ニ依テ増殖ヲ圖ルコトガ出來マスナラバ、農家ノ爲ニ極メテ有利デアルト考ヘマシタカラ、小麥ニ對シテ此方策ヲ採ッタノデアリマス、尙ホ説明ノ足りナイ所ハ我黨ノ田中君カラ或ハ答辯サレルカト思ヒマス

○山本委員 御説明ヲ承リマシタガ、値段ガ特ニ廉イ、ソレ故ニ特ニ小麥ダケヲ關稅ニ依テ保護スルト云フ御話デアリマス、大體農産物ト致シテハ吾々ノ見ル所デハ容易ニ生産ノ増大シ得ラレル物ニ對シテ、國家經濟ノ見地カラ先ヅ第一ニ加ヘネバナラス、又社會政策ノ上カラ見テモ、生産ノ増大ニ依テ其價ヲ下ゲルト云フコトガ根本問題デアアル、御話ノ通り米穀調節法ト云フヤウナモノガアリマスガ、是ハ暴騰暴落ヲ防グ一時ノ調節法デアリマシテ、根本問題トシテハ國ノ生産能力ヲ増大スルノ外其價格ヲ下ゲ、或ハ國際貸借

上資源ヲ與ヘルコトハ出來ナイ、此見地カラ見マシテドウシテモ小麥ニ對スル關稅ヲ引上ゲルナラバ、米ニ對シテハ小麥以上ニ之ヲ保護スル必要ガ當然アラネバナラスト私共考ヘル、其外ニ若シ小麥ニ對シテ只今仰セノ如クデアリマスレバ、他ノ農産物中大豆ノ如キ、是ハ味噌ノ原料トナリ豆腐ノ原料トナリ、無論國民ノ生活品ノ中デハ重要ナモノデアッテ、現ニ五千萬圓乃至六千萬圓ノ輸入ヲ致シテ居ル、之ニ關聯シテ小豆ノ如キ、蠶豆ノ如キ、綠豆ノ如キ、豌豆ノ如キ、岩切君モ御承知ノ如ク是等ノ豆類ハ北海道ニ於テハ重要農産物トシテ、著々其産額モ増シツツアルノデアリマス、此小麥ノ關稅ヲ考慮セラレルナラバ、矢張之ニ附屬シテ只今申述ベマシタル豆類モ亦相當ノ保護ヲ加ヘルコトガ必要デアラウト考ヘマシタガ、此豆類ニ對シテハ必ズ相當ノ御考慮ガ拂ハレタト思フノデアリマス、御意見ガアリマシタラ其點ヲ御伺致シテ置キマス

○岩切委員 只今更ニ山本君ヨリ豆類ニ對スル吾々ノ修正ノ態度ヲ御質問デアリマスガ、勿論農家ノ生産物ト致シマシテ豆類ニ對スル保護ヲ是レ以上加ヘテ、農家ノ爲ニ利福ヲ圖ルコトハ當然デアルト吾々ハ信ズルノデアリマスガ、豆類ハ御承知ノ通り大正十三年ノ數字ヲ見マシテモ、六千萬圓以上輸入ヲ致シテ居リマシテ、内地ノ生産ト非

常ニ其數量ニ於テモ懸隔ガアルノデア
リマス、今立口ニ豆ノ稅率ヲ上ゲルト
云フコトハ勿論必要デアルカモ知レマ
セヌガ、尙ホ是ハ調査ヲシテ見ナケレ
バ如何ナル結果ニナルカ、小麥ニ對ス
ル程ノ確信ガ吾々ニハ十分無イノデア
リマス、故ニ此問題ノ如キハ常設委員
會等ニ於テ十分研究シテ見ルノガ、却
テ親切ナ方法デハナイカト吾々ハ考ヘ
ルノデアリマス

○山本委員 更ニ鳥卵ヲ——農家ノ副
產物ノ中デ特ニ鳥卵ダケヲ御選ミニナリ
マシテ、茲ニ稅率ノ御修正ガアッタノデ
アリマス、農家ノ副產物及農產物ハ多岐
多端ニ互ッテ居リマスルノデアリマシ
テ、吾々ノ見ル所ニ依リマシテモ牛肉
ノ如キ或ハ豚肉ノ如キ、悉ク農家ノ副
業デアリ、又農產物ノ中ノ主要品デア
ルト考ヘルガ、先刻御述ニナリマシタ
ル希望條件トシテ、肉類モ、「コンデン
スミルク」モ、「バター」モ、御希望トシ
テ之ヲ調査會ニ於テ考慮スル、又引上
ゲネバナラヌ必要ガアルト云フ御話デ
アリマシタケレドモ、此場合ニ於テ、總
テノ農產物ヲ論ズル場合ニ當ッテハ、特
ニ鳥卵ダケヲ選ビ、他ノ肉デアルトカ、
其ノ他ノ物ハ之ヲ殘シテ、特ニ鳥卵ダ
ケヲ選ブト云フコトノ理由ガ、私共ニ
ハ甚ダ徹底セヌヤウナ考ガアリマス、
此點ニ於テ特ニ鳥卵ヲ御選ビニナッ
ト云フ意義ヲ明ニシテ置キタイト思ヒ
マス

○岩切委員 是ハ修正案ヲ說明致シマ
スル當時ニ申上ゲマシタ通り、政府ニ
於キマシテモ鳥卵ニ對シテハ六箇年計
畫ナルモノヲ發表致サレマシテ、六年
後ニ於テハ十分内地ニ於ケル自給計畫
ガ立ツト云フコトヲ政府ハ説明サレタ
ノデアリマス、然ラバ政府トシテモ十
分ナル見込ガ立チ、目下千數百萬圓ノ
輸入ニ對シテ六年後ニ於テハ、相當ニ
之ニ對スル調節ノ途ガ付クト云フ政府
ノ自信モアリマスカラ、此際鳥卵ハ特
ニ之ヲ現狀ヲ維持シテ、三品ヲ選ブ政
策ヲ執ル方ガ宜イト云フ、其方針ガ確
立シタ、吾々ニ於テモ確立シタノデア
リマスカラ、之ヲ特ニ是ニ掲ゲタノデ
アリマス、肉類ニ對シマシテハ山本君
モ御承知ノ通り、我國ニ於ケル產牛ト、
之ニ對スル需要トノ差ガ極メテ順調ニ
行ッテ居ナイ、是ハ政府ガ差出サレタ調
書ヲ見マシテモ、一箇年ニ我國ニ生レ
ルモノハ二十一萬頭デアッテ、屠ル數ガ
三十萬頭ニ達シテ居ルトスレバ、ドウ
シテモ之ニ對シテモ、此鳥卵ノ如キ計
畫ガ立ッテ居ルナラバ宜シイ、ケレドモ
ソレガ立ッテ居ナイ、殊ニ此輸入表ヲ見
マスト、牛肉ノ如キモ一箇年ニ於ケル
輸入ハ八百萬圓ニモ達シテ居リマス、
今之ヲ抑ヘルト云フコトハ非常ニ十分
ナ確信ガアレバ勿論吾々ハヤリマス
ケレドモ、此點ニ於テ尙ホ慎重ニ取調ベ
ル必要ガアルト考ヘマシタカラ、是ハ
調査委員會ノ問題ニ移スコトヲ適當ナ

リト吾々ハ信ジタノデス
○山本委員 岩切君ノ此關稅ニ對スル
御修正ハ三項目ニ互ッテ居リマス、即チ
小麥、小麥粉及鳥卵ノ三品ヲ特ニ選ン
デ御修正ニナリマシタ、私共ガ此一般
ニ互リタル關稅ノ改正及其品目ニ互
テ連日調査ヲ致シ、且ツ政府ノ御意見
モ伺ヒ、又委員諸君ノ政府ニ對スル御
質問ノ模様ヲ拜見致シテ居リマシテ
モ、全般ヲ通ジテ此際特ニ全部ノ、若シ
關稅案ガ政府ノ御提案通りデ據置カレ
タト云フコトデアッテ、其他ノ部分ガ總
テ調査會ニ於テ議會閉會後ニ更ニ詳ニ
調査ノ上、上ゲル物モ下ゲル物モ極メ
ルト云フコトデアアルナラバ、マダ主義
ハ一貫シテ居ルノデアリマス、併ナガ
ラ先刻大藏大臣モ御述ニナリマシタ如
ク、全體ノ品目ニ互ッテハ千數百種ノ多
クニ互ッテ關稅ノ改正ヲ行ハレント致
シテ居ルノニ對シテ、特ニ此三目ヲ選
ビ、御修正ニ相成ッタノデアリマス、岩切
君モ長イ間詳ニ生産者及消費者カラ各
種ノ陳情ヲ御受ケニナリ、又ソレニ付
テ御考慮ニナッタコトハ私共ト同ジコ
トデアラウト推察ヲ致スノデアリマス
ガ、私共ハ總テ貿易關係、經濟關係、消
費生産ノ關係ヲ考ヘテ、當然此際ニ改
正セネバナラヌ物ガ多々アルト認メタ
ノデアリマス、御修正ニナリマシタル
三點ダケガ此場合ニ於テ絕對必要デア
ル、此事ハ或ハ意見ノ相違ト云フコト
ニナルカモ知レマセヌガ、他ノ項目ハ

先刻多數ノ物ヲ御述ニナリマシテ、ソ
レニ對シテノ御希望トシテ御述ニナッ
タノデアリマスガ、大體論トシテ今回
ノ關稅改正ニ當ッテ當然避クベカラザ
ル物、絕對必要ナリトセラレタ物ハ此
三品ニ止マルト云フ御意見デアリマ
セウカ、一般的ノ事ニ付テ御尋致シマ
ス

○岩切委員 只今山本君ノ御質問ノ如
ク、勿論吾々ハ三品ヲ以テ最モ急ヲ要
シ、其他ノ物ハソレ程急デナイト云フ
ヤウナ考ハ無イノデアリマスケレド
モ、只今申上ゲマシタ通り、小麥ノ増殖
ニ對シマシテハ、吾々ハ先ニ申上ゲタ
ヤウナ確信ヲ持チ、玉子ニ對シマシテ
ハ政府ハ六年計畫ヲ立テテ、之ニ對シ
テ確信ヲ持ッテ居ルノデアリマス、小麥
粉ハ小麥ト當然伴フ問題デアッテ、此三
者ハ此際速ニ改正スルモ何等差支ハナ
イト考ヘマシタカラ、此問題ヲ提出致
シマシタ、其他ノ問題ノ中ニ於キマシ
テハ勿論十分調査スレバ、小麥、玉子ノ
如キ確信ヲ持ッ物モアリマスケレドモ、
中ニハ鐵ノ如キ未ダ懸案ニナッテ居ル
物モアリ、或ハ染料ノ如キ、對外關係ニ
於テ懸案ニナッテ居ル物モアルシ、之ヲ
一年間延期シテ、更ニ過ナカラシメテ、
慎重ニ精査スルト云フコトモ、産業發
展ノ爲ニ賢明ナル一策デアルト吾々ハ
考ヘマシタカラ、其方針ヲ執ッタノデア
リマス

○山本委員 私ハソレダケデアリマ

ス
○加藤委員長 尙ホ御質疑ノ通告ガアリマスカラ、順ヲ追テ御許シヲシマスカ、成ベク簡單ニ明瞭ニ御願ヒシタイ
——倉元君

○倉元委員 私モ岩切君ニ御尋シタイト思ヒマス、岩切君ハ將來設定セラルル關稅ノ常設委員會ト云フコトヲ御希望ニ依テ御述ニナリマシタ、之ニ依テ將來ノ稅率ヲ確定スルコトガ、最モ今日ノ事情ニ適應シタ處置デアルト云フ風ニ御説明ニナリマシタガ、今山本君カラモ數回ニ互テ質問致シマシタヤウニ、此三品ニ限ッテ此際修正ヲ必要トシ、丁度岩切君ノ述ベル小麥ニ對シテハ他ノ農產物ト比較シテ、茲ニ是ガ今稅率ヲ課稅スベキ適切ナル品目デアルトシテ、御舉ゲニナリマシタ如ク、他ノ工業品其他ノ產業方面ニ於ケル農產品以外ノ物ニ對シテ、左様ニ御認メノモノハ常設委員會ニ之ヲ讓ッテ見テモ、政府ガ是以上ノ確信アル案ガ出來マシヤ否ヤト云フコトハ、甚ダ疑問ニ屬スル事ダト思ヒマス、又先刻ノ大藏大臣ノ沼田君ノ御質問ニ對スル御答辯ヲ承ッテ見テモ、日ニ月ニ進歩スル產業界ノ狀態ハ、其時ニ依テ變革ヲ來スノデアリマスカラ、其時期ニ對應スル所ノ改正ヲ行フコトガ最モ必要デアルト認メル、ソレ故ニ委員會ト云フモノヲ常設シテ其諮問ニ付スルノデアアル、斯ウ云フヤウナ御答辯ヲ伺ッテ見マス、

私ハ岩切君ノ御修正論ハ、甚ダ當ヲ得ナイコトデハナイカト思フ、吾々ハ此政府ガ確信ヲ以テ提出シタ所ノ改正稅率ニ對シテ四十日間審議ヲシ、若モ質問ヲ打切ッテ、十日間各派政黨政派ヲ超越シテ、產業ノ爲ニモ、國民生活ノ爲ニモ、協議ヲ重ネテ行ッタノデアリマス、サウ致シマスレバ是ハ私ハ岩切君ノ御主張ハ甚ダ矛盾シテハ居ヤシナイカト思ヒマス、大藏大臣ガ今申上ゲルヤウナ御答辯デアッテ見レバ、此確信ヲ以テ出シタ現在ノ案ニ對シテ、適當ト信ズル修正ヲ加ヘルコトガ最モ必要デハナイカ、ソレガ若シ吾々ノ修正ガ妥當デナカッタナラバ、常設委員會ニ於テ之ヲ審議ヲ重ネテ、又改正スル必要ガ生ズルデアラウガ、兎ニ角茲ニ政府ガ是以上ノ案ハ出來ナイトシテ出シタ案デアルナラバ、是ハ吾々四十日間慎重審議ヲシ、確信ヲ以テ修正シテ而シテ後トハソレハ、常設スル委員會ノ審議ニ付スルト云フコトガ、最モ吾々ハ深切ナ遣方デアリ、吾々ノ責任ヲ果ス上ニ於テ、左様ニ考フベキモノデアルト考ヘルノデアリマス
○加藤委員長 其處ハ意見ノ違ヒノヤウデスカ、成ベク疑問ダケヲ御尋ネ願ヒタイ
○倉元委員 意見デハアリマセヌ、私ノ疑問ハ今申述ベマシタ通りデ、甚ダ矛盾ノ嫌ガアルヤウデアリマスカラ、先ヅ其點カラ承ッテ、次ニモウ一ツ御伺

ヒ申シマス
○岩切委員 只今倉元君ノ御質問ハ、山本君ノ最後ノ御質問ト同一ノ御質問デアルト思ヒマスガ、政府ハ勿論確信シテ、適當ナルモノトシテ此案ヲ提出サレタモノデアアル、吾々ハ政府ノ此案ヲ總テ完全此缺トハ考ヘナイノデアリマス、故ニ先ヅ農產品ノ三種ニ對シテハ、此際之ヲ修正スル確信ヲ得マシタカラ、之ヲ修正致シタノデアリマス、工業品モ同一デハナイカト云ハレマスガ、勿論其中ニハ、モウ少シ調べテ確信ヲ統一スルモノガアルト考ヘマスガ、未ダ其確信ガ統一シナイ、殊ニ鐵其他ノ物ハ尙ホ懸案中ニ屬スルモノデアアルガ故ニ、之ヲ一箇年審査ヲ委員會ニ付シテ最モ慎重ニ論議スルコトモ、却テ適當ナリト信ジマシタガ故ニ、此修正案ヲ茲ニ出シタ次第デアリマス
○倉元委員 總テノ品目ヲ通ジテ今承ルト、山本君ニ御答ニナッタト同一ノ御答デアリマスケレドモ、先刻來岩切君ノ御希望トシテ御述ベニナリマシタ十幾種ニ互ル農產品以外ノ御希望條件トシテ御述ベニナッタ品目、此品目ニ付キマシテノ御意見中ニ、相當稅率稅額マデモ決定の御述ベニナッテ居ル、斯ウ云フ額ニ御修正ニナルガ適當デアルト云フヤウナ風ニ御述ベニナッタヤウニ承リマシタガ、左様ニ稅率ノ金額マデモ御示シニナル位マデニ確信ガアリマスナラバ、私ハ相當ニ御研究ガモウ是

ハ付イテ居ルモノト思ヒマス、確信ノアルモノト解釋致シマス、ソレハ今ノ政府ノ案ハ杜撰デアアル、吾々ハ研究ノ餘地ガアル、モット立入ッテ深ク研究シタイ、ソレ程マデニ仰シヤルナラバ、何モ急イデ本期議會ニ必シモ決定シナイデモ宜シイ、質問モ討論モ打切りヲシナイデモ宜シイ、堂々ト質問ヲ繼續シテ御ヤリニナルガ至當デハナイカ、ケレドモ是ハ岩切君ハ四十日間二十何回委員會ヲ開會シテ、十分ニ意見ヲ盡サレ、修正意見ニハ十分ニ決定の、是ハ幾ラ、是ハ凡ソ斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルト云フ風ニ御述ベニナッテ居ル、之ニ對シテ御確信ガ無イヤウニ仰シヤルコトハ、甚ダ腑ニ落チナイ、ソレデモ尙ホ御確信ハ無イノデアリマス
○岩切委員 品目ノ中へ、例ヘバ無稅ニスルトカ、或ハ何圓ニ引上ゲテハドウカト云フ意見ヲ述ベタノデアリマスガ、ソレハ吾々ハ只今ノ調査ハ、吾々ノ確信カラ云ヘバ、其制度ガ最モ適當ナリト思ヒマスケレドモ、尙ホ之ヲ審査スル必要ガアルト云フ點ヲ私ハ述ベタノデアリマス
○倉元委員 岩切君ノ御修正ノ二圓九十錢、此二圓九十錢ト云フ算盤ノ基礎ヲ私ハ御伺ヒシタイ、小麥粉ヲ製造スル所ノ主ナル會社ノ事業利益ト云フモノハ、ドウ云フ風ニ御覽ニナッテ居リマスカ、輸出入ノ關係ト之ヲ對照シテ、ドウ云フ風ニ算盤ヲ御持チニナッテ居ル

カト云フコトヲ、詳細御述べテ願ヒタイ

○岩切委員 ソレハ現行法ニ依リマスレバ小麥七十七錢、小麥粉一圓八十五錢ト云フコトニナツテ居ル、此七十七錢ト一圓八十五錢トノ間ニハ一ツノ率ガアル、詰リ小麥粉百斤造ルノニハ、小麥百四十斤要ル、詰リ約三ト二ノ割合ヲ以テ小麥粉ト小麥ト相對立シテ、ソコデ七十七錢ノ小麥ヲバ一圓五十錢ニ引上ゲマスニハ 同一ノ算盤ノ取り方カラシテ、小麥粉二圓九十錢ニ引上ゲルコトガ、其方程式ニ當テ餘マルト思ヒマス、ソレデ玆ニ出シタノデアリマス

○堀切委員 打切ルノデスカ
○加藤委員長 打切りヤシマセヌ——後デ御質問ガアレバ續ケマスルガ、兎ニ角修正案ガアルノデスカ、ソレヲ御提案ヲ願ヒマス

○堀切委員 ソレデハ質問ガ終リマシテカラ、修正案ノ説明ヲ致シマス

○加藤委員長 今堀切君ハ質問ガ終ッテカラ、詰リ修正案ガアルケレトモ、質問ガ終ラナケレバ其説明ガ出來ヌト、斯ウ仰シヤル、私ハ修正案ヲ提議シテ、尙ホ必要ガアレバ質問シテ宜カラウト、斯ウ思フ、皆サンノ御意見ハ如何デスカ

○永田委員 委員長ノ御意見ニ賛成

○加藤委員長 ソレナラドウダ多數ガサウデスカ、修正案ノ御提議ヲ願ヒマス

○長田委員 異議ガアリマス、採決ニ異議ガアリマスカラ、記名投票ヲ用ヒラレンコトヲ求メマス

○加藤委員 ソレデハ只今ノ……

○沼田委員 一寸、修正ノ御説明ハ凡ソドレ位掛ルノデスカ、二時間モ三時間モ掛ルノデスカ

○堀切委員 ドウシテモ一時間ハ掛ル

○長田委員 議事ノ進行ニ付テ——一體小委員會ヲ設ケルト言ッテ十日ニ互ッテ殆ド吾々ヲ失望ニ終ラシメテ置イテ、今十二時過ニナツタノニ、尙ホ質問ヲ繼續シテ、大至急大急行デ以テヤッテシマフト云フコトハ、餘リ私ハ片手落

ノ遣方デアルト思フ、矢張相當ニ休憩ヲシテ、其後ニ修正案ニ對シテ、或ハ説明ヲサシテオヤリニナツテ差支ナイト思フ

○加藤委員長 質問ハサセナイノデスカ

○長田委員 質問サシテ宜シイ

○加藤委員長 ソレナラバ今修正案ヲ御提議ニナツタ方ガ、質問ニモ便利ト思ヒマスカラ、ソレデ申シテ居ルノデスカ

○長田委員 休憩サレンコトヲ切ニ希望致シマス

○加藤委員長 ソレデハ飯ヲ食ハズニヤル譯ニモ行キマセヌカラ、此際休憩シテ、午後一時カラ嚴正ニヤリマス、御出席ガナクテモヤリマス

午後零時四分休憩

午後二時五十九分開議

○加藤委員長 是ヨリ午前ニ引續キ委員會ヲ開會致シマス、ソレデ午前ノ質疑ヲ繼續致シマス

○倉元委員 午前ニ於ケル私ノ質問ニ對シテ岩切君ノ御答辯ガアリマシタガ、最後ノ質問ニ對シテ、私が小麥粉ノ二圓九十錢ニ御決定ニナリマシタル算盤ノ基礎ニ付テ伺ヒマシタコトニ、私ノ御尋申上ゲマシタ要點ニ對シテ觸レナイ點ガアルノデアリマス、ソレハ内地デ生産致シマスル所ノ會社ノ基本利益ト云フモノハ、ドウ云フ風ニ算盤ハ御取リニナツテ居ルカ、外國貿易ノ關係

カラ爲替等ヲドウ御考ニナツテ居ルカト云フ點ニ付テ伺ヒタイ、此二圓九十錢ト御定メニナルニ付テハ、自ラソコカラ出發シナケレバ本當デナイト思フ若シ爲替ノ相場ガ依然トシテ今日ノ儘デアリ、會社ノ基本利益ト云フモノガ貴方ノ御見込ハドウ云フ所ニ算盤ノ基準ヲ置カレタカ、ソレニ依テ私共判斷ガ違ヒマスカラ、其點ヲモウ一ツ確カメマス

○岩切委員 吾々ノ算盤ノ基礎ハ先程申上ゲタ通りデアリマス、其基礎ニ依テ出シタノデアリマシテ、是デ十分ダト考ヘテ居リマス、之ヲ見マスト、貴方ノ方ノ修正案モ二圓九十錢ニナツテ居リマスガ、矢張同一ダラウト思ッテ居リマス

○倉元委員 私ノ方ノハ私ノ方ノ基ク算盤ニ依テ定メテ居リマスカラ、私ノ方ハ後刻修正ヲ致シマス際ニ申述ベマス、次ニ岩切君ニ伺ヒマスコトハ、希望條件トシテ三項ヲ御舉ゲニナツテ御述ベニナリマシタガ、農家經濟ノ上ニ非常ニ重大ナ關係ヲ持チマス米價ニ付キマシテ、關稅ノ關係ハ何等今回ノ希望條件ノ中ニ御入レナイヤウデアリマスガ、是迄岩切君ノ所屬ノ黨ノ御方針トシテ承ル所ニ依レバ、二圓ニ引上ゲタイト云フコトノ御確信ヲ一昨日迄御持チニナツテ居ッタヤウデアリマス、然ルニ之ニ對シテ何等ノ御希望モナイ、唯新聞紙ノ傳ヘル所ニ依ルト、米穀法ノ運用ニ依テ此缺點ヲ補ヒ得ル、斯ウ云

フヤウニ報ゼラレテ居リマスガ、果シテサウ云フヤウナコトニ政府トノ間ニ御諒解デモ得テ居ラレルノデアアルカ、若シ米穀法ノ運用ニ依テ其目的ヲ達シ得ルト云フヤウナ御考デアアルトスレバ、私共ノ考トハ大ニ違フヤウデアリマス、米穀法ハ御案内ノ如ク米價ガ暴騰シタ、或ハ暴落シタ時ニ、之ヲ防止スル一ツノ手段ニナルノデ、常時ノ米價ヲ維持シテ行クト云フコトニハナラヌ、私ハ思フ、ソレヲ期セントスルナラバ、ソレハ財界ヲ攪亂スル一ツノ原因ヲ爲ス、往年仲小路農相ガ暴利取締令ノ正守ヲ拔イテ、非常ニ國民——消費

者側ニ迷惑ヲ掛ケタト同ジ事ニナリマスカラ、此點ハ本黨トシテ十分御修正ノ上ニ御考ニナッテ居ルコトト思ヒマスガ、先刻御述ベニナッテ希望條件ノ中ニハ、之ニ觸レテ居ラヌヤウデアリマス、若シ政府ノ御諒解ヲ御得ニナッテ居ルナラバ、其内容ヲ聞カシテ戴キタイト思フ

○岩切委員 米ノ問題ハ、先刻山本君ノ御質問ニ御答シタ通りデアリマス、米穀法ハ勿論米穀法ニ依テ價格ハ相當維持サレルコトト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、若シ政府ガソレヲ仲小路前農相ノ如ク惡用シタトスルナラバ、ソレハ米穀法ガ惡イノデナクシテ、仲小路大臣ガ惡イノデアラウト思フ

○倉元委員 岩切君ノ御答辯ハ、私共ノ疑問ヲ御解キ下サル御答辯デナイヤ

ウニ考ヘル、此上質問シテモ同ジ事ヲ繰返スコトニナリマスカラ、是デ打切リマスケレドモ、小委員會デ大分御練リニナッテ、サウシテ最後ニ一夜ノ内ニ之ヲ引繰返シテ、タッタ三品ダケ御修正爲サルト云フ態度ニ出ラレルコトハ、吾々ハ非常ニ遺憾トシマス、是ハ私共ノ立場カラ申上ゲルト、國民ノ代表トシテ此重大ナ案ヲ議シテ居ル、慎重審議二十幾回ノ委員會ヲ重ネ、四十日間以上之ヲ費シテ審議シタノデアリマス、此審議權ヲ今日ノ岩切君ノ修正ノヤウナ御意見ヲ以テ臨ムナラバ、私等ハ自ラノ權利ヲ放棄シテ、サウシテ常設委員會ニ之ヲ委ネナケレバナラヌト云フコトハ、自ラノ權威ヲ傷ツケルモノデアアル、帝國議會ノ吾々ノ權能ヲ無視シテ居ラレルヤウニ吾々ハ感ズル、吾々ハ岩切君ノ御修正ノ御意見及希望條件ヲ承ッテ、之ヲ國民ニ訴ヘテ、斯様なモノデアルト云フコトヲ申シマシテモ、國民ハ決シテ之ヲ首肯スルモノデナイト云フコトヲ斷言シテ置キマス、是デ私ノ質問ハ打切りマス

○山内委員 先刻大藏大臣ノ常設委員會ヲ設置シ云々ノ御趣旨ト、岩切君ノ御希望セラレル御趣旨トハ、少シク趣ガ違ヒハセヌカト云フ疑ヲ私ハ持つ、第一ニ大藏大臣ノ御説ヲ承リマス、ト、時々刻々ニ變ル所ノ經濟狀態、其他ノ關係ニ於テ、關稅定率ノ如キモノハ一定シタモノデハナイ、時勢ノ變化ト共

ニ是ハ改正セヌケレバナラヌカラ、常設委員會ヲ設ケテ、機宜ノ處置ヲ執ル、斯ウ云ウ御説ノヤウデアアル、是ハ御尤ナ御説ト思フ、岩切君ノ之ニ對スル希望ハ、常設委員ト云フモノガアルカラ、ソレニ託シタラ宜イト云フヤウナコトデアアルカ、今日之ヲ出シテ居ルモノハ、十分今日ノ時勢ニ適應シタモノナリト云フ確信ノ下ニ御提出ニナッテ居ルモノト吾々ハ信ジテ居ル、ソレヲ今岩切君ノ言ハレルヤウニ、殆ド一箇月以上モ掛ッテ審査シタ、サウシテ先刻山本君ノ質問ニ對シテノ御説明中ニモ、唯々三點ノミデハナイ、是ハ一部分デ、マダ修正シタイト云フヤウナ希望モアルケレドモト云フヤウニ、御調査ノ進ンデ居ルモノモアルト云フ意味ノ御答辯ガアッタヤウニ私ハ聞キマシタ、大體岩切君ノ希望條件ノ如クスルナラバ、十分審査シテ全部——マダ不完全ナ事モアラウト思フ、吾々ハ此廣汎ナルモノデアアルカラ、短日月デハ十分ノ調査ハ出來ナカッタカラ、今御希望ニナッ

セナイト云フ事ナラ、多少意味ヲ成スヤウニモ考ヘル、所ガタッタ三點ノミ御修正ニナッテ、アトハ希望條件ニスル、其希望條件中ニモ、殆ド肯定ニ近キヤウナ御議論ニモナッテ居ル、甚ダ不徹底ノヤウデゴザイマスガ、御眞意ノ如何ヲ甚ダ疑フ、今御希望ニナッテ居ルヤウナ趣意デ設ケラレテ居ル大藏大臣ノ審査會デハナイト私共ハ考ヘテ居リマスノデ、モウ一年間審査シテ、次ノ議會ニ修正スルト云フヤウナ事ナラバ、目下ノ現狀ニ此案ハ適セナイト云フ事ニナル、殊ニ其中ニハ麗々シク修正ノ金高マデモ御指定ニナッテ、是ハ斯ウ云フ風ニシテ貰フノガ相當ナリト吾々ハ考ヘル、仍テ審査會ニ付スル斯ウ云フヤウナ御議論ガアル、唯全體ニ互テ、先ヅ大藏大臣ノ此度ノ御提案ハ、十分ナル御攻究ノ下ニ御提案ニナッテ居ルカラ、多少吾々ハ疑ハシイ點モアルケレドモ、尙ホ斯ウ云フ品物ニ對シテハ相當考慮シテ、次ノ議會ニデモ改正ノ意思ヲ發表シテ呉レト、全部ニ對シテ言ハレルナラバ却テ宜イケレドモ、唯僅カ三點ノミト云フ事ガ、甚ダ私ハ諒解ニ苦ミマス、今少シク詳細ニ其邊ノ御意思ノ在ル所ヲ御答辯アラント切望致シマス

○岩切委員 同一ノ御質問ニハ午前ニモ御答シタノデアリマスガ、モウ一遍明瞭ニ申上ゲマス、農産物ノ中ノ三品ハ、修正ヲ適當ナリト確信致シマシタカラ、之ヲ提出致シマシタ、其他ノ問題ハ、八分通り確信ニハ達シタガ——勿論稅率ノ如キ改正モ、私ガ先程申述ベタノヲ八分適當ト思フガ、モウアト二分慎重ニ之ヲ審査スルコトヲ更ニ適當ト考ヘマシタカラ、之ヲ審査委員會ニ付スルコトヲ私ハ政府ニ希望シタノデアリマス

○山内委員 希望條件ヲ附シタノハ、八分マデ其不都合ナル事ヲ認メテ居ルガ、アト二分ガ殘ッテ居ルカラ、モウ一期ダケ待ッテ修正ノ意見ヲ出シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ御希望ノヤウデゴザイマスガ、目下ノ現狀ニ於テ、一タビ斯ノ如キ修正ヲ爲シタナラバ、國民ハ既ニ此稅率ガ確定シタモノナリト思フ、サウシテ輸入モシマセウ、輸出モ致シマセウ、色々ナ準備モシマセウ、然ルニ一年經ヌ内ニ此稅率ヲ改正スルト云フコトニナリマスルト、企業家ナドハ非常ナ迷惑ヲスルコトニナル、甚ダ國民ニ對シテ不深切ナヤウニ考ヘル、僅カニ分位ノ殘リナラバ、二三日延期シテデモ、何故モウ少シ深切ナ御態度ニ出ラレヌノデアラウカト云フ私ハ考ヲ持ッテ居ル、之ヲ希望トシテ條件ヲ附ケテ置イテ、是レ々々ノ物ハ斯ウ云フ風ニ修正シテ貰イタイト云フ御希望ヲ附セラレルト云フコトニナレバ、國民ハ此次ニ又一年經タヌ内ニ改正ガアルダラウ、例ヘバ會社ナドヲ興ストカ、事業ノ擴張デモシヤウト思フ者ハ、ソレ迄ハ何トモ著手ガ出來ナイヤウニナリハセヌカト思フ、洵ニ是ハ國民ニ對スル不深切ナ遣方ト思ヒマスガ、岩切君ハサウ云フ御感ジハナイノデゴザイマス

○山内委員 是カラ先ハ意見ノ相違ニナリマスガ、岩切君ハ斯ノ如クスル事ガ最モ深切ナリト御解釋ニナッテ居ル、私等ハ非常ニ不深切ナリト考ヘル、關稅定率ノ決マルト同時ニ、事業家ハ事業ノ計畫ヲスルノデアアル、假ニ之ヲ一年待ツトスレバ、國家ノ爲ニハ損害トナリ、企業家ニハ憂慮ヲ與ヘル、斯ウ云フヤウナ不安ノ狀態ニ置クト云フコトハ、岩切君ハ之ヲ深切ナリト仰シヤルケレドモ、吾々ハ之ヲ非常ナ不深切ナリト考ヘル、併シ是ハ意見ノ相違デゴザイマスカラ、此點ハ是デ止メマス、要スルニ岩切君ノ御意見ハ、殆ド一箇月掛ッテ審査シタケレドモ、タッタ三點ダケガ的確ナル御意見デ、アトハマダマダ八分シカ出來テ居ナイ、斯ウ云フ御意見ニ止マルノデゴザイマス、是ハ少シク考ヘテ見マス、是迄質問ヲ打切ッテ、十日間モ研究シタ其間ノ折衝ノ事情等ヲ考ヘマスルト、餘リ豹變モ甚シイト考ヘル、併シ此以上ハ議論ニ互リマスカラ、是デ私ノ質問ハ止メマス

○加藤委員長 星島二郎君
○星島委員 我先ヅ第一ニ岩切君ニ御尋致シマス、同時ニ此機會ニ於キマシテ政府ニ御尋致シタイト思フノデアリマス、其一點ハ、岩切君ハ三點ダケノ修正ヲシテ、アトハ常設委員會ニ付セラレルト云フノデアリマスガ、サウ云フ事デアリマスレバ、「ロヂック」カラ言ヒマスレバ、當然現行法ノ儘ニシテ置

イテ、サウシテ三點ダケハ修正スルト云フノガ本當デハアリマセヌカ、調査ガ足りナイカラ之ヲ常設委員會ニ讓ルト云フナラバ、政府ノ改正案ヲ此場合認メルト云フコトハ論理ニ合ハナイ、其點ハ如何ニ御考ヘデアリマスカ、即チ三點以外ノモノハ、全部現行法ノ儘ニ據置イテ、之ヲ常設委員會ニ讓ルト云フノガ、即チ論理ノ當然ソコニ歸結スベキ事ト思ヒマス、此點ニ關スル修正案提出者ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、第二ハ常設委員會ニ讓ラレルト云フ事ハ、吾々ハ是ホド相當ノ日數ヲ費シテ調査シテ、尙ホ調査シ了ヘナイト云フコトニナル、勿論理想的ニ申シマスレバ、私共ハ此種ノ議案ハ三箇月ヤ四箇月掛ッテモ宜シイト思フノデアリマス、其他議會ニ現ハレテ居ル色々多種ノ問題モ、本當ニ考ヘレバ、神ナラヌ吾々人間ガ、三箇月ノ此憲法規定ノ範圍ニ於ケル審議ト云フモノハ、ドウシテモ不十分デアアル、獨リ關稅案ノミナラズ、總テノモノハ私ハ本當ニ考ヘレバサウデアルト思フ、ケレドモ大體ニ於テ私共ハ此短限ラレタル期間ノ内ニ、審議スル範圍ニ於キマシテハ、少クトモ此四十日ヲ費シタル委員會ハ、相當眞面目ニ熱心ニヤッタモノト思フ、私共議員トナリマシテ以來、始メテ斯ノ如ク勉強シタ積リデアリマス、而モ之ヲ常設委員會ニ讓ルト云フコトハ、今日御互ノ持ッテ居ル立法權ヲ、議員自ラ議員ノ

權能ヲ輕ンズルト云フ議ハナイカ、若シ眞ニ審査足ラズシテ、サウシテ之ヲモット繼續シテ審議シタイト云フ眞面目ナ御希望ガアレバ、何故議院法第二十五條ノ適用ニ依ラヌカ、即チ議會閉會ノ後ニ於キマシテ、繼續シテ委員會ハ其議案ニ付テ審査スルト云フ、サウ云フ議院法アルコトヲ御忘レニナッテハ居ナイカ、若シ岩切君ノ眞意カラシマスト、私ハ寧ロ繼續委員ヲ設置シテ、サウシテソレニ依テ審議ヲ進メルト云フコトノ方ガヨリ論理的デハナイカ、サウスレバ議員自ラ議員ノ權能ヲ輕ンズルト云フ議ハ免レル、ソレニ對スル御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○岩切委員 星島君ノ御質問ニ御答致シマス、第一ハ「ロヂック」ノ點デアリマスガ、私ハ此六百幾ツノ稅番ノ中カラ最モ確信致シマスモノハ此際改メテ、十分調査シタ結果尙ホ來年度ニ廻シテ、常設委員會ニ廻スベキ希望ヲ附シタモノデアアル、其中カラ幾ツカラ選定スル、殘リノモノニ對シテハ大體政府案ヲヨリ良イモノト認メテ此際認メルト云フ、此遣方ガ少シモ「ロヂック」ニ合ハナイコトハナイト考ヘテ居リマス、第二ノ繼續委員會ニ依テ此精神趣意ヲ貫徹スル考ガアルカナイカト云フ御質問ハ、私モ大ニソレハ良イ事デアルト考ヘテ居リマス、併ナガラ同ジヤウナ意味ニ於テ常設委員會ニ之ヲ廻シテ、吾々ハ更ニ來タルベキ議會ニ其政府案

ヲ受ケテ、徐ロニ之ニ對シテ意見ヲ述
ベルト云フコトモ極メテ意義アル事デ
アルト思フテ、其方法ヲ探ツタノデアリ
マス

○星島委員 多クノ希望ヲ付ケラレタ
ト述ベラレタガ、岩切君ノ修正案ニハ
希望條件トシテ居リマスガ、八分通り
確信アリトシテ上ゲタモノモアリ、下
ゲタモノモアリマス、サウシテ見レバ
論理ノ歸結トシテ現行法ヲ其儘ニ据置
イテ、サウシテ十分ニ研究シタ結果改
正スルト云フコトニナラナケレバナラ
スト思ヒマス、併シ是ハ批評ニナリマ
スカラ、私ハ是デ止メテ置キマスガ、繼
續委員ノ事ニ付キマシテハ、院議ノ權
能ヲ輕ンズルヨリハ其方ガマシダト思
ヒマスカラ、モウ一應再考サレンコト
ヲ希望シテ是デ打切りマス、續イテ此
際政府ニ尋ネタイト思フノデアリマ
スガ、實際カラ言ヒマスレバ、斯ウ云フ
澤山ノ法案ガ出タ場合ニ、其道路ヲ作
ラレテ、常設委員會ヲ設置サレルト云
フコトヲ發言サレタ時ニ、愈イケナカッ
タ時ニハ此道路ヲ求メルト云フコト
ハ、前カラ眼ヲ着ケテ居ッタノデア
ルガ、濱口藏相ノ此政治的手腕ニハ非常
ニ私ハ敬意ヲ拂ッテ居ル者デアリマス
ガ此道路ヲ設ケテ此道路ヨリ今日適
ラレルト云フコトニハ、私感服スルノ
デアリマス、感服ハシマスガ、私ハ常
議會ノ權能ト云フモノニ對シマシテ
ハ、何處マデモ是ハ發揮シ維持シナ
ク

レバナラヌト思ヒマス、常設委員會ニ
於テ假ニ色々審議サレルトシマシテ、
而シテ此常設委員會ナルモノガ議員以
外ノ人ヲ以テ組織シテ、本案ノ原案ガ
出來マシタヤウニ、殆ド此調査ニハ議
員ハ係ッテ居ナイ、吾々ガ四十日モ費シ
テモイケナカッタモノヲ、來年ノ議會デ
審議スルナラ兎ニ角、若シ眞ニ急ヲ要
スルモノナラバ勅令ヲ以テチャツモ宜
シイ、實ハ關稅ト云フモノハ一種ノ掛
引戰デアリマスカラ時期ヲ尊ブ、又來
年果シテ現内閣ガ存續サレルヤ否ヤト
云フコトモ疑問デアアル、來年ヲ待ッテ再
ビ出シテモ、四十日モヤツテモ亦延ルト
云フヤウナコトニナルカモ知レヌ、本
當ニ此調査委員會ニ臨機ニ執行ノ出來
ル位ノ權能ヲ持タシテ欲シト思ヒマ
ス、サウナレバ尙更此常設機關ト云フ
モノハ議院ノ意思ヲ代表サレルマデニ
行カナケレバナラヌト思ヒマス、政府
ハ常設機關ニ如何程ノ議院ノ權能ヲ發
揮セラレルヤウナ機會ヲ與ヘラレル
カ、又作ラレルカ、此點ニ付キマシテ豫
メ伺ッテ置キマス

○濱口國務大臣 常設委員會ハ諮問機
關トスル積リデアリマス、其組織ハ官
民合同ノ機關トスル積リデアリマス
ガ、其民間カラ出ルベキ委員ノ中ニ貴
衆兩院議員ヲ包含スルヤ否ヤト云フコ
トハ、今日マダ決定ヲ致シテ居リマセ
ヌ、恐ラクハ知識經驗ニ富ミタル人
ト云フコトニナルデアアルマイカト

思ッテ居リマス、ソレカラソレヲ諮問機
關ト致シマシタノハ、申スマデモナク
議會ノ權能ヲ重ンズル爲ニ、政府ガ原
案ヲ作リマシテ之ヲ應急ノ諮問ニ付シ
テ、更ニ確定ノ原案ヲ作成致シマシテ、
來期ノ議會ニ成ベク提案スル積リデ
アリマス、議會ト議會トノ中間ニ於キ
マシテ決定機關ヲ作ッテ、ソレヲ直ニ實
行スルト云フコトデハ、是ハ議院ノ權
能ヲ重ンズル所以デナイト考ヘマシタ
カラ、來期議會ニ提案スルベク原案ヲ
作成セシムル委員會トスル積リデアリ
マス

○星島委員 私ハ米穀法ノ運用ノ委員
ガ全部兩院ノ議員ヲ以テ組織サレテ居
ルト云フコトハ、流石ハ立憲國デア
ルト思ヒマスガ、斯ウ云フモノニ付キマ
シテ假ニ常設委員會ヲ開カレルナラ
バ十分ニ議院ノ權能ガ發揮サレルヤウ
ニ希望スルノデアリマス、尙ホ政府ニ
於キマシテハ議院法第二十五條ニ依リ
マシテ、續イテ繼續委員ニ附議セラレ
ル御意思ハアルカナイカ、此點ヲ伺ッテ
私ノ質問ハ打切りマス

○濱口國務大臣 サウ云フ考ハ持ッテ
居リマセヌ、此常設委員會ニ依テ其目
的ヲ達シタイト思ッテ居リマス

○長田委員 先刻來質問應答ノ跡ヲ見
テ私ハ遺憾ニ堪ヘナイト存ジマス、如
何ニ議院政治ガ形式ヲ尊ブ政治デア
レバト云ツテモ、尋ネル者モ眞相ニ觸レ
ナイデ、何カ風呂敷ニ包ンダ其包ノ上カ

ヲ尋ネテ居ルヤウデアアル、又答ヘル者
モ何カ事ノ真相ヲ押隠シテ、風呂敷包
ノ上カラ御答致シテ居ルヤウデアリマ
シテ、少シモ私共ハ満足スル點ヲ見
サナイノデアリマス、私ハ岩切君ノ所
謂修正意見ヲ拜聽シマセナンダガ、伺
ヒマス所ニ依リマススト云フト、最早本
黨ハ黨議ヲ以テ御決定ニナリ、憲政會
ノ御方モ亦黨議ヲ以テ之ニ御賛成ニ
ナッタト云フラシク拜聽致シタノデア
リマス、サウ致シマススト云フト私共ハ
ドウモ不審ニ堪ヘナイノハ、先刻來質
問ヲ重ネラレタ米ノ問題デアアル、此米
ノ問題ハ岩切君ノ所屬ノ本黨ニ於テ
モ、我等ノ同志ガ澤山アルノデ、岩切君
ガ言ハレタ米穀法案ノ運用ト俟テ此
米、粃ノ關稅ノ引上ゲト云フコトハ最
早帳消シタノデアルト云フヤウナ、
簡單ナ意味ニ諒解サレタガ、何カ是ニ
ハ非常ナ努力ヲセラレテ、此吾々年來
ノ主張ヲ透徹スルコトガ出來ナイカ
ラ、ソレデスウ云フコトニナッタト云
フ、血ノ出ルヤウナ其處ニ努力ノ跡ガ
ナクテハナラヌノデアアル、其努力ヲ玆
デ伺フコトガ出來タナラバ、吾々モ涙
ヲ滾シテ賛成スルコトニナルカモ知レ
マセヌガ、然ルニ他ノ形式ニ於テモ、又
委員會ノ場合ニ於テモ、本黨内ニ於ケ
ル、又憲政會内ニ於ケル、吾々同志ノ此
涙ヲ吞ンデ賛成シナケレバナラヌ破目
ニ陷ッタ眞相ヲ少シモ説明ヲセズ、同志
ノ苦衷モ何等釋明セズシテ、岩切君ノ

口ヲ藉リテ政府委員ノ答ヘルガ如クニ、洵ニ無味乾燥ナ表面ノミノ御答辯デハ私ハ何トモ満足スルコトガ出来マセヌ、其御答ヲ願ヒタイ、米モ小麥モ、將又鳥卵モ全部修正サレナイデ、或ル事情ノ下ニ政府案全部ヲ鵜呑ニシナケレバナラヌト云フヤウナ事情ナレバ、マダ了解スル點モアルガ、唯農産物ノ三點ノミヲ修正シテ他ヲ顧ミナイト云フコトハ、何トシテモ了解スルコトハ出来ナイ、何トナレバ吾々同志ガ嘗テ唱ヘテ來タ中ノ米ト小麥ト鳥卵、是ダケノ目的ヲ達セラレタ爲ニ、所謂忌憚ナク云フト貴族院ニ於テ斯様ナ感ガ起ル、即チ農民ノ議員連中ガ政府ヲ強要シテ、此三項ダケノ通過ヲ圖ツタガ如キハ、此強要ヲ致サレテ承諾シタ政府ニ不純ノ氣分ガアル、又之ヲ強要シタ農村ノ議員中ニモ不純ノ氣分ガアルト云フコトデ、道理以外ニ一種ノ惡氣流ノ漲レルヤウナ風ガナイカト云フコトヲ、私ハ非常ニ残念ニ思フ、又半面ニ於テハ消費者階級ノ方ニハ、此工藝品ノ中ニ澤山ノ不滿ガアラウト思フ、是ハ御互同志ノ中ニ非常ニ請願運動ノアル狀態カラ見マシテモ分ル、然ルニ非常ニ不純ナ氣分ガ漲ッテ居ル、サウシテハ諸君ガ四十日ノ御審議ノ期間ニ徹底的ニ是ハ御承知ノ管デアル、其農民ノ希望セルト云フ所ガ、消費者階級ノ領ダケノ合理的ノモノガアルカドウカ、然ルニ商工業者ノ要求スル所ノモノハ斷

然跳付ケテ、農民階級若クハ農會ノ要求スル所ダケハ其一部ヲ取テ之ヲ實行シヤウト云フ、マルキリ農民階級ノ玩具ニナツテ居ルト云フヤウナ風評マデ、消費者階級ノ人ニ與ヘルト云フコトハ、「ヒヤ〜」結局斯ウ云フ不徹底ナル修正案ガ出ルカラデス、私ハドウ云フ譯デ我ガ同志ノ——他ノ黨内ニ居ラル方ミガ、漫然トシテ斯様ナ修正案ニ賛成セラレタノカ、私ハドウモ分ラナイノミナラズ此修正ヲ御出シニナツタ結果トシテ、吾々ニ非常ナ苦痛ヲ與ヘテ居ル、サウシテ他ノ問題ハ常設委員會——效力ガアルカナイカ知リマセヌガ、大藏大臣ノ答辯ニ依ルト、ソレハ知識經驗ノアルト云フヤウナ、御有合セノ者ヲ集メマシテ委員會ヲ造ルト云フ、此委員會ニ繼續スルト云フコトデアル、サウシテマダ何等カ議スル所ガアル、ソレニ答辯ヲシ、ソレニ上申ラサルコトニ依テ目的ヲ達シ得ラルルダラウト云フ希望ヲ其處ニ繋グコトガ出來ルト言ハレル、斯ノ如ク米、粳ノ關稅ニ依テ保護セラルルト云フ希望ハ、米穀法ノ運用ニ俟ツタガ爲ニ、米、粳ハ此處デ確定スル以上ハ、最早岩切君ノ御説明、若クハ大藏大臣ノ御説明ヲ此委員會ニ持出ス餘地ハナイ、此千載一遇ノ好機會ヲ全部ニ失フテシマフト云フコトニナルノデアル、果シテ是ガ農民諸君ニ對シテ親切ナル行動ト言ヘマセウカ、私此點ニ對シテ本黨ナリ憲

政會ノ吾等ノ同志ガ、其基礎觀念ニ於テ非常ナ誤謬ニ陥ッテ居リハセヌカト云フコトヲ非常ニ恐レルノデア、斯様ナコトヲ申セバ數限リガアリマセヌカラ、此程度ニシマスガ、果シテ岩切君ハ此修正案ヲ御出シニナル時ニ、米、粳、ニ對スル關稅ノ問題ハアナタ方ノ政府ト吾等議員トノ間ニ於テハ、是ハ打切ノ問題ニナル、孰レハ常設委員會ニモ持出ス餘地ノナイモノデアルト云フコトハ御承知ノ上デ、此修正案ヲ御作リニナツタノデアアルカト云フ事ガ一點ト、ソレカラ私共今申上ゲタ一體過去十日程ノ間政黨ノ此良心ヲ欺イテ斯様ニシナケレバナラヌト云フヤウナ、吾々同志ノ議員ノ間ニ出來上ツタ此案ノ、其事ノ真相——非常ナ努力ヲセラレタ真相ヲ、此場合ニ御打明ケ下サルト云フ譯ニ參ラヌダラウカ、サウシテ下サルナラハ朝カラ繼續シテ居ル所ノ此無意義ナ質問ト云フモノモ、釋然トシテ私ハ解ケルダラウト思フ、故ニ此場合ニ岩切君一段ノ御勇氣ヲ御奮ヒ下サイマシテ、真相釋明ヲ此場合シテ戴クト云フコトハ出來ヌモノデアリマスルカ、此二點ヲ伺ヒマス——マダ質問ハ繼續シマス

○岩切委員 米ノ問題ハ今更申シマセヌガ、結局初メハ長田君ハ米ニ對スル御意見ヲ御述ニナツテ、最後ニ此米及粳ガ此原案ヲ認メルト云フコトハ、將來常設委員會ノ議ニ繋ライヤウナコトニナリハシナイカト云フヤウナ御質問デアリマシタ、要スルニ是ハソレハ必シモ繋ラヌトモ言ヘナイノデ、又繋ルトモ私ハ言ヘナイト思フ、ソレデ是ハドウシテモ此米穀ト云フコトニ對シテ吾々ノ希望ガ今後達セラレナケレバ、或ハサウ云フコトガアルカモ知レマセヌケレドモ、私共ハ只今デハ尙ホ長田君ト同ジヤウナ希望モアリマスケレドモ、先ツ米穀法ト云フモノヲ正當ニ運用スルコトニ於テ、内地米ノ價格ヲ維持スルト云フコトハ出來ルヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、第二ノ事情話ヲセヨト云フ御話デアリマスガ、勿論斯ウ云フ問題ヲ定メルニハ、黨内ニ於テハ議論ハ多岐多樣デアリマスケレドモ、結局最後ノ結論トシテ只今申上ゲタヤウニ到着致シテ居ルノデアリマス

○長田委員 後段ノ方ヲ岩切サンニ御伺致シマスルガ、實際此同志ガ非常ニ苦心慘憺ヲサレテ居ルト云フコトノ内容ヲ御報告ハ出來ナイデセウカ、私ハ非常ニ感謝ヲシテアナタ方ノ御修正案ニ賛成スル場合ガ起ルダラウト思フ、露骨ニ申シマス、新聞紙ノ報道ノミニ依テ知ツタノデ、私等ノ持テ居リマス機關カラ何等ノ報告ガナイノデアリマスケレドモ、岩切サンハ御承知ハナイカモ知レマセヌガ、吾々同志ノ間ニ黨派ヲ超越シテ造ッテ居リマス機關トシテ、農政研究會ガアルノデアリマスガ、農政研究會ノ方ヲ臨時ニ本黨ノ

同志カラデモ聞イテ吳レテ、此處デ私
ガ伺フ所ヲ、ソコデ以テビツタリト話
合ッテ戴ケバ、假令賛成スルニモ反對ス
ルニモ、私ハ泣イテ反對ヲスルシ、泣イ
テ賛成ヲスル場合ガアルダラウト思
フ、サウスレバ釋然トシテ氷解スルコ
トガ出來ル、然ルニ今日尙ホ其執ルベ
キ手段ヲ執ラレテ居ナイヤウニ考ヘ
ル、サウシテ氷解ヲ見ルベキ機會ヲ失
ハントシテ、何等カ斯ウ氣分ガ不愉快
デ仕方ガアリマセヌガ、農村議員諸君
ハ斯ノ如キ米、粳ノ問題ダケデ之ヲ盡
スノニハ嫌ラズシテ、研究會ヲ招集ス
ル舉ニモ出ズ、其場所ニ於テ釋明モセ
ズシテ、本會ニ臨ンデ居ルト云フ此事
柄ハ實ニ不愉快ナ感ガスル、其感ヲ今
尙ホ持ッテ居ル、故ニ其努力ノ内容ヲ御
話シ下サルコトガ出來マスレバ、相當
吾々ノ同志ガ居リマスカラ、貴方ノ御
話ニ依テハ私同志ヲ説クコトモ出來ル
ダラウト思フ、外ノ事デナラヌニ角米、
粳デハ喧嘩ヲシタクアリマセヌ、ノミ
ナラズアナタ方ガ希望條件ノ中ニ米、
麥ヲ入レテ下サツタラ私ハ何モ言ハヌ、
希望條件ノ中ニ這入ラヌト云フコトヲ
吾々ノ同志カラ聞キマシタニ依テ、其
感ヲ深ウシテ居ルノデアリマス、此場
合ニ於テドウシテモ眞相ヲ御話シ下サ
ルコトガ出來ヌデアリマセウカ、モウ
一遍御尋シマス

メタノデ、色ミナ經路ガアリマス、是等
ノ事ハ容易ニ御推察モアルダラウト思
ヒマス、又吾々ハ此結論ニ到達セザル
ヲ得ナカッタノデアリマス、サウシテ今
此案ヲ提出シタノデアリマス
○長田委員 此質問ハモウ止メマス、
併シ憲政會諸君ハ岩切君ノ希望條件付
ノ修正ニ御賛成ナサツテ居ルノデア
ル、其希望條件付ト云フコトノ其基礎
觀念ナルモノニハ、吾々四十日間審議
シタ事柄ニ付テノ、即チ稅率改正ノ基
礎觀念ト云フモノハ其處ニ到達シナイ、
即チ審議未了ニ屬スル二種ノモノガ
アルノデアリマス、實ハ之ヲ希望條件
デ本會以外ノ委員ニ一任シタイノ
デアアル、ソレヲ先刻同僚カラ質問
致シマシタガ、所謂繼續委員ニ附
スルト云フコトニナル譯デアリマス
ガ、大藏大臣ノ洵ニ白シイ御氣分
ニ依ル御釋明ニナッテ、今委員ト云
フモノニ委セルト云フコトヲ申サレ
タ、然ルニ私ハ岩切君ノ御釋明ナ
スツタ所謂本黨ノ同僚諸君——沼田
君ノ御質問ノ模様ヲ拜聽シテ居ルト、
政府委員ノ方ヨリハ沼田君ノ方ノ
希望條件ニ對スル知識觀念ト云フ
モノハ、モット周到細密ナモノ
デアアル、稅盛リノ改正ト云フ
モノハ當然斯ウシナケレバナラヌ
ト云フ豫斷ヲ以テ、政府委員ノ
所謂調査ノ粗漏杜撰ヲ御責メ
ニナッタヤウニ私ハ拜聽シテ居
ル、尙且ツ政府ハ稅盛リ改正
ニドウモ吾々ノ頭ニハ少シ足
ラナイ所ガアルカラト云フ
ノデ、所謂條件付ノ修正ニ御賛成
ナスツタ、沼田君ガ之ニ御賛成
ナスツタ其心理ト云フモノハ
ドウ云フモノデアアルカ、良心
ヲ欺クモノガナイカ、何等カ
不愉快ナモノガアルガ爲ニ
之ヲ餘儀ナクサレテ居リハ
シナイカ、又憲政會ノ諸君
ニ伺ッテ見タイ、私ハ飯塚
サンノ綿織物ニ對シテモ、
染料ニ對シテモ、該博ナル
智識經驗ヲ伺ッテ、心カラ
敬服シテ居ル、斯様ニ議員
ガ専門的ニ御審查ニナルニ
付テハ、政府委員ノ足ラザ
ル所ヲ補ッテ、依テ以テ議
會政治ト云フモノヲ眞ニ國
民ノ間ニ諒解ヲ得セシメル
ヤウニスルト云フコトヲ察
シテ、委員會ノ權威ヲ喜ン
デ居ッタノデアアル、然ル
ニ之ガ決定セラレルト云フ
際ニ當ッテ、柔順ニ猶ノ如
クナッテ、一言モ發セズ、
漫然稅盛リ改正ノ域ニ達
セヌト云フ修正動議ニ贊
成ニナルト云フコトハ、
是ハ眞ニ心カラサウ云フ
風ニ御考ニナツタカドウ
カト云フコトヲ疑フノ
デアリマス、殊ニ奧村君
ニ至ッテハ此「酸化コ
バルト」ノ問題ノ如キ、
「タビオカ」「マニオカ」
「コトンスターチ」ノ
問題、或ハ染料ニ至
ッテハ現品ヲ持ッテ來
テ、殊ニ「酸化コバル
ト」金液ノ問題ニ付
テハ、皿ヤ猪口ノ如
キモノニ付テ、政府
ハ是デ十分デア
ル、然ルニ此問題
ヲ保護センガ爲ニ
關稅ヲ高クスル
ノデアアルト云
フッテ、ソレヲ
金科玉條ノ如
クニ、專門ノ技
術者カラ說明
シテ居ルニモ
拘ラズ、滔々
ト實物ヲ示
シテ反駁シ
タ爲ニ、流石
ノ政府委員
モ一言モ無
カッタ、此
問題ハ委員
中其熱心ナル
說明ヲ聽
イテ、大臣
ハ缺席デ
アッタケレ
ドモ、次官
ハ御出ニ
ナツタヤ
ウデアリ
マスガ、
是ハ技師
ノ方ガ間
違ッテ居
ル、商工
ノ技師ノ
間違ヒ
デアリハ
セヌカト
考ヘテ、
奧村君ノ
言ハルル
コトガ權
威ガアル
モノト
思フタ
ノデア
アル、
恐ラク
彼ノ質
問應答
ノ狀態
ヲ新聞
紙ヲ通
ジテ外
國貿易
ニ從事
シテ居
ル所ノ
陶磁器
ヲ輸出
シテ居
ル當業
者ハ、
奧村君
ニ向ッ
テ敬意
ヲ表サ
レタコ
トト思
ヒマ
ス、無
論此議
會ニ於
テ關稅
定率ハ
所謂無
稅ニナ
ルト思
フッテ
商賣ヲ
勵ンデ
居ッ
タコト
ト思フ
、ソレ
ニア
ノ權威
アル說
明ヲ詳
細ニ新
聞紙ヲ
以テ國
民ニ示
シテ
置キナ
ガラ、
此決定
ノ場合
ニ於テ
、遽然
トシテ
態度ヲ
引ッ繰
リ返シ
テ、政
府案
ニ贊成
シタノ
ハ、奧
村君ハ
良心ヲ
欺イ
テ原案
ニ贊成
ニナツ
タノ
デア
アルカ
、果シ
テサウ
デア
ルト
アノ質
問ノ熱
心ナル
點ニ於
テ餘リ
ニア
ノ芝居
ノ大キ
カタ
ノ驚ク
ノ
デア
リマ
ス、
此場合
岩切君
ニハ伺
ヒマセ
ヌガ、
アノ熱
心ナル
御質問
ト應答
等ヲ伺
ッテ國
民ハ滿
足シテ
居ル
ノ
ニ、此
原案
ノ可決
カ否決
カト云
フ場合
ニ臨ン
デ、原
案賛成
ト云フ
單純ナル
コトヲ
言ハ
ルル
ノハ、
眞ニ心
カラ出
タノ
デア
リマ
セウ
カ、
私共
二三
ノ方
ミ
カラ
之ニ對
スル御
釋明ヲ
伺ッテ
置キ
タイ
○加藤
委員
長 言
論ニ付
テハ宜
シウゴ
ザイマ
スガ、
心裡
ノコト
ニ付テ
言ハ
ル
ルノハ
宜シク
ナイト
思ヒ
マス
カラ……

同志カラデモ聞イテ吳レテ、此處デ私
ガ伺フ所ヲ、ソコデ以テビツタリト話
合ッテ戴ケバ、假令賛成スルニモ反對ス
ルニモ、私ハ泣イテ反對ヲスルシ、泣イ
テ賛成ヲスル場合ガアルダラウト思
フ、サウスレバ釋然トシテ氷解スルコ
トガ出來ル、然ルニ今日尙ホ其執ルベ
キ手段ヲ執ラレテ居ナイヤウニ考ヘ
ル、サウシテ氷解ヲ見ルベキ機會ヲ失
ハントシテ、何等カ斯ウ氣分ガ不愉快
デ仕方ガアリマセヌガ、農村議員諸君
ハ斯ノ如キ米、粳ノ問題ダケデ之ヲ盡
スノニハ嫌ラズシテ、研究會ヲ招集ス
ル舉ニモ出ズ、其場所ニ於テ釋明モセ
ズシテ、本會ニ臨ンデ居ルト云フ此事
柄ハ實ニ不愉快ナ感ガスル、其感ヲ今
尙ホ持ッテ居ル、故ニ其努力ノ内容ヲ御
話シ下サルコトガ出來マスレバ、相當
吾々ノ同志ガ居リマスカラ、貴方ノ御
話ニ依テハ私同志ヲ説クコトモ出來ル
ダラウト思フ、外ノ事デナラヌニ角米、
粳デハ喧嘩ヲシタクアリマセヌ、ノミ
ナラズアナタ方ガ希望條件ノ中ニ米、
麥ヲ入レテ下サツタラ私ハ何モ言ハヌ、
希望條件ノ中ニ這入ラヌト云フコトヲ
吾々ノ同志カラ聞キマシタニ依テ、其
感ヲ深ウシテ居ルノデアリマス、此場
合ニ於テドウシテモ眞相ヲ御話シ下サ
ルコトガ出來ヌデアリマセウカ、モウ
一遍御尋シマス

メタノデ、色ミナ經路ガアリマス、是等
ノ事ハ容易ニ御推察モアルダラウト思
ヒマス、又吾々ハ此結論ニ到達セザル
ヲ得ナカッタノデアリマス、サウシテ今
此案ヲ提出シタノデアリマス
○長田委員 此質問ハモウ止メマス、
併シ憲政會諸君ハ岩切君ノ希望條件付
ノ修正ニ御賛成ナサツテ居ルノデア
ル、其希望條件付ト云フコトノ其基礎
觀念ナルモノニハ、吾々四十日間審議
シタ事柄ニ付テノ、即チ稅率改正ノ基
礎觀念ト云フモノハ其處ニ到達シナイ、
即チ審議未了ニ屬スル二種ノモノガ
アルノデアリマス、實ハ之ヲ希望條件
デ本會以外ノ委員ニ一任シタイノ
デアアル、ソレヲ先刻同僚カラ質問
致シマシタガ、所謂繼續委員ニ附
スルト云フコトニナル譯デアリマス
ガ、大藏大臣ノ洵ニ白シイ御氣分
ニ依ル御釋明ニナッテ、今委員ト云
フモノニ委セルト云フコトヲ申サレ
タ、然ルニ私ハ岩切君ノ御釋明ナ
スツタ所謂本黨ノ同僚諸君——沼田
君ノ御質問ノ模様ヲ拜聽シテ居ルト、
政府委員ノ方ヨリハ沼田君ノ方ノ
希望條件ニ對スル知識觀念ト云フ
モノハ、モット周到細密ナモノ
デアアル、稅盛リノ改正ト云フ
モノハ當然斯ウシナケレバナラヌ
ト云フ豫斷ヲ以テ、政府委員ノ
所謂調査ノ粗漏杜撰ヲ御責メ
ニナッタヤウニ私ハ拜聽シテ居
ル、尙且ツ政府ハ稅盛リ改正
ニドウモ吾々ノ頭ニハ少シ足
ラナイ所ガアルカラト云フ
ノデ、所謂條件付ノ修正ニ御賛成
ナスツタ、沼田君ガ之ニ御賛成
ナスツタ其心理ト云フモノハ
ドウ云フモノデアアルカ、良心
ヲ欺クモノガナイカ、何等カ
不愉快ナモノガアルガ爲ニ
之ヲ餘儀ナクサレテ居リハ
シナイカ、又憲政會ノ諸君
ニ伺ッテ見タイ、私ハ飯塚
サンノ綿織物ニ對シテモ、
染料ニ對シテモ、該博ナル
智識經驗ヲ伺ッテ、心カラ
敬服シテ居ル、斯様ニ議員
ガ専門的ニ御審查ニナルニ
付テハ、政府委員ノ足ラザ
ル所ヲ補ッテ、依テ以テ議
會政治ト云フモノヲ眞ニ國
民ノ間ニ諒解ヲ得セシメル
ヤウニスルト云フコトヲ察
シテ、委員會ノ權威ヲ喜ン
デ居ッタノデアアル、然ル
ニ之ガ決定セラレルト云フ
際ニ當ッテ、柔順ニ猶ノ如
クナッテ、一言モ發セズ、
漫然稅盛リ改正ノ域ニ達
セヌト云フ修正動議ニ贊
成ニナルト云フコトハ、
是ハ眞ニ心カラサウ云フ
風ニ御考ニナツタカドウ
カト云フコトヲ疑フノ
デアリマス、殊ニ奧村君
ニ至ッテハ此「酸化コ
バルト」ノ問題ノ如キ、
「タビオカ」「マニオカ」
「コトンスターチ」ノ
問題、或ハ染料ニ至
ッテハ現品ヲ持ッテ來
テ、殊ニ「酸化コバル
ト」金液ノ問題ニ付
テハ、皿ヤ猪口ノ如
キモノニ付テ、政府
ハ是デ十分デア
ル、然ルニ此問題
ヲ保護センガ爲ニ
關稅ヲ高クスル
ノデアアルト云
フッテ、ソレヲ
金科玉條ノ如
クニ、專門ノ技
術者カラ說明
シテ居ルニモ
拘ラズ、滔々
ト實物ヲ示
シテ反駁シ
タ爲ニ、流石
ノ政府委員
モ一言モ無
カッタ、此
問題ハ委員
中其熱心ナル
說明ヲ聽
イテ、大臣
ハ缺席デ
アッタケレ
ドモ、次官
ハ御出ニ
ナツタヤ
ウデアリ
マスガ、
是ハ技師
ノ方ガ間
違ッテ居
ル、商工
ノ技師ノ
間違ヒ
デアリハ
セヌカト
考ヘテ、
奧村君ノ
言ハルル
コトガ權
威ガアル
モノト
思フタ
ノデア
アル、
恐ラク
彼ノ質
問應答
ノ狀態
ヲ新聞
紙ヲ通
ジテ外
國貿易
ニ從事
シテ居
ル所ノ
陶磁器
ヲ輸出
シテ居
ル當業
者ハ、
奧村君
ニ向ッ
テ敬意
ヲ表サ
レタコ
トト思
ヒマ
ス、無
論此議
會ニ於
テ關稅
定率ハ
所謂無
稅ニナ
ルト思
フッテ
商賣ヲ
勵ンデ
居ッ
タコト
ト思フ
、ソレ
ニア
ノ權威
アル說
明ヲ詳
細ニ新
聞紙ヲ
以テ國
民ニ示
シテ
置キナ
ガラ、
此決定
ノ場合
ニ於テ
、遽然
トシテ
態度ヲ
引ッ繰
リ返シ
テ、政
府案
ニ贊成
シタノ
ハ、奧
村君ハ
良心ヲ
欺イ
テ原案
ニ贊成
ニナツ
タノ
デア
アルカ
、果シ
テサウ
デア
ルト
アノ質
問ノ熱
心ナル
點ニ於
テ餘リ
ニア
ノ芝居
ノ大キ
カタ
ノ驚ク
ノ
デア
リマ
ス、
此場合
岩切君
ニハ伺
ヒマセ
ヌガ、
アノ熱
心ナル
御質問
ト應答
等ヲ伺
ッテ國
民ハ滿
足シテ
居ル
ノ
ニ、此
原案
ノ可決
カ否決
カト云
フ場合
ニ臨ン
デ、原
案賛成
ト云フ
單純ナル
コトヲ
言ハ
ルル
ノハ、
眞ニ心
カラ出
タノ
デア
リマ
セウ
カ、
私共
二三
ノ方
ミ
カラ
之ニ對
スル御
釋明ヲ
伺ッテ
置キ
タイ
○加藤
委員
長 言
論ニ付
テハ宜
シウゴ
ザイマ
スガ、
心裡
ノコト
ニ付テ
言ハ
ル
ルノハ
宜シク
ナイト
思ヒ
マス
カラ……

○沼田委員 私ノ一身ニ關スル問題デアリマスカラ辯明致シマス、私共ハ岩切君ノ御出シニナツタモノニ對シテ、衷心ヨリ賛同ハ致シテ居リマセヌ、又私ヨリモ、議會政治ヲ幾度モ經テ居ル所ノ——私ニ質問ナサル方ノ方ガ、議會政治ノ何タルヲ能ク御承知ダラウト思ヒマス、貴方ノ黨ニ於テモ米、粳ニ對シテ値段ヲ上ゲルト云フコトニ絶對ノ反對論者ガアル筈デアアル、吉津君ノ如キハ反對論者ト信ジテ居ル、而シテ貴黨ノ修正動議ニ理事トシテ賛成ヲスルト云フ點ニ於テ、初メテ政治ノ何タルト云フコトハ説明セズトモ分ルノデアアルと思フ、私共恨ヲ吞ンデ賛成スルト云フコトヲ御承知ダラウト思ヒマス、之ヲ以テ私ノ心理ガ明カダラウト思ヒマス

○加藤委員長 永田君ノ今ノ提議ニ付テ採決ヲ致シマス、永田君ニ御同意ノ諸君ハ御起立ヲ願ヒマス
〔賛成者起立〕

ハ佐々木君各其感情ヲバ超越致シマシテ、サウシテ茲ニ此修正案ヲ見タノデアリマス、謂ハバ此修正案ノ精神ハ殆ド各派一致ノ精神ガ籠ッテ居ルノデアリマス、今日トナツテ之ヲ考ヘテ見マスト、非公式デアアリマスケレドモ、殊ニ米ノ如キ洵ニ和衷協同ノ下ニ色々御話ガアッタノデアリマス、ソレニ今日ニナリマシテ、恰モ吾々ヲ二階ヘ抛リ上ゲテ、梯子ヲ奪ッタヤウナ形ニナツテ居リマス、ケレドモ私共曩ニ此精神的ニ修正シタ事デアリマスカラ、茲ニ此提案ヲ致スノデアリマス、私ハ其當時ノ事ヲ考ヘマスト、餘リニ本黨ノ諸君並ニ憲政會ノ諸君ハ、少シ御卑怯デアアルと思フ、洵ニ遺憾千萬デアリマス、先刻モ吾々ノ同志カラ申サレマシタ如ク、吾々ノ審議權ヲ無視シテ、サウシテ新タニ設ケラルベキ關稅調查會ニ諮問スルナント云フコトハ、自ラ議員ノ職責ヲ輕ンズルモノデアリマシテ、私ハ啞然トシテ、唯今日迄ノ御態度、御精神ハ、餘リニ卑怯ニ思フノデアリマス、先刻本黨ノ沼田君ガ、米ニ付テ私モ反對スルト云フヤウナコトデアリマシタガ、是ハ私一個ノ考デアリマス、私ハソレ等ノ事ハ餘リ繰返シマセヌガ、茲ニ修正ノ各項目ニ互リマシテ簡單ニソレヲ御説明致スノデアリマスルガ、重ネテ申シマスガ、今茲ニ修正案ヲ説明致シマ

長モ能ク御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、稅番ノ十二米、粳百斤ニ付一圓五十錢、是非公式デアアリマスケレドモ、明ニ岩切君カラ二圓デアルト云フコトヲ承ツタノデアリマス、又新聞紙ニモ爾カ傳ヘラレテ居リマス、之ニ付テ説明致セバ長クナリマスカラ申シマセヌ、我ガ黨ト致シマシテハ一圓五十錢ニ修正ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ稅番十六、小麥百斤ニ付テ一圓五十錢ト修正致シマシタ、ソレカラ稅番二十一、大豆百斤一圓二十錢、稅番二十一ノ二、小豆百斤八十五錢、稅番二十一ノ三、蠶豆百斤六十八錢、稅番二十一ノ四、綠豆百斤八十五錢、二十一ノ五、豌豆百斤七十七錢、二十二番ノ二、小麥粉百斤二圓九十錢、ソレカラ二十二番ノ四「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」百斤二圓、二十番ノ五「コーンスターチ」百斤二圓、五十二ノ一、甲、牛肉百斤三圓八十錢、五十二ノ丙、豚肉百斤從價三割、五十二ノ丁、鯨肉百斤、從價三割、五十五ノ「コデンシスミル」百斤從價三割、五十五ノ一、同ジク乾キタルモノ百斤從價三割五分、五十九鳥卵百斤六圓、百一十一「オレイン」百斤八圓五十錢、百六十四ノ二、其ノ他苛性曹達ノ粗製百斤二圓五十錢、百九十五番「フォルマリン」百斤七圓六十五錢、二百三十一番ノ二「ダイナマイト」百斤十四圓三十錢、二百四十四、酸化「コバルト」無稅、二百四十五番、金液無稅、二百七十二番綿織糸無

○永田委員 本案ニ付キマシテハ岩切委員ヨリ修正案ノ動議ガ提出サレテ居リマス、ソレニ引續キマシテ政友會諸君ヨリ既ニ澤山ノ質疑ガ重ネラレテ居リマス、後ノ二三ノ御方ノ御意見ハ初メノ二三ノ御方ノ御意見ト殆ド等シイと思ツテ居リマス、故ニ質疑モ大體其意ヲ盡シタモノト思ヒマス、質疑ヲ此程度デ打切りマシテ、直ニ政友會カラ委員長ノ御手許ニ通告ガアリマス、政友會ノ修正案ノ提出ヲ願ヒマシテ直ニ御説明ヲ承リタイ、斯様ニ思フノデアリマス、即チ質疑ヲ打切りマシテ、政友會ヨリ提出サレタ修正案ノ説明ヲ御願ヒ

○加藤委員長 多數ト認メマス、政友會ノ修正案ニ付テ御説明ヲ願ヒマス
○吉津委員 此場合私カラ修正ノ理由ヲ簡單ニ御説明致シタイト存ジマス、尙ホ修正品目ガ多數ゴザイマスノデ、足ラナイ所ハ各擔當者カラ重ネテ御説明申上ゲタイト存ジマス、吾々此修正ニ對シテ一定ノ方針ヲ定メマシテ此修正ニ臨ンダノデアリマス、即チ第一ニ彌ガ上ニモ増加スル人口、之ニ依テ失業者、此失業ヲ防止シ、サウシテ此勞働問題ノ解決ヲ致サント存ジマシテ、此意味ニ於キマシテ此修正ヲ試ミタノデアリマス、尙ホ此機會ニ申上ゲタイコトハ、非公式デアアリマシタケレドモ、打合委員會ニ於キマシテ、極メテ慎重ニ熱心ニ而モ政黨政派ヲ超越致シマシテ、茲ニ此修正案ヲ作ツタノデアリマス、此修正案ノ精神ハ必ズシモ我黨ノミノ精神デハナイノデアリマス、中ニ染料ノ如キハ尊敬スル飯塚君ノ御趣旨ヲ體シ、或ハ船舶ニ付キマシテハ最モ此道ニ御精通ノ橋本君ノ御意見ヲ尊重致シ、又木材ニ付キマシテ太田君尙ホ毛織物ニ付キマシテハ是亦奧村君ノ御意見ヲ尊重致シマシテ、魚貝類ノ如キ

ハ佐々木君各其感情ヲバ超越致シマシテ、サウシテ茲ニ此修正案ヲ見タノデアリマス、謂ハバ此修正案ノ精神ハ殆ド各派一致ノ精神ガ籠ッテ居ルノデアリマス、今日トナツテ之ヲ考ヘテ見マスト、非公式デアアリマスケレドモ、殊ニ米ノ如キ洵ニ和衷協同ノ下ニ色々御話ガアッタノデアリマス、ソレニ今日ニナリマシテ、恰モ吾々ヲ二階ヘ抛リ上ゲテ、梯子ヲ奪ッタヤウナ形ニナツテ居リマス、ケレドモ私共曩ニ此精神的ニ修正シタ事デアリマスカラ、茲ニ此提案ヲ致スノデアリマス、私ハ其當時ノ事ヲ考ヘマスト、餘リニ本黨ノ諸君並ニ憲政會ノ諸君ハ、少シ御卑怯デアアルと思フ、洵ニ遺憾千萬デアリマス、先刻モ吾々ノ同志カラ申サレマシタ如ク、吾々ノ審議權ヲ無視シテ、サウシテ新タニ設ケラルベキ關稅調查會ニ諮問スルナント云フコトハ、自ラ議員ノ職責ヲ輕ンズルモノデアリマシテ、私ハ啞然トシテ、唯今日迄ノ御態度、御精神ハ、餘リニ卑怯ニ思フノデアリマス、先刻本黨ノ沼田君ガ、米ニ付テ私モ反對スルト云フヤウナコトデアリマシタガ、是ハ私一個ノ考デアリマス、私ハソレ等ノ事ハ餘リ繰返シマセヌガ、茲ニ修正ノ各項目ニ互リマシテ簡單ニソレヲ御説明致スノデアリマスルガ、重ネテ申シマスガ、今茲ニ修正案ヲ説明致シマ

長モ能ク御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、稅番ノ十二米、粳百斤ニ付一圓五十錢、是非公式デアアリマスケレドモ、明ニ岩切君カラ二圓デアルト云フコトヲ承ツタノデアリマス、又新聞紙ニモ爾カ傳ヘラレテ居リマス、之ニ付テ説明致セバ長クナリマスカラ申シマセヌ、我ガ黨ト致シマシテハ一圓五十錢ニ修正ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ稅番十六、小麥百斤ニ付テ一圓五十錢ト修正致シマシタ、ソレカラ稅番二十一、大豆百斤一圓二十錢、稅番二十一ノ二、小豆百斤八十五錢、稅番二十一ノ三、蠶豆百斤六十八錢、稅番二十一ノ四、綠豆百斤八十五錢、二十一ノ五、豌豆百斤七十七錢、二十二番ノ二、小麥粉百斤二圓九十錢、ソレカラ二十二番ノ四「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」百斤二圓、二十番ノ五「コーンスターチ」百斤二圓、五十二ノ一、甲、牛肉百斤三圓八十錢、五十二ノ丙、豚肉百斤從價三割、五十二ノ丁、鯨肉百斤、從價三割、五十五ノ「コデンシスミル」百斤從價三割、五十五ノ一、同ジク乾キタルモノ百斤從價三割五分、五十九鳥卵百斤六圓、百一十一「オレイン」百斤八圓五十錢、百六十四ノ二、其ノ他苛性曹達ノ粗製百斤二圓五十錢、百九十五番「フォルマリン」百斤七圓六十五錢、二百三十一番ノ二「ダイナマイト」百斤十四圓三十錢、二百四十四、酸化「コバルト」無稅、二百四十五番、金液無稅、二百七十二番綿織糸無

税、ソレカラ三百一ノ二、毛織物、其ノ他ノ甲、毛製ノモノ五百瓦ヲ超エザルモノ、之ヲ八十四圓、三百一ノ二、毛織物、其ノ他ノ乙ノ半木綿製ノモノ五百瓦ヲ超エザルモノ、五十六圓二十五錢、三百五十四乙ノ一、帽子、(ロ)「フェルト」製、羊毛製以外、毎打二十五圓七十錢、ソレカラ三百六十一、製紙用「バルブ」、一「メカニカルバルブ」之ヲ無税、三百六十一ノ二、其ノ他百斤、之ヲ五十四錢、三百六十二番ノ印刷料紙「アトベーパー」百斤四圓五十錢、三百六十三、筆記用紙百斤三圓八十五錢、三百六十四、圖書用紙百斤五圓五十錢、三百六十七、包裝用紙及燐寸用紙百斤二圓十錢、四百六十二、鐵甲、銑鐵、毎百斤四十二錢、同ジク乙從價一割四分、尙ホ同番丙ノ二其ノ他從價二割、二條及竿(テ)形アングル形等ノ形狀ヲ有スルモノヲ含ム)百斤一圓五十錢、三「レール」百斤一圓三十錢、四「ワイヤロッド」(卷キタルモノ)從價二割四分、五、板、口其ノ他百斤二圓六十五錢、甲ノ二、厚三ミリメートルヲ超エザルモノ、百斤一圓九十錢、甲、三其ノ他百斤一圓五十錢、乙二亞鉛ヲ鍍シタルモノ、百斤三圓三十錢、乙、三其ノ他從價二割五分、四百六十二ノ六、線、甲、卑金屬ヲ鍍シタルモノ、從價二割五分、四百六十二ノ乙、卑金屬ヲ鍍セサルモノ從價二割二分、四百六十二ノ十一、(線索及燃合線卑金屬ヲ鍍シタルト否トヲ別タス)百斤六圓、二割五分

四百六十二ノ十三、筒及管、甲ノ一「エ」ルボ「イ」及「ジョイント」從價二割四分、甲ノ二其ノ他、イ、鑄タルモノ百斤一圓三十錢、ロ、其ノ他ロノ一、徑百五十「ミリメートル」ヲ超エサルモノ、從價二割四分、ロノ二、其ノ他從價二割五分、四百六十二ノ二、特殊鋼、從價二割二分、五百二十六、懷中時計、二ノ乙ノロ、其ノ他每個一圓三十錢、五百五十七、一「ピア」ノ百斤從價五割、五百六十八、船舶、總噸數毎噸十年ヲ超エサルモノ、毎噸二十五圓、二十年ヲ超エサルモノ毎噸二十圓、其ノ他、毎噸二十五圓、六百七番蒔蒔芋同切干同粉、從價三割五分、六百十二、木材、丙「チーキ」從價一割、丁「マホガニー」從價二割、己ノ一「フアーバイ」ンスブル「ス」長サ七・二七「メートル」厚サ幅〇・二四「メートル」ヲ超エサルモノ、從價一割、己ノ二「レットシダー」從價一割五分、己ノ三「ホワイトシダー」從價二割、己ノ四「ヘムロック」從價一割五分、六百三十五ノ三、白熱電球、甲、六十「ワット」以下ノモノ每個七圓、乙六十「ワット」以上ノモノ每個十七圓、六百四十圓運動具「テニス」野球「フットボール」其ノ他從價五割、以上各項目ヲ朗讀致シタルデアリマスガ、此一般農産物ニ付テハ、修正ノ理由ヲ長田君ニ私ハ讓リタイト思ヒマス、私ノ擔當シテ居リマスル中ノ酸化「コバルト」ニ付テ修正ノ理由ヲ簡單ニ申述ベタイト思ヒマス、此酸化「コバルト」ノ問題ニ付テハ、奥村君カラ詳細御質問ガアリ、其質問ノ御趣旨ハ御修正ニナルヤウナ意味ニ於テ御質問デアッタノデアリマス、政府委員ノ御答辯ハ今生産スルモノアリト云フヤウナ御答辯デアリマシタガ、私手許ニ持ッテ居リマスル大阪府ノ調査書類ニ依リマス、製造ハ中止シテ居リマス、而モ私ハ其製造工場ノ附近ニ居リマスルガ故ニ、割合ニ其事情ニ通ジテ居ルデアリマス、全ク此酸化「コバルト」ノ製造ハ中止サレテ居リマス、若シ今マデニアル工場製造致シテ居リマシタ「コバルト」ニ依テ、珪瑯鐵器ノ如キ物ヲバ造リマスルト云フト、決シテ是ハ輸出品ニナラナイ、此意味ニ於テ之ニ付キマシテハ、奥村君ノ御意見ハ極メテ尊重シテ私ハ御同意シテ居ルデアリマス、其他綿織物ニ付テハ五十議會ニ於テ三派共同ノ提案ニ依リマシテ、既ニ院議決定シテ居ルモノデアリマス、此意味ニ於テ是ハ當然無税ニスベキモノト信ジテ、無税ト修正シタルデアリマス、此毛織物ノ毛製物五百「グラム」ヲ超エザルモノト申スモノハ、是ハ多ク中産階級ノ人ミノ用ヒルモノデアリマシテ、羊毛ノ産業ヲ保護スルト云フコトハ、是ハ異議ハナイデアリマス、ケレドモ餘リニ保護ノ程度ガ超エテ居ル、ソレ故ニ約一割ノ修正ヲ見タノデアリマスケレドモ、之ヲ審議シテ居リマシタ時分ニハ、半額ノ説モ出テ居ッタノデ、是亦與黨諸君ノ御趣旨ヲ尊重致シマシテ、此程度ニ讓ッタノデアリマス、此機會ニ私一言添ヘテ置キタイト思ヒマスルハ、關西ノ新聞紙ニ、東京毛織ガ社債賣出ヲヤッテ居リマス、其社債賣出シノ廣告文ヲ見マスルト、金融緩慢關稅引上ゲ、斯ウ云フコトヲバ題目ト致シマテ、之ヲ神田銀行カラ賣出シテ居ルデアリマス、紅葉屋ノ出張店ガ賣出シテ居ルデアリマス、度々議會ニ問題ニナル此神田銀行ト云フノハ、神田鑛藏氏ノ經營シテ居ル銀行デアルト承知致シテ居リマス、其店員ガ關西地方ノ市場ニ廻リマシテ、サウシテ此羊毛工業ノ有望ナルコトヲバ宣傳致シマシテ、今之ヲ賣出シテ居ル居ル、其事情ヲ消費者階級ノ人ミガ、吾々ニ其新聞ノ切抜ヲ送ッテ來タ、餘リニ此羊毛工業ノ宣傳ハ過ギルデハナイカ、少シ消費者階級ノコトヲ考ヘテヤラナケレバナラヌト云フコトヲ言ッテ來マシタ、實ハ此處ニ持ッテ來テ居ルト思ッテ居リマシタガ、アリマセヌカラ申上ゲマセヌ、其次ニ乙ノ「ハ」ノ毛綿製ノ如キハ、ドウシテモ日本デハ出來ナイ、是ハ小學校ノ生徒ノ帽子ニ多ク用キラレテ居リマス、斯ノ如キモノヲバ一時ニ多額ノ稅盛リヲスルト云フコトハ、常ニ社會政策ヲ唱道セララル現政府ノ稅盛リトシテハ如何デアラウカト思ヒマシテ、之ニ相當ノ修正ヲ加ヘタノデアリマス、

又三百六十一番ノ製紙用ノ「バルブ」デアリマスガ、之ニ付キマシテハ工藤鐵男君ガ最モ御熱心ニ此事柄ニ付テ御主張ニナッテ居リマスカラ、其御趣旨ヲ私共ハ體シマシテ、サウシテ「メカニカルバルブ」所謂新聞紙ノ原料ニ對シテハ無稅ニ修正ヲ致シタノデアリマス、又「アトトベトバ」ノ如キモ新正俱部ノ増田義一氏カラ、殊更ニ使ヒテ寄越サレ、御修正ノ御研究ニナッテ結果ヲ申出ニナリマシタノデ、皆サンノ御意圖ノ在ル所ヲ諒承シマシテ、四圓五十錢ニ修正ヲ致シタノデアリマス、鐵ニ對シマシテハ是ハ山本委員ヨリ御説明ヲ申上ゲマス、是ハ全然鐵ニ對スル國策上ノ根本ノ見解ヲ誤ッテ居ルノデアリマスカラ、是ハ此機會ニ詳細ニ申述ベテ置ク必要ガアラウト存ジマス、ソレカラ「ビヤノ」ノコトニ付キマシテハ、憲政會ノ理事デアル永田君ノ如キモ、最モ熱心ニ御主張サレマシタノデ、私共ハサモアルベキコトト存ジマシテ、此御意見ヲ尊重致シタノデアリマス、船舶尙ホ其通り、ソレカラ木材ニ付キマシテハ佐藤委員ガ熱心ニ御主張ニナッテ居ッタウデアリマス、是ハ山林保護、治水、各方面カラ致シマシテ調査ノ結果、斯様ノ修正ヲ致シタノデアリマス、ソレデ農産物一般ニ付キマシテハ、長田君、山内君ニ、私ノ後ヲ御説明ヲ願ヒマス、機械ニ付キマシテハ竹内君、鐵ニ付キマシテハ山本余太郎君、ソレカラ申シ

落シテ居リマシタガ、二百三十一ノ二、爆發藥ノ中ニ「ダイナマイト」毎百斤之ヲ十四圓三十錢、二百三十一ノ三、「デトネートル」之ヲ百斤六十圓、是ハ追加致シマス、「ダイナマイト」船舶木材ニ付キマシテハ山本委員カラ御説明致シマス、私ハ事務的ニ甚ダ散漫デアリマシタケレドモ簡單ニ御説明致シタノデアリマス

○長田委員 私ハ農産物及農産物關係品ニ對シテ、吉津君ノ説明ヲ補足致シテ、各位ノ御諒解ヲ得タイト考ヘマス、問題ハ農産品ノ事デゴザイマシテ、之ヲ一々詳シク御説明申上ゲルト云フコトハ、各位ニ對シテ寧ロ敬意ヲ失スル譯デアルト存ジマスカラ、成ベク簡單ニ議事進行ニ努メル積リデゴザイマス、此米及粳ノ問題ガ第一デアリマスガ、第一ノ觀念ハ農産物全體ヲ通ジテ、我ガ國民ノ食糧品ノ全體カラ考ヘマシテ、各年其食糧品ハ約十三年度ニ於テハ四億千七百萬圓、十四年度ニ於テハ四億十三萬圓ト云フガ如キ莫大ナル食糧品及木材ノ輸入ヲ見テ居ルノデアリマシテ、此勢ヲ過去ノ統計カラ見マスルト、益其輸入額ガ増加スルノミデアッテ、一向ソレガ減少スル見込ガ付キマセヌノデ、國際貸借ノ關係カラ考ヘテ、一ニ貿易ヲ助長シテ、其國際貸借ノ「バランス」ヲ得ルト云フコトニノミ信賴スル譯ニハ行カナイ、ドウシテモ此食糧問題等ニ對シテハ出來ルダケ國民ガ

終引合ニ出ル紡績業ノ如キ、綿糸ノ市價ガ生産費ヲ償ハヌト云フコトニ至ラズトモ、彼等ノ希望スル値段ニ到達セヌコトニナレバ、直ニ繰繰短縮其他ノ方法ヲ以テ生産ヲ減少シテ、自己ノ力ニ依テ其市價ヲ維持シテ參ッテ居リマス、國民ハ毫モ之ニ對シテ怪ンデ居リマセヌ、然ラバ農産物ニ對シマシテモ、其農産物ノ市價ガ生産費ヲ償フニ足ラヌト云フ狀態ニナリマシタナラバ、紡績ノ如キ統一ガ出來ルナラバ、全國ノ農業者ガ一團トナッテ、其作付段別ノ一割ニ割ヲ減少シテ、其農産品ノ收穫ヲ少クシテ價格ヲ釣上ゲテ、恰モ紡績業者ノ爲スガ如キ自衛手段ヲ講ズルコトガ當然ト思ヒマスケレドモ、併ナガラ食糧品ハ一日モ缺クベカラザルモノデアリマス、農村ニ於ケル方々ガ左様ナ考ヲ持タズ、營々トシテ市價ノ如何ニ拘ラズ努力ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、世ノ進歩ニ從ッテ生産費ヲ償ハナイヤウナ市價ガ毎年超ルト云フヤウナ不祥事ヲ見タナラバ、必ズヤ施肥ヲ怠リ若クハ農事ノ改良ヲ怠ル結果トシテ、收穫ノ減少スルコトハ當然デアル、其結果ハ遂ニ大正七八年ノソレノ如ク、食糧不足ノ爲ニ又恰モ不幸ニシテ熱帶地方ノ所謂外米ナルモノガ、其當時ニ於テハ不作デアッタガ爲ニ、遂ニ食糧不足ニ陥ッテ米騒動ヲ起シタヤウナ不祥事ガアッタノデアリマスガ、サウ云フ事ノナイヤウニシナケレバナラ

心掛ケテ、内地デ自給自給シ得ルモノニ對シテハ之ヲ保護シ、徹底的ニ内地ノ生産ニ依テ自給自給ノ出來ルヤウニシナケレバナラヌ、サウシテセメテハ食糧品ニ對スル輸入金額ヲ少クスル、或ハ絶減スルト云フヤウナ氣分ヲ以テ進ム必要ガアル、斯様ニ實ハ考ヘマシタノガ第一ノ觀念、第二ノ觀念ハ此米及粳其他小麥ニ至ル總テノモノガ、内地ニ於テ自給自給ガ出來ナイト云フコトデアレバ、是ハ外國品ノ最モ安キモノヲ入レルト云フコトニ努力シナケレバナリマセヌガ、調査スル所ニ依ルト、此農産品中ノ食糧ニ屬スル部分ノモノハ、各皆相當ノ理由ノ下ニ自給自給ヲ爲スコトヲ得ルト吾ハ信ジテ居リマスケレドモ、自給自給ガ出來ルナラバ、一面ニ於テ此問題ニ對シテハ關稅問題ヲ考慮シ、一面ニ於テハ農林省ノ諸公ノ申サレマスル通りニ、所謂農事ノ改良或ハ副業ノ獎勵、有ユル方面ニ於テ其生産ノ増額ヲ圖ルト同時ニ、生産費ヲ減少セシメルト云フ兩様ノ手段ヲ以テ、自給自給ノ目的ヲ達成スル必要ガアル、斯様ニ考ヘマシタガ爲ニ、關稅ノ稅率ニ對シテハ相當ノ改正ヲ實ハ致シタ次第ナノデアリマス、結局自給自給ノ問題ハ、商工業ト言ハズ、或ハ農業ト言ハズ、既ニ其問題ガ營利事業デアアルナラバ、其事業其モノニ利益ガ生レルト云フコトガ根本觀念デアリマス、商工業ニ對シマシテハ御承知ノ如クニ始

終引合ニ出ル紡績業ノ如キ、綿糸ノ市價ガ生産費ヲ償ハヌト云フコトニ至ラズトモ、彼等ノ希望スル値段ニ到達セヌコトニナレバ、直ニ繰繰短縮其他ノ方法ヲ以テ生産ヲ減少シテ、自己ノ力ニ依テ其市價ヲ維持シテ參ッテ居リマス、國民ハ毫モ之ニ對シテ怪ンデ居リマセヌ、然ラバ農産物ニ對シマシテモ、其農産物ノ市價ガ生産費ヲ償フニ足ラヌト云フ狀態ニナリマシタナラバ、紡績ノ如キ統一ガ出來ルナラバ、全國ノ農業者ガ一團トナッテ、其作付段別ノ一割ニ割ヲ減少シテ、其農産品ノ收穫ヲ少クシテ價格ヲ釣上ゲテ、恰モ紡績業者ノ爲スガ如キ自衛手段ヲ講ズルコトガ當然ト思ヒマスケレドモ、併ナガラ食糧品ハ一日モ缺クベカラザルモノデアリマス、農村ニ於ケル方々ガ左様ナ考ヲ持タズ、營々トシテ市價ノ如何ニ拘ラズ努力ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、世ノ進歩ニ從ッテ生産費ヲ償ハナイヤウナ市價ガ毎年超ルト云フヤウナ不祥事ヲ見タナラバ、必ズヤ施肥ヲ怠リ若クハ農事ノ改良ヲ怠ル結果トシテ、收穫ノ減少スルコトハ當然デアル、其結果ハ遂ニ大正七八年ノソレノ如ク、食糧不足ノ爲ニ又恰モ不幸ニシテ熱帶地方ノ所謂外米ナルモノガ、其當時ニ於テハ不作デアッタガ爲ニ、遂ニ食糧不足ニ陥ッテ米騒動ヲ起シタヤウナ不祥事ガアッタノデアリマスガ、サウ云フ事ノナイヤウニシナケレバナラ

終引合ニ出ル紡績業ノ如キ、綿糸ノ市價ガ生産費ヲ償ハヌト云フコトニ至ラズトモ、彼等ノ希望スル値段ニ到達セヌコトニナレバ、直ニ繰繰短縮其他ノ方法ヲ以テ生産ヲ減少シテ、自己ノ力ニ依テ其市價ヲ維持シテ參ッテ居リマス、國民ハ毫モ之ニ對シテ怪ンデ居リマセヌ、然ラバ農産物ニ對シマシテモ、其農産物ノ市價ガ生産費ヲ償フニ足ラヌト云フ狀態ニナリマシタナラバ、紡績ノ如キ統一ガ出來ルナラバ、全國ノ農業者ガ一團トナッテ、其作付段別ノ一割ニ割ヲ減少シテ、其農産品ノ收穫ヲ少クシテ價格ヲ釣上ゲテ、恰モ紡績業者ノ爲スガ如キ自衛手段ヲ講ズルコトガ當然ト思ヒマスケレドモ、併ナガラ食糧品ハ一日モ缺クベカラザルモノデアリマス、農村ニ於ケル方々ガ左様ナ考ヲ持タズ、營々トシテ市價ノ如何ニ拘ラズ努力ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、世ノ進歩ニ從ッテ生産費ヲ償ハナイヤウナ市價ガ毎年超ルト云フヤウナ不祥事ヲ見タナラバ、必ズヤ施肥ヲ怠リ若クハ農事ノ改良ヲ怠ル結果トシテ、收穫ノ減少スルコトハ當然デアル、其結果ハ遂ニ大正七八年ノソレノ如ク、食糧不足ノ爲ニ又恰モ不幸ニシテ熱帶地方ノ所謂外米ナルモノガ、其當時ニ於テハ不作デアッタガ爲ニ、遂ニ食糧不足ニ陥ッテ米騒動ヲ起シタヤウナ不祥事ガアッタノデアリマスガ、サウ云フ事ノナイヤウニシナケレバナラ

終引合ニ出ル紡績業ノ如キ、綿糸ノ市價ガ生産費ヲ償ハヌト云フコトニ至ラズトモ、彼等ノ希望スル値段ニ到達セヌコトニナレバ、直ニ繰繰短縮其他ノ方法ヲ以テ生産ヲ減少シテ、自己ノ力ニ依テ其市價ヲ維持シテ參ッテ居リマス、國民ハ毫モ之ニ對シテ怪ンデ居リマセヌ、然ラバ農産物ニ對シマシテモ、其農産物ノ市價ガ生産費ヲ償フニ足ラヌト云フ狀態ニナリマシタナラバ、紡績ノ如キ統一ガ出來ルナラバ、全國ノ農業者ガ一團トナッテ、其作付段別ノ一割ニ割ヲ減少シテ、其農産品ノ收穫ヲ少クシテ價格ヲ釣上ゲテ、恰モ紡績業者ノ爲スガ如キ自衛手段ヲ講ズルコトガ當然ト思ヒマスケレドモ、併ナガラ食糧品ハ一日モ缺クベカラザルモノデアリマス、農村ニ於ケル方々ガ左様ナ考ヲ持タズ、營々トシテ市價ノ如何ニ拘ラズ努力ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、世ノ進歩ニ從ッテ生産費ヲ償ハナイヤウナ市價ガ毎年超ルト云フヤウナ不祥事ヲ見タナラバ、必ズヤ施肥ヲ怠リ若クハ農事ノ改良ヲ怠ル結果トシテ、收穫ノ減少スルコトハ當然デアル、其結果ハ遂ニ大正七八年ノソレノ如ク、食糧不足ノ爲ニ又恰モ不幸ニシテ熱帶地方ノ所謂外米ナルモノガ、其當時ニ於テハ不作デアッタガ爲ニ、遂ニ食糧不足ニ陥ッテ米騒動ヲ起シタヤウナ不祥事ガアッタノデアリマスガ、サウ云フ事ノナイヤウニシナケレバナラ

ス、此考ハドウシテモ商工業ノソレト同ジヤウニ、其市價ヲ相當ニ維持シテ置クコトガ根本觀念デアルト考ヘタノデアリマス、其根本觀念ニ於テハ、ドウシテモ是ハ關稅ノ保護ニ依テ相當ニ外米ノ壓迫ヲ防グコトガ必要デアアル、固ヨリ政府ノ御説明ノ如ク、此食糧品ニ對シテ生産者側ノ意嚮ヲ少シモ考慮ニ入レナイノデハナイ、併シ之ヲ考慮ニ入レルト同時ニ、生産者側ノ要求ヲ相調節セシメル點ニ於テ、政府ノ見ラレル所ト吾々ノ見ル所ト其處ニ率ノ上ニ於テ多少差ヲ生ズルノミデアリマシテ、其根本ノ觀念ニ於テハ政府ノ御意見ト吾々ノ修正意見ノ考トハ少シモ違ヒガアル譯デハアリマセヌ、サウシテ米及穀ノ問題ニ對シテ、吾々ハ普通ノ場合ニ於テ、本黨ノ諸君ハ新聞紙上ニ於テ私ノ拜見スル所ニ依ルト二圓ヲ唱ヘラレマシタガ、ソレガ私ハ最モ適當ナル賦課額ト存ジテ居リマス、何トナレバ所謂關稅ニ於テ保護スルト云フコトニナリマスレバ、内地米ノ生産費ト外米ノ沖渡値段ト之ヲ對照セシメテ、其差額ヲ標準ニ稅盛リヲスルト云フノガ當然デアリマスガ、サウ致シマスルト二圓ト盛ルノガ當リ前、是ハ斯ウ云フモノデアルト考ヘラレマス、併ナガラ一圓ト云フ稅盛リヲ二圓ニ俄ニ上ゲルコトガ如何ニ消費者階級ノ方ニ御氣分ヲ唆ルデアラウカト云フヤウナコトヲ考慮致シマシテ、吾々ハ之ヲ

一圓ニシタノデアリマス、又半面ノ理由ト致シマシテハ、現在ノ此一圓ト云フ所謂現行ノ稅率ナルモノノ出來マシタノハ四十三年デアリマシテ、其當時ノ米ノ市價ト今日ノ市價トヲ眺メテ見マスルナラバ、之ヲ寧ロ二圓以上ニ上ゲルト云フコトガ當然ノ狀態ニアルト云フヤウナ、所謂數字ガ現レテ參ルノデアリマスカラ、二圓ト見ラレルノモ一面ニ於テ當然ト思ハレマスケレドモ、吾々ハ寧ロ消費者側ノ考ヲ考慮ニ入レ、之ヲ調節シテ一圓五十錢ト致シマシタ、所ガ此問題ニ對シマシテハ本黨ヨリ修正案ガ現レテ居リマシテ、此米ノ問題ハ御唱ヘニナツテ居タ所ノ二圓說ヲ悉皆取消サレマシテ、一ニ米穀法ノ運用ニ待ツト云フコトニ御考ヲ御變ヘニナツタト云フコトデアリマスガ、此米穀法ノ運用ニ依テ此米穀保護ガ出來ルト云フコトデアリ、關稅ノ保護ト同一ノ效果ガ舉ガルコトデアリマスレバ、吾々モ大ニ考慮シナケレバナラヌト考ヘマスケレドモ、吾々農村ノ問題ヲ主トシテ考ヘテ居リマスル同僚ハ、今日ノ米穀運用ニ依テハ、所謂米價ヲ保護スルト云フコトニハ相成ラヌ、ソレニハ不十分デアルト實ハ考ヘテ居リマス、若シ今日政府ニ於カレマシテ、米ノ生産費ヲ大膽ニ公表サレマシテ、此生産費ヲ基準ニ置イテ、米穀法ノ運用ヲスルト云フコトニ御宣明ヲ相願フコトガ出來ルト云フコトデアリマスレ

バ、是ハ格別デアリマスケレドモ、幾度カ諸種ノ機會ニ於テ農林當局ニ御伺致シマスルケレドモ、米穀ノ生産費ヲ此際ニ公表スルト云フ所謂勇氣ハナイ、各府縣ノ狀態ニ依テ其生産費ハ各異ナルノデアアルカラ、之ヲ一樣ニ見テ、大膽ニ平均ヲ取ツテ公表スルト云フコトハ考モノデアルト云ツテ、一向御同意ヲ下サラヌノデアアル、致方ガゴザイマセヌカラ、私共ハ現在ノ米穀法ハ現在ノ狀態ニ於テ運用サレルト考ヘマスルガ、幸ニシテ先年價格ノ調節ト云フ文字ガ入リマシタカラシテ、多少效果ハ大キクナツタトハ存ジマスケレドモ、之ヲ以テ直ニ必然的ニ湧イテ來ル市價ナルモノヲ眞ニ是デ調節スルコトハ私ハ非常ニムヅカシイ事デアルト考ヘテ居リマスノデ、到底米穀法ノ運用ニ依テハ其目的ヲ達スルコトガ出來ヌト考ヘテ居リマス、況ヤ先頃此委員會ニ於キマシテ、私ガ申上ゲマシテ御伺ヲ致シタ中ノ米穀法ノ運用ハ、朝鮮、臺灣ニハ及バナインデアアル、而モ朝鮮、臺灣ニ於テハ、日本内地ノ種子ヲ入レテ大ニ產米ノ増殖ヲ圖ラルルト云フコトデアアル、其產米増殖ノ力ニ依テ、恐ラクハ昔年ナラズシテ朝鮮、臺灣共ニ兩方デ一千万石以上ノ米ガ内地ニ移入サレルコトハ是ハ見易イ道理デアアル、是ハ想像ニアラズシテ事實デアルト私ハ考ヘマスガ、其一千萬石以上ノ米ガ内地ニ入ッタ場合ニ、果シテ内地ノ米ノ市價ガ之ニ依

テ壓倒サレハセヌダラウカ、之ニ依テ市價ガ壓サレハセヌダラウカト云フコトヲ申上ゲマシタ、若シ此米ヲ内地ニ入レルト云フコトニ依テ、反對ニ外米ガ臺灣、朝鮮ニ這入ッテ、其朝鮮人諸君ニハ外米ヲ食ベサセテ、或ハ雜穀ヲ食ベサセテ、サウシテ朝鮮ニ出來ル所ノ増殖ノ米ガ大ニ内地ニ這入ッテ來ルコトデアレバ、食糧政策ニハ都合ガ好イケレドモ、内地ノ市價ガ壓サレルコトハ當然ノコトデアアル、其壓サレル所ノ外米ニ對シテ、米穀法ノ運用ガ出來ヌコトデアレバ、朝鮮ノ外米輸入ニ對シテ何トカ方法ヲ執ツテ貫ハナケレバナラヌト云フコトヲ言ツタトキニ、小山政務次官ハソレニハ法律ガアツテ之ヲ防グコトガ出來ルト云フ御話デアリマシタ、ソコデ其法律ヲ見タノデアリマスガ、不幸ニシテ其法律ハ、内地ノ米穀法ノ二條ニアリマシヤウニ、政府ノ必要ニ於テ關稅ヲ増減スルト云フ増ノ字ガ抜ケテ居ッテ、凶作ノ場合ニ於テ其關稅率ヲ引下ゲルト云フコトノミデアリマス、恰モ關稅定率法ノ第六條ノ中ニアリマシヤウナコトヲ、植民地ニ之ヲ施行スルノデアアル、關稅定率法ノ第六條ノヤウナコトガアルバカリデアッテ、關稅ヲ引上ゲルト云フ力ハナイ、サウスルト米穀法ハ内地ニノミ行ハレテ、朝鮮ニハ外米ガ流れ込ミ次第デアアル、サウ云フコトニナレバ、必ズヤ增收ニ依テ得ル米ハ滔々トシテ日本内地ニ移入スル、ソレガ内地ノ米ノ

市價ヲ壓迫スルノハ當然デアル、サウシテ政府ノ答辯ニ於テモ、之ニ對シテ何等救済スル途ガナイト云フ以上ハ、米穀法ニノミ信賴シテ市價ヲ維持スルノ至難ナルコトハ明瞭ト思ヒマス、ノミナラズ更ニ外米ノ壓迫ニ對スル觀念ヲ推擴ゲテ行キマス、熱帶米、蘭貢トカ或ハ暹羅アタリノ米ガ這入ッテ來ル、熱帶米ノ情勢ノミヲ考慮スレバマダ宜イ、左程ノ戰慄モ致シマセヌケレドモ、其外ニ又溫帶ノ米ガ這入ッテ來ル、即チ圓價ノ恢復ニ依テ亞米利加ノ米ガ安ク來ルト云フ結果ヲ生ズルノデアリマス、加州米ノヤウナ溫帶米ガ沿々トシテ日本ニ這入ッテ來ルコトヲ想像スル場合ニハ、如何ニシテモ關稅ヲ以テ是ガ壓迫ヲ防グト云フコトハ、最モ必要ナ政策ト考ヘテ居リマス、況ヤ外米ノ壓迫ヲ防グ爲ニ、關稅ノ引上ニ依テ直ニ日本内地ノ米ノ市價ヲ引上グルモノデハナイ、直ニ引上グルモノデハナイガ故ニ、私共ハ米穀ノ關稅ヲ引上ゲテ外米ノ壓迫ヲ防グト云フコトガ、一面ニ於テハ内地ノ米ノ市價ヲ維持スル所

ルコトガ最モ適當ト思ヒマス、固ヨリ此場合ニ、先刻モ申上ゲマシタ通り、二圓ニスベキモノヲ一圓五十錢ニスル以上、之ヲ以テ其目的ヲ達スベキ唯一ノモノデハアリマセヌカラ、他ノ方面ニ於テ農事ノ改良、產米ノ増殖、或ハ副業ノ獎勵、畜產ノ獎勵等ヲ圖ッテ、大ニ米ノ增收ヲ促ガシ、又其餘剩勢力ヲ他ニ轉ジテ能率ヲ上ゲルト云フコトモ、極メテ必要デアル、ソレニ依テ米ノ生産費ヲ減少スルコトモ併セテ考ヘルト云フコトハ當然デアリマス、而シテ吾々ノ修正案トシテ現ハレテ居リマス一圓五十錢ノ問題、是ガ如何ナル程度ニマデ消費者階級ヲ脅威スルモノデアラウカ、反對論者ノ説ヲ聽キマス、非常ニ生活ノ壓迫ヲスルカノ如クニ言ハレテ居リマス、私共ハ此一圓五十錢ノ稅率改正、即チ五十錢ノ引上ヲ以テ、反對論者ノヤカマシク唱ヘラレルガ如クニ大ナル生活上ノ脅威ヲ與ヘルモノトハ信ジマセヌ、即チ五十錢ノ引上ハ取モ直サズ一升ニ付テ一錢二厘五毛ノ値上トナルノデアリマス、而シテ外米ノミヲ食ベテ居ル人、或ハ五十錢ノ引上ニ依テ市價ガ全部上ガルモノト假定致シマシテモ、國民ノ消費量ハ十四年度ニ於テ一人ノ年額ガ一石一斗二升三合デアリマスカラ、一升ニ付テ一錢二厘五毛、一人ノ月額ガ全部五十錢高クナッタ米ヲ食ベタト致シマシテモ十一錢六厘ニシカナラナイ、此位ノ負

擔ガ重クナッタカラト言ッテ、消費者階級ガ左程聲ヲ大ニシテ騒ガナケレバナラスト云フコトニ相成ルデアリマセウカ、若シ之ヲ先頃政府ガ一大英斷ヲ以テナサレマシタル煙草ノ値上ナドニ比ベマシタナラバ、正ニ九牛ノ一毛ダラウト考ヘマス、況ヤ之ニ依テ内地ノ食糧ノ自給自足ト云フコトノ望ガ濃厚ニナル、此政策ニ依テ外米ガ減ッテ來ルト云フコトニナルノデアアルナラバ、國民ハ此位ノ負擔ハ何デモナイコトデ、喜ンデ此負擔ヲ辭セナイデアラウト私ハ信ジテ疑ヒマセヌ、若シ米ガ一升ニ付テ一錢二厘五毛、月額十一錢六厘ト云フ負擔ガ非常ニ重クテ、這入ッテ來ル外米ヲ防ガナケレバナラヌ、防グニハ所謂關稅ヲ引上グルト云フコトヲ考ヘマシタナラバ、ドウシテモ是ハ國民ガ食ベルモノヲ減ラス、儉約シテ外米ヲ防グト云フ外ハアリマセヌ、昨年ニ於テ外米ノ這入ッテ來タ高ヲ見マシテモ約五百萬石アル、其中百四十萬石程ノモノハ更ニ朝鮮臺灣等ニ移出サレテ居リマスカラ、殘ル三百五十萬石程ノモノヲドウシテモ負擔シナケレバナラヌト云フコトデスガ、吾々ハ此場合ニ於テ一考ヘテ居ル事ガアル、ソレハ何デア

ルカト言ヘバ、所謂消費者階級ニ於ケル國民ガ飯米所謂御飯ト云フモノヲ粗末ニ取扱ハナイヤウニスル、昨年モ請願委員會ニ現レマシタ一ノ案件ト致シマシテ、汽車ノ中ノ辨當ノ食ベ殘リノ箱ヲ三ツ四ツ拾ッテ參ッテ、斯ノ如ク辨當ノ中ニハ食ヒ殘シノ飯ガ半分以上モ殘ッテ居ル、ソレガ皆泥土ニ委セラレテ居ル、一代議士ガ橫濱カラ東京ニ來ラレル間、朝飯ノ食ベ殘リデアアル其極ク僅カノ殘飯ノ箱ヲ持ッテ來ラレテ、斯様ナ有様デアアル、故ニ何トカシテ汽車中ノ辨當ノ殘飯ノ始末ヲスルコトニ努力シテ貫ヒタイ、如何ニモ勿體ナイト云フ話デアリマシタ、是ハ洵ニ同感デア

ル、ノミナラズ是ハ汽車ノ辨當ノ殘飯

コトハ、例ノ酒造米デアル、アノ一等大粒ノ米ヲ四百五十萬石乃至五百萬石モ酒ニ潰シテ居ルノデアリマス、故ニ私等モ大藏省デ御考ヘニナッテ居ル所ノ米以外ノ早造リノ法ヲ早ク御發表ニナッテ、アレニ依テ此米ヲ潰スト云フ、所謂酒造ノ方法ヲ廢メテ、別ノ國民「アルコトル」ノ趣味ヲ興ヘルヤウナ方法ニ御變ヘニナッテナラバ、一等大粒ノ酒米ハ食糧ニ變ルノデアリマス、今日五百萬石ノ中百四十萬石ハ朝鮮臺灣ニ輸出シテ居ルノデアルカラ、三百六十萬石ト云フヤウナ外米ハ疾ニ帳消シニナッテ、餘剩米ヲ生ズルト云フ計算ニナルノデアリマスカラ、眞ニ國策樹立、即チ食糧ノ自給自足ノ問題ノ爲ニ——外米ノ壓迫ヲ防グ爲ニ、更ニ關稅ヲ引上ゲルコトガ、國民ノ生活ヲ脅威スルモノデアルト御考ナラバ、殘米ノ問題ト酒造米ニ對スル制限ヲ即時斷行サレタナラバ、此苦痛ヲ除去ルコトガ出來ルト云フコトヲ私ハ信ズルモノデアリマス、故ニ私共ハ此米麥ニ對シテノ外米壓迫ヲ防ギ、自給自足ヲ圖リ、且ツハ國際貸借ノ「バランス」ヲ圖ランガ爲メ、國民ノ消費ニ對シテ洵ニ御氣ノ毒デアルケレドモ、其負擔ガ生活ヲ脅威スル程度ノモノトハ考ヘマセヌガ故ニ、五十錢ダケノ關稅ノ値上ヲシタイト考ヘ、一圓五十錢トシタ次第デアリマス、次ニ小麥ニ移リマス、併ナガラ小麥ト小麥粉ト鳥卵ノ問題ハ、永田君ガ非常

ニ御急ギノヤウニ伺ッテ居リマスカラ、是ハ敬意ヲ表シテ私共カラ提案ノ理由ヲ申述ベマセヌ、全クソレハ岩切君ナリ御賛成ニナッタ方々ノ御意見ト其理由ヲ等シクスルト私ハ考ヘマスカラ、是ハ申述ベズニ置キマス、唯大豆小豆、蠶豆、綠豆等ニ付テ、稅率ヲ少々上ゲマシタ、就中大豆ニ對シテハ七十錢ヲ一圓二十錢ニ引上ゲタノデアリマス、統計ハ此處ニ省キマスケレドモ、諸君ノ御覽ニナッテ居リマス通りニ、大豆ノ輸入ダケデモ價格ニ於テ六千萬圓ニ上ッテ居ルノデアリマスカラ、是ハ何トカシテ所謂國際貸借ノ關係カラ見マシテモ、内地デ出來ルノデアリマシテ、殊ニ東北地方北海道ニ於テ開墾スル新シイ土地ヲ選ンデ、餘程能ク出來ルノデアリマスシ、一面ニ於テ土地ヲ肥ヤス點ニ於テモ非常ニ必要ナル作物ト考ヘマス、此兩様ノ意味ニ於キマシテモ内地ノ產額ヲ殖ヤス事ハ必要デアル、併ナガラ此示サレタル輸出額表ニアル通り、此大豆ハ關東洲ガ一番多イノデアリマシテ、關東洲ノ如キ原野ニ生ズルモノハ生産費ハ極メテ少額デ出來ルノデアリマシテ、内地ノ生産費ト較ベマスト非常ニ差ガアリマスノデ、之ニ對シテ相當補助ヲシナケレバナリマセヌ、況ヤ作付段別ガ年々逐ッテ減ッテ居ルヤウナ狀態ニ鑑ミマシテモ、相當之ヲ保護スルコトハ極メテ必要カト考ヘマスノデ、一圓二十錢ニ引上ゲマシタ、

小豆、蠶豆、綠豆、豌豆モ、輸入額ニ現ハレテ居ル通り、相當ナル輸入ヲ見ルモノデアリマスガ、是等ハ各府縣到ル處ニ出來ルモノデアリマシテ、且ツ其種ヲ蒔キマシテモ、自然ノ中ニ豆ハ出來ルモノデアリマスカラ、關稅ニ對シテモ此程度ノ引上ヲシタナラバ、此輸入ニ對シテハ直ニ防遏モ出來、其内地ノ產額ヲ殖ヤスコトガ出來ルト考ヘマスノデ、是等ニ對シテ多少ノ稅盛リヲ致シマシタ、此稅盛リヲ改正致シマシタ觀念ハ、政府ガ恰モ小豆或ハ蠶豆、綠豆、豌豆、之ニ對シテ現行率ヲ御引上ゲニナッテ居リマス其御考ト、吾々ノ考トハ全然一致シテ居ル、唯稅率ヲ多少多クシタト云フニ止マルノデアリマスノデ、左様ニ御承知ヲ願ヒマス、次ニ「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」コンスタ「チ」デゴザイマスガ、「タビオカ」「セーゴ」ノ問題ハ若シ説明スルノガ何人ガ適當デアルカト言ヘバ、是ハ寧ろ私ヨリハ奧村君ニ願ッタ方ガ適當デアルカモ知レヌト考ヘテ居ルノデアリマス、私ガ諸君ノ御質問ナリ、或ハ澤山ニ參リマス書類等ニ依リ、或ハ政府ノ御説明ニ依テ伺ッテ見マス、此「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」ト云フモノヲ「甲、粉狀ノモノ」「乙、其ノ他」ト云フコトニ御區別ニナッテ居ル、此政府ノ御意思アル所ヲ伺ッテ見マス、甲、粉狀ノモノ「セーゴ」ト云フ「タビオカ」「マニオカ」ニ對シテハ、前ニハ一圓五錢デ「セーゴ」

ニ對シテハ二圓デアッタモノヲ、甲ヲ一圓ニシ、乙ヲ從價三割ノ高イモノニシタト云フコトハ、粉狀ハ工業用デ、其ノ他ハ粒狀デ來ル食料用ノモノデアルト云フ御説ガアリマシタ、段々ト内容ニ付テ調査ヲ致シ、實物ニ付テ試驗シテ見マス、今日這入ッテ參ル狀態ニ於テ、食料用ノミハ粒用デ參ルト云フコトハ事實ナイ、或ハ南洋爪哇等ノ實際ノモノナドヲ御覽ニナッタト云フヤウナ御説明モアリマシタガ、實際參ル所ノ現物ニ付テ見マス、全ク是ハ政府ノ此稅盛リヲ爲サツタ趣意ガ何等カノ錯覺デハナカッタカト考ヘルノデアリマス、奈何トナレバ現在「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」一方工業用其他西洋洗濯化粧品、ソレカラ小ナル紡績ニ使ッテ居ル糊或ハ寫眞ノ糊ト云フヤウナモノニ使ハレテ居ルト云フコトモ事實デアリマス、或ハ菓子粉トシテ食物ニ使ッテ居ルト云フヤウナコトモアリマスガ、實際ノ狀況ヲ見ルト、今日工業用ノ糊、綿織物ニ使フニハ「コーンスタチ」ニ限ルト云フコトデアリマス「コーンスタチ」ノ效力ハ普通ノ糊ト性質ヲ異ニシテ、非常ナ力ヲ持ッテ居ルノデ、今日ハ綿布ニ對スル糊ハ「コーンスタチ」ヲ第一トスルト云フコトデアリマスノデ「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」ノ工業用ニ使用スルト云フモノハ日々這ウテ少クナリ、今日ハ工業用ト申セバ、餡ノ原料ニ多ク使ッテ居ルト云フコトデア

リマス、故ニ寧ロ此「タビオカ」「マニオカ」「セトゴ」ト云フヤウナモノヲ、粉狀モ粒狀モナク之ヲ所謂食用ト判斷スルノガ極メテ必要ナノデアッテ、政府ノ御説明ト其點ガ相反シテ居ルコトヲ發見致シマシタ、故ニ此點ハ如何ニシテモ「タビオカ」「マニオカ」「セトゴ」ト云フモノノ稅率ヲ一齊ニスルナラバ、之ヲ二圓程度ニシテ置クト云フコトガ穩當デアラウト考ヘマシタ、ノミナラズ此稅ニ對シテ特ニ注意スベキコトハ、内地ノ方ノ側ニ於テ千葉縣、廣島縣、鹿兒島縣、四國路、其他所謂不毛ノ原野、砂ノミノ地ヲ持ッテ居ル所ヤ山ノ上ニ耕作地ヲ持ッテ居ルヤウナ所ニ於テハ、其他ノ農產物ヲ作ルコトガ出來マセヌノデ、皆薯ヲ作ッテ居ル、先年マデハ此薯ニ依テ甘薯澱粉ヲ造ッタガ、其甘薯澱粉ハ「タビオカ」「マニオカ」ノ方ガ一圓五十五錢ノ關稅デアッタ爲ニ、價格ヲ維持シテ居ッタ、所ガ先年之ヲ一圓五錢ニ下ゲタ爲ニ非常ニ困難ヲ感ジ、又之ガ一圓ニナルト云フコトナラバ、澱粉業者即チ薩摩薯ヲ栽培シテ居ル所ノ小農ハ倒レル外ハナイト云フコトデアアル、況薯澱粉ト全ク販路ヲ等シクスル所ノ「タビオカ」「マニオカ」「セイゴ」一圓トシテ置イテ、所謂第六ノ其ノ他ト云フモノノ中ニハ和蘭ノ所謂「ポテトスターチ」等ガ這入ッテ居ルノデアアル、此「ポテトスターチ」ニ對シテハ、北海道若クハ東北地方ニ

出來テ居ル所ノ彼ノ馬鈴薯澱粉ト全ク其販路ヲ等シウシテ居ルモノデアアル、ソレニ對シテ一圓六十五錢ヲ二圓ニシテ、此馬鈴薯澱粉ヲ保護シテ置キナガラ、甘薯澱粉ノ方ヲ一圓五十五錢若クハ二圓ノモノヲ之ヲ同一ニ一圓ニシテ、此甘薯澱粉ノ生産業者ヲ虐待スルト云フコトハ、洵ニ遺憾千萬デアリ、不公平ナ處置デアルト云フ陳情モ吾々ノ所ヘ參ッテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ陳情タルヤ洵ニ熱淚ヲ流シ、彼等ノ生活ノ基礎ヲ危ウスルモノデアルト云フコトヲ陳情致シテ居ル狀態ニ考ヘマシヲ、私共ハ此「タビオカ」「マニオカ」「セトゴ」ト第六ノ其他ノモノト同ジヤウニ二圓ニ稅率ヲ變ヘルト云フコトハ、極メテ適當ナモノト信ズルノデアリマス、更ニ「コンスターチ」ニ對シテハ、是ハ政府ノ御釋明ガアリマシテ、此處ニ表ヲ頂戴致シテ居リマスガ、此表ハ不幸ニシテ誤ッテ居ル「コンスターチ」ノ輸入品ノ八割五分ハ工業用ノ糊ニ使ハレテ、一割五分ハ食料ニ使ハレテ居ル、之ヲ若シ食料ニ使ハレテ居ルモノノ區分ヲ明瞭ニスルコトガ出來マシタナラバ、之ヲ明瞭ニ區分スルコトガ極メテ必要ダト思ヒマス、前ニ申上ゲタ通りニ一封度入ノ紙箱入ノモノヲ四十箇入レタ木箱ノモノガ食料ニナッテ居リマシガ、ソレガ菓子用蒲鉾用ニ使ハレテ居ル、ソレヲ一々區分スルコトハ事實極メテ困難デアリマスルガ、之ヲ區別シナカッ

タナラバ必ズヤ工業用ノモノガ食料用トシテドシ、這入ッテ來ルト思ヒマスカラ、寧ロ是ハ從來一圓六十五錢ノモノヲ二圓程度ニ引上ゲテ置クト云フコトハ、一面ニ於テハ工業用トシテ外國ニ輸出スル所ノ綿織物ニ使ッテ居ルノニ對シテ、高額ノ率ヲ課スルコトハ不穩當ナリトシテ之ヲ二圓ニ改正シタ所以デアリマス、ソレカラ問題ハ牛肉ノ問題ニ移ルノデアリマスガ、牛肉ハ先頃岩切君ノ御説明ニモアリマシタ如ク、近時多額ノ輸入ヲ見テ居ルノデアリマス、八百萬圓近クノ金ヲ此牛肉ノ輸入ニ對シテ使ハレテ居ルノデアリマシガ、是ハ國民保健ノ上カラ極メテ大切ナコトデアルト云フコトヲ考ヘ吾々ハ持ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ牛肉其物ハ常ニ榮養價值ガアルノデナクテ、斯様な物ノ精選ナモノ、即チ新鮮ナモノコソ榮養價值ガアリマスケレドモ、古イ物ハ榮養價值ガナイ、却ッテ害ガアルト云フコトハ鳥卵ソレト同一デアリマス、動モスレバ輸入ノ牛肉ニ對シテハ腐敗ニ傾キ易イ爲ニ、ドウモ榮養價值ノ少イモノガアルノデアリマスカラ、相成ベクハ國民保健ノ上カラシテ内地生牛ニ保護ヲ與ヘテ、此外國カラ輸入シテ參ルモノニ對シテハ相當ニ之ヲ妨グト云フコトガ必要デアルト云フコトヲ國民保健ノ上カラモ考ヘルノデアリマス、又一面先頃米小麥ノ關稅引上ニ對シテ申上ゲマシタ通り、農村

ノ米麥ノ生産費ノ中デ一番多額ノ部分ヲ占メテ居ルモノハ勞賃デアリマス、其勞賃ヲ何トカシテ減少セシムルト云フコトガ唯一ノ生産費ヲ減少セシムル所ノ方法デアルト考ヘマス、是ハ農林省モ無論サウ御考ニナッテ居リマスノデ、ソレニ付テハ人間ノ勞力ヲ成ベク能率ヲ増進スルコトニスル、即チ餘剩ノ勞力ヲ有効ニ、能率ヲ擧ゲサスト云フコトノ爲ニ、副業ノ獎勵ヲスルコトニシナケレバナラヌノデアリマスガ、半面ニ化學ノ應用電氣ノ應用等ニ依テ人力ヲ減少スルコトガ必要デアルガ、一番先ニ着手セネバナラヌ必要ニ迫ッテ居ルモノハ畜牛ノ獎勵デアリマス、畜牛ヲ獎勵シテ之ヲ役牛トシテ耕作ニ使フ、耕作ニ使フ牛ノ力ハ、人ノ三人ノ力ヲ牛一匹ニ依テ曳クノデアリマスカラ、耕作ノ場合ニ此牛ヲ使フト云フコトト、人ノ力ヲ使フト云フコトトハ非常ニ差ガアリマスカラ、ドウシテモ是ハ畜牛ト云フコトヲ獎勵シテ、所謂人間ノ勞力ヲ減少スル方法ヲ講ズル必要ガアル、況ヤ畜牛ナルモノノ副產物トシテ此堆肥厩肥ガアル、厩ノ肥デアリマス、化學的ノ肥料デハドウシテモ土地ノ地力ヲ増サナイ、土地ガ瘦セニ瘦セテ瘦セ衰ヘテ居ル所ヘ、其當座ダケノ榮養トシテ所謂化學肥料ヲ與ヘレバ、米ハ相當ニ出來マスケレドモ、土地ハ相變ラズ瘦セ衰ヘテ、骨ト皮トデアルト云フノデ、農村ノ者ハ安心スルコトガ出來ナ

イノデアリマスカラ、何トカシテ農村ノ此土地ノ地力ヲ増サナケレバナラヌ、地力ヲ増スニハ昔カラヤッテ居ル厩ノ肥料ヲ與ヘルコトガ極メテ必要デア、其爲ニハドウシテモ畜牛ト云フコトヲ獎勵シナケレバナテヌデアリマス、畜牛獎勵ハ幸ニシテ農林省ノ諸公ノ御盡力又各方面ニ於ケル農林課ノ官吏諸公ノ力ヤ農會ナドノ力ニ依テ、近時非常ナ勢ヒヲ以テ畜牛ノ獎勵ガ實際ニ現レテ參ッテ居ルコトハ洵ニ御同慶ノ至リニ堪ヘナイデアリマスケレドモ、其點ハ算盤ヲ彈クト云フコトハ殆ド忘レテ居ルモノハナイ、ソレハ何ダト云フト、役牛トシテ働カセテ居ル間ハ何デモナイガ、ソレガ老牛トナッテ七歳八歳トナレバ、廢牛トシテ食牛——肉ニスル肉牛ノ方ヘ廻サナケレバナラヌコトニナルデアリマス、此場合ニ此農村ノ役牛デアッタ廢牛ハ二東三文デアルト云フコトニナルト、ドウシテモ算盤ハ出合ハナイ、ソコデ廢牛トナリマシテカラ約三箇月乃至四箇月ノ間ハ肥肉ヲヤル、肉ヲ肥サセルデアリマス、サウシテ相當ニ肉付ケタリ、肉ヲ柔カクスルコトニ力ヲ盡シテ、ソレガ相當ノ代價ニ賣レルヤウニ努メナケレバナラヌト云フコトハ明瞭ナ事實デアリマ、ス之ニ對シマシテ無論農林省ノ諸種ノ機關ヲ通ジテ、此肉牛ノ販賣若クハ肉ノ販賣等ニ對シテハ本年ノ豫算ヲ以テ御盡力下サルコトハ洵ニ結構ナコトデ

アリマスガ、此内地ノ生牛ノ市價ヲ維持ニル方法ハ、ドウシテモ外カラ這入ッテ來ル所ノ牛肉ノ壓迫ヲ防グト云フコトガ當然ノ問題デアルト思フ、外カラ來ルモノノ壓迫ヲ防グト云フコトヲ口癖ニノヤウニ言フコトハ寔ニ聞エガ惡イ、是ハ私バカリガ左様ニ申スノデハアリマセヌ、現ニ私ハ省略致シマシタガ、鳥卵ノ六年計畫ノ農林省カラ御配付ニナッタ案ノ大原則ノ一事項トシテ、關稅ヲ相當ニ引上ゲテ、外卵ノ壓迫ヲ防グト、チャント原則ガアリ、何デモ自給自足ヲ圖ラウト云フナラバ、相當ニ關稅ヲ引上ゲテ、外カラ來ル壓迫ヲ防グト云フ原則デ行ク、農林省ガ其言葉ガ厭ヤデ避ケヤウト致シテモ、此原則ニハ抵抗スルコトハ出來ナイ、即チ六年計畫ノ鳥卵ノ中ニ御書キニナッタ事柄ヲ私ハ總テノ場合ニ適用スル方ガ可ナラント思フト云フコトヲ御承知ヲ願ッテ置キタイ、斯様ニ致シマシテ、私共ハ此牛肉ヲ寧ロ現在ノ三四八十錢ノモノヲ二圓ニ値下ラシヤウト云フ御目論見デゴザイマスガ、之ヲ五圓ニ引上ゲタイト云フ一部ノ要求モアリマスガ、私ハ是ハ寧ロ現狀ノ三圓八十錢ニ致シテ置クト云フコトガ極メテ適當ナル稅率ト考ヘマシテ之ヲ修正致シマシタ、ソレカラ豚肉ニ對シテモ豚肉ノ滋養分ハ私ガ申ス迄モナク實際アル、豚肉ハ此牛肉ト大分趣ヲ異ニシテ居リマシテ、此飼育ニ對シマシテモ農家ノ所謂殘菜食

物ノ殘リト云フヤウナモノデ養フコトガ出來ルデアリマシテ、是ハ農家ノ副業トシテモ必ズ獎勵シナケレバナラヌコトデアルト信ジテ居ルデアリマス、此故ニ豚肉ニ對シテモ成ベク農家ノ副業トシテ之ヲ獎勵シタイト云フ考カラ、如何ニ致シマシテモ今日ノ儘デハ豚肉ノ買入ガ少イ爲ニ、農村ハ此問題ヲ餘リニ喜バズニ居ルト云フコトハ、畢竟豚ノ値段ガ安クッテ、内地ノ人モ之ヲ餘リ食ベナイト云フ、此二ツニ依リマシテ斯ウ云フ結果ヲ生ジテ居ルノデゴザイマスカラ、何トシテモ是ハ關稅ノ力ニ依テ相當外カラ來ル所ノ豚肉ノ壓迫ヲ防イデ、内地ニ於テ此副業ヲ獎勵スルコトガ極メテ必要ナルコトデアルト考ヘタデアリマス、故ニ此稅率モ矢張從來ノ如クニ之ヲ從價三割ニシテ置クコトガ適當デアルト考ヘタデアリマス、ソレカラ鯨肉ニ付テハ是ハ今日マデ捕鯨業者ガ非常ナ努力ノ下ニ内地ニ於テ鯨肉ノ赤肉ヲ食用ニスルコトノ宣傳ヲ致シテ參ッテ、漸ク日本内地ニ於テ此鯨肉ノ赤肉ヲ食料ニスルト云フ氣分ニナッテ來テ居ルト云フコトデアリマス、然ルニ一タビ此鯨肉ニ對シテ稅ガ輕クナルト云フコトデアレバ、外國ニ於テハ肥料ニノミ使ッテ居ル所ノ鯨肉ノ赤肉ガ相當ノ方法ヲ以テ日本内地ニ輸入セラレテ、内地ノ捕鯨業者ヲ非常ニ苦シメルコトニナリ、折角維持シテ居ル所ノ捕鯨業者ガ之ガ爲ニ倒

レヌケレバナラヌヤウナ狀態ニナルト云フ、熱心ナル陳情等ガアリマスルノデ是等ニ對シテモ相當ノ保護ヲスル必要ガアリマセウケレドモ、差當リ現在ノ通りニ之ヲ從價三割ガ適當ナリト考ヘマシテ、之ヲ修正致シタ次第デアリマス、「コンデンスミルク」ハ御承知ノ通りニ農家ノ畜牛ニ伴フ所ノ或ハ乳牛ノ飼育ニ伴フ所ノ牛酪事業ノ保護、「コンデンスミルク」ハ如何ニカシテ外國品ヲ防ガナケレバナラヌト云フ狀態ニ在ルコトハ、政府ノ御説明ノ通りデアリマス、況ヤ「コンデンスミルク」ノ榮養價值モ、其新鮮ナルモノハ所謂榮養價值ガアルデアリマシテ、古いモノハ榮養ノ價值ガナイ、不幸ニシテ我國民ハ舶來品ト云フ名ノ下ニ、外來ノモノヲ喜ブ習慣ガアル爲ニ、「コンデンスミルク」ノ舶來品ヲ喜ブ者ガ多イ、是ハ内地ノ生産品ノ方ガ實際ノ榮養價值ガ多イデアアル、ソレハモウ事實デアル故ニ何トカシテ「コンデンスミルク」ノ外來ヲ防グ必要ガアル、内地ノ生産ヲ以テ自給自足シテ、全ク斯様な品物ノ輸入ト云フコトヲ防グノガ當然ト考ヘマスルカラ、百斤五圓五十五錢ヲ十三圓四十錢ノ高率ニ御上ゲニナッタト云フコトハ其意味ニ外ナラヌト思フシ、其他ノ意見ヲ參酌シテ從價三割ヲ課スルノガ當然トシテ此稅目ヲ改正シタノデアリマス、尙「コンデンスミルク」ノ乾キタルモノニ對シテハ、從價三割五

分ヲ課シマシタ、是モ同一ノ理由デゴ
ザイマス、即チ液體ガ三割、乾キタルモ
ノガ三割五分ト御承知ヲ願ヒマス、鳥
卵ハ説明ヲ省キマス、是デ食料品ニハ
ナクナリマシタガ、一番終リニ六百十
二材木ニ對シテチヨット説明ヲ補足致
シテ置キマス、此材木ニ付キマシテハ
所謂内地ノ山林ヲ保護スルト云フ考カ
ラ、今日ノ米國材ノ輸入ニ對シテ相當
ナル手段ヲ講ズルト云フコトハ、極メ
テ必要ナルコトデアルト云フ見地カ
ラ、政府モ内地ニ於テ生産シ得ル製材
シ得ル所ノ其品物ニ對シテ、對抗スル
モノニ對シテハ相當ノ稅目ヲ置カレマ
シテ、所謂内地ノ山林政策ヲ示サレタ
コトハ是ハ寔ニ結構ナコトデアリマシ
テ、吾々ハ尙ホソレニ附隨シテモウ一
歩進ンデ、木材ノ中ノ「チーキ」ノ如キ
ハ是ハ奢侈品ニ屬スルモノデアルト云
フ考カラ、政府ノ無稅說ヲ一割ニ改正
シ、「マホガニー」モ亦奢侈品ト云フ考
カラ矢張改正率ハ五分トアルノヲ二割
ニ致シマシタ、更ニ「フアーバイン」ス
イルス」之ニ對スル所謂二十四尺モノ、
四間モノデ八寸角ヲ超エザルモノデア
リマスカラ、四間モノデ八寸角以內ト
云ヘバ内地ノ松、杉等ニ於テ優ニ之ヲ
採ルコトガ出來ルト考ヘマシタ、内地
ノ木材ヲ保護スルト云フ意味カラ斯ル
稅盛リニ改正致シマシテ、之ニ對シテ
ハ無稅ノ原案ヲ一割ニ改正致シマシ
タ、尙ホ「レッドシダー」ハ日本ノ杉ニ類

似ノモノデアリマスガ、之ニ對シテモ一割
五分ノ稅盛リニ改正シ、「ホワイ」トシダ
ー」ハ日本ノ檜ニ類似ノモノデアリマ
スガ、是ハ二割、ソレカラ「ヘムロック」
ハ日本ノ樺ニ類似ノモノデアリマス
ガ、之ニ對シテモ無稅ノ原案ヲ一割五
分ノ稅盛リニ致シマシタ、畢竟此改正
ハ日本ノ山林ヲ保護スルト云フ考ト同
時ニ、民有林ガ近時伐採ノ跡ハ植林ヲ
スルコトヲ怠ッテ居ルト云フコトヲ考
ヘ、何トシテモ日本ノ木材ヲ維持シテ、
大ニ民有林ノ植林ヲ滑ラカニスルニ
ハ政府ノ獎勵ト相俟ッテ植林ヲシテ、次
ニ來ルベキ所謂經濟ニ備ヘサセルト云
フヤウナ公私兩様ノ考カラ、此稅盛リ
ニシテ、關稅ノ値上ニ依テ内地ノ木材
ヲ維持シヤウ、改良ヲシヤウト云フ考
カラ此關稅ヲ改正シタ次第デアリマ
ス、之ヲ以テ吾々ノ修正案ノ説明ノ極
ク大體ヲ申上ゲマシタニ過ギマセス、
尙ホ御質問ガアリマスレバ、何ナリト
モ御答致シマス

○山本委員 先刻吉津君カラ御提出ニ
ナリマシタ修正案ノ中デ、二三ノモノ
ハ私ガ調査ヲ擔當致シマシタノデ、修
正ノ理由ヲ説明ヲ致シタイト思ヒマ
ス、四百六十二ノ鐵、「甲、銑鐵」百斤十
錢「トアルヲ「四十二錢」ニ改正セムト
スルノガ私共ノ修正ノ數字デアリマ
ス、銑鐵ノ關稅ヲ決定スルニ當ッテ、最

モ重要ナル所ノ我國ノ製鐵ハ、國策ノ
根本デアリマシテ、我國ニ於テ生産ス
ル銑鐵ガ他ノ國ノ生産スル銑鐵ニ比較
シテ、價格ニ於テ斯ウ云フ差ガアル、其
彼我ノ生産費ノ相違シタルモノダケヲ
關稅ニ依テ保護サレネバナラヌト云フ
コトガ、此關稅改正ニ當ッテハ根本ノ問
題デアルト思ヒマス、今日迄委員會ニ
於テ政府ノ御答辯ヲ承ツタ所ニ依リマ
スト、印度ノ銑鐵ト日本ニ於ケル銑鐵
トノ生産費ノ差ハ之ヲ認メル、故ニ此
差ニ對シテハ關稅ヲ以テ保護スル方針
デアッタカノヤウニ——御確言ハナイ
ノデアリマスケレドモ、大體ニ於テ其
趣旨デアッタノデアアル、又ソレヲ關稅ニ
依ラズシテ他ノ方法、即チ製鐵獎勵法
ニ依テ製鐵ヲ保護スルト云フト、印度
ニ於ケル他ノ日本ノ貿易ニ關係スルト
云フ意味ノ御話モ承ツタノデアリマス、
ソコデ先ヅ第一ニ銑鐵ニ對スル彼我ノ
生産費ノ比較ヲ吾々ハ計算ヲ致シタノ
デアリマス、今日印度カラ輸入サレテ
居リマス銑鐵ノ値段ハ、吾々ノ計算ニ
依リマス「カルカッタ」ノ船乘値段三
十九留比、運賃、諸掛ノ十留比ヲ加ヘ
テ、合計四十九留比ガ一噸ニ對スル日
本ノ沖着値段ニ相成ッテ居ルノデアリ
マス、之ヲ昨今ノ爲替相場ノ百二十三
留比ニ對シテ換算致シマス、日本ノ
沖着値段ハ三十九圓八十三錢ト云フ數
字ニナルノデアリマス、之ニ吾々ガ提

出致シタル、百斤ニ付四十二錢ト云フ
關稅ヲ加ヘ、尙ホ諸掛等ヲ加ヘマスル
トキハ約五十圓ト云フ相場ニ相成ルノ
デアリマス、即チ其五十圓ガ市中ノ販
賣相場ニ相成ッテ居ルノデアリマス、此
五十圓ニ對シテ日本デ生産スル銑鐵ガ
競争シテ、生産ノ維持ヲ爲シ得ルヤ否
ヤト云フコトガ問題デアアルノデアリマ
ス、吾々ハ只今申上ゲタル所ノ關稅政
策デ出ヤウカ、若クハ保護政策デ出ヤ
ウカト云フコトハ暫ク別ト致シテ、現
在ノ狀況ニ於テハ銑鐵ヲ保護シナケレ
バナラヌト云フ考デ、此修正ヲ加ヘタ
ノデアリマス、銑鐵ノ値段ニ付テハ色
色承リマシタガ、私ハ明細ニ調べテ見
マシタガ、大正十三年一月カラ大正十
五年二月ニ至ル毎月ノ平均値段、横濱
沖着ノ留比、及爲替相場、輸入稅、其他
諸掛等ヲ見マシテ、大正十三年ノ一月
乃至本年ノ二月ニ至ル印度ノ銑鐵ノ趨
勢ヲ見マスルト、最高五十七圓三十八
錢ヨリ漸次ニ下落シテ、本年ノ二月ニ
ハ、ソレガ四十一圓二十二錢、此四十一
圓二十二錢ヲ以テシテモ、尙且ツ今日
ノ爲替相場ガ若シ平價ニ復スルト致シ
タナラバ、是ガ更ニ三十六圓七十錢ト
云フ値段ニナルノデアリマス、斯様ナ
次第デ、印度ノ銑鐵ノ競争ハ決シテ「ダ
ンピング」ト云フ意味ダケデモナイ、既
ニ二箇年以上モ此市價ガ繼續シテ居ル
値段デアリマスガ故ニ、ドウシテモ之
ニ對スルダケノ保護ヲ加ヘナケレバナ

ラスト云フ必要ヲ認メルノデアリマス、政府ハ先達商工大臣カラ御示ニナリマシタ獎勵案ニ依テ、銑鐵ニ關聯シタル鋼鐵ノ生産ニ對シテモ御考案ガアルヤウデアリマスガ、日本ノ産業ノ中ニハ他ニ重要産業ハ幾ラモアルノデアリマス、單リ銑鐵若クハ鋼鐵ノミガ重要ナ産業デハナイ、政府ガ若シ産業保護ノ方針ヲ全ク保護政策ニ依テヤル、關稅政策ヲ離レテ、或特殊ノモノニダケ保護政策ニ依テ之ヲ保護獎勵ナサルト云フナラバ、製鐵ダケガ必シモ保護ヲ要スル重要産業ノ唯一ノモノデナイト云フコトヲ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、若シ政府ガ過日御示シニナリマシタヤウナ案ニ依テ爲サル場合ニ、他ノ之ニ匹敵スル重要産業ハ多々アルノデアリマス、例ヘバ食糧自給ノ問題ニ關聯シテ、化學肥料ノ獎勵ノ如キモノモアリマセウ、或ハ他ノ産業等數ヘ來レバ一トシテ國家經濟ノ上カラ見テ必要デナイモノハナイノデアリマス、獨リ銑鐵ノミニ限ッテ保護ヲ與ヘル、保護ノ方法ニ依テ特別ナ獎勵法ヲ講ズルト云フコトハ不徹底ナノデアル、洵ニ姑息ナ案デアルト云フヤウニ吾々ハ考ヘルノデアリマス、印度ノ事情ハ吾々モ大體承ッテ承知シテ居リマスガ、日本ガ關稅ヲ離レテ銑鐵及ビ鋼鐵ノ生産ニ對シテ保護ヲ與ヘルト云フコトハ、殆ド公然ノ事柄デアリマシテ、關稅ノ代リニ保護ヲ與ヘルト云フコトハ何人モ承知シテ

居ル、印度ハ固ヨリ英吉利ニ於テモハッキリ分ッテ居ル、吾々ガ知ッテ居ルダケノコトハ、向フノ政府モ當業者モ知ッテ居ルノデアリマスカラ、先ニ御話ノ如ク此處デ印度ノ銑鐵ニ對シテ關稅ヲ引上グルコトハ、日本ノ輸出シテ居ル所ノ綿布ノ貿易ニ對シテ妨ゲニナル、報復的ノ行動ヲ促スヤウナコトニナリハセヌカト云フ事ハ、少シモ徹底シテ居ナイ、關稅ノ代リニ國內ニ於テ保護ヲスル、是ハ隱シテモ隱シ通セルモノデナイ、サウ云フ時代デアアルノミナラズ、日本ガ輸出シテ居ル一億圓ノ印度ニ對スル綿布ノ點カラ考ヘテモ、印度ノ綿布ノ消費高ハ吾々ノ承知スル所デハ約十億圓ニ達シテ居ル、此中デ日本ノ綿絲ガ一億圓行ッテ居ルカラト云フテ、之ガ爲ニ報復的ニ綿布ニ對スル關稅ヲ上グルト云フコトハ、蓋シ有リ得マイト想像スルノデアリマス、又假ニサウ云フコトガアルニシテモ、今日關稅戰云フモノハ、世界中盛シニ行ハレテ居ルコトデアアル、姑息ナ驅引或ハ加減ヲ許ス場合デナクシテ、列國ノ間ノ經濟戰ハ最モ激烈ヲ極メツアルノデアリマス、此銑鐵ニ對シ日本ガ其輸入稅ヲ減ズルコトニ依テ、將來我ガ綿布ノ印度ニ於ケル輸入稅ガ減ゼラレヤウトハ、何人モ信ジナイコトデアラウト考ヘルノデアリマス、此理由ニ依リマシテ、銑鐵ニ對スル輸入稅ハ前申上グル如ク、一噸ニ對シ約七圓ト云フ關稅ヲ立テ、保護法ニ依ラズシテ一般的ニ關稅ノ政策、一般的製鐵ト云フモノハ日本ノ國策トシテドウシテモ樹立セネバナラヌ、鐵ノ産業ト云フモノハドウシテモ増大ヲ圖ラナケレバナラスト云フ一貫シタ主義ノ下ニ於テ、關稅政策ニ依テ之ヲ保護スルト云フコトガ當然ナリト考ヘマシテ、其修正ヲ致シタ次第デアリマス、尙ホ鋼鐵ニ對シテハ各項目ニ互テ修正ヲ致シタノデアリマス、此項目ノ一々ニ付テ申上グル煩ヲ省キマシテ、乙ノ第二ノ條及ビ竿ト云フモノヲ標準商品ト致シマシテ、此點ニ付テ專ラ修正ノ理由ヲ述ベマシテ、他ノ各品ニ互テハ其此例ヲ以テ各加減ヲ加ヘタト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、但シ其中ニ日本ニ於ケル工業ガ未ダ是等ノ品物ヲ製造スルコトガ不可能ナルコト、獎勵ヲシテモ比較的效果ヲ舉ゲルコトガ少イト云フモノニ對シマシテハ、政府ノ御提案ノ通りヲ全部認メマシテ、獎勵ニ依テ發達スベキモノニ對シテハ、一々修正ヲ加ヘタノデアリマス、而シテ其修正ヲ加ヘマシタル場合ハ、所謂基本ノ商品ト成ルベキ第二ノ條及ビ竿ヲ基礎トシテ修正ヲ加ヘタノデアリマス、而シテ如何ナル率ニ依テ改正ヲ致スベキカト云フコトハ、其根本ト致シマシテハ、矢張外國カラ輸入スル鐵類及ビ内地デ製造スル所ノ同一ナル品物ノ生産費ノ對照ト、其差額ニ基礎ガアルノデアリマス、

過日商工大臣ハ歐羅巴大陸カラ輸入セラルル鐵ガ、近來運賃ノ暴落ト相俟テ非常ナ低落ヲ示シテ居ル、特殊ノ理由ニ依テ低落シテ居ルカノ如キ意味ノ御說明ガアリマシテ、ソレニ對シテハ不當廉賣法ヲ以テスルノモ一種ノ方法アッテ、之ニ對シテ考慮ヲ拂ハレテ居ルト云フ意味ノ御話ガアッタノデアリマス、私共モ歐羅巴大陸カラ輸入スル鐵類ガ、近來非常ナル値段ニ下リ、是ガ若シ一時的ノ價格ノ變動デアリ、一時的ニ餘ツタル所ノ品物ヲ「ダンピング」シテ居ルト云フ事實デアアルナラバ、御話ニナツタヤウナ事柄ガ最モ當倣タル解釋ト考ヘタノデアリマス、然ルニ實際ノ狀況ニ付キマシテ見ルニ、銑鐵同様大正十三年一月カラ本年二月ニ至ルマデノ毎月ノ沖着値段、即チ向フノ金貨ニ直シマシタル相場ニ付テ、又其時ノ爲替相場ニ換算シテ見マスト云フト、是ハ一時的ノ値段デナイト云フコトガハッキリ致シテ居ルノデアリマス、即チ大正十三年二月ニ於テハ、爲替相場ガマダ平價デアリマシタ時分ニ、二箇年以前ニ於テ橫濱、東京河岸着ノ値段ニ換算致シマシテ八十八圓七十三錢、爾來最高値段ガ百十三圓、而シテ昨年十二月ニハ是ガ九十二圓二十九錢ト云フヤウナ値段デ漸次ニ低落致シテ、偶其間ニ値段ノ高クナッタコトハアリマスケレドモ、是ハ全ク爲替相場ノ變動ニ依タモノデアリマシテ、他ノ國ノ

原價ニ對シテハ殆ンド何等變動ハナイ
ノデアリマス、即チ二箇年以前ヨリシ
テ、東洋ノ市場ニ於ケル所ノ供給狀態ハ
一大革命ヲ來シマシテ、會テハ一部分
ヲ亞米利加カラ輸入シ、若クハ輸入セ
ントシタル鐵ノ供給關係ハ、一變シテ
歐洲大陸カラ殆ド其全部ヲ輸入スル狀
況ニナリマシタノト同時ニ、歐洲大
陸ニ於ケル製鐵業ノ動キガ世界的ナ
ル變化ヲ示シテ、殆ドソレガ基礎ニ
ナッテ今動イテ居ルカノ如キ狀勢ニ在
ルノデアリマス、斯様ナ鐵ノ市場ノ
一大革命的變化デアリマシテ、而モ其
原因ハ私ガ過日此席デ申上ゲマシタ通
リ、獨逸カラ賠償トシテ受取タル石炭
ノ處分ニ關シテ、之ヲ非常ニ驚クベキ
安イ値段デ製鐵會社デ拂下ゲテ居ル、
若クハ佛蘭西ニ於ケル「スナイダー」ノ
製鋼場ノ如キハ、全部支那人ノ職工ヲ
使ッテ新タニ仕事ヲ始メテ居ルト云フ
ヤウナ、各種ノ根本事情ニ依テ、鐵ノ事
業ガ歐洲大陸ニ移ッテ居ルヤウニ察セ
ラレルノデアリマス、私ハ先達鐵山局
長ニ材料ヲ得ル爲メニ御目ニ掛カッテ、
御指導ヲ受ケタノデアリマスガ、今日
ノ歐洲大陸ノ丸及角、條及竿ノ値段ヲ
標準トシテ、此値段ヲ日本ノ沖着六磅
十八志ヲ基礎トシテ、爲替相場場ヲ一志
十片十六分十一ノ爲替ニ換算シテ、日
本ノ沖着値段ハ七十二圓九十九錢ニ過
ギナイノデアリマス、若シ此爲替相場
ガ平生ノ二志内外ノ相場ニ下ルト致シ

マスレバ、其値段ハ六十六七圓ニシカ
過ギヌ、此六十六七圓ノ日本ノ沖着値
段ニ對シテ、製鋼業ガドウシテ競争ス
ルコトガ出來ルデアリマセウカ、之ガ
即チ今同議セラレテ居ル關稅改正ノ基
礎標準ヲ爲スベキモノト考ヘルノデア
リマス、之ニ對シテ商工省デ御調ベニ
ナリマシタル參考資料ヲ私共戴イテ居
リマスガ、此參考資料ニモ大陸ノ狀況
ニ付テ述ベラレテ居リマスガ、而シテ
其結論トシテ政府ノ謂フ所ハ八十圓内
外——歐羅巴大陸カラ輸入スル鐵ハ八
十圓内外、之ニ陸揚諸掛リ八圓、改正關
稅約十八圓ヲ加ヘルト、歐羅巴ノ物ハ
日本ノ市中賣ノ百六圓ニ當ルノデア
ル、之ニ對照シテ本邦ノ製鐵所デハ九
十五圓内外ノ製産費デアルカラ、此關
稅率ニ依テ約十圓以上ノ利益ガアルカ
ラ、此率ヲ以テスルト大體一噸ニ付テ
十八圓ノ關稅ノ改正ヲ行ヘバ、日本ノ
製鋼業ガ完全ニ保護サレルト云フ御意
見ガ示サレテ居リマス、然ルニ此參考
書類トシテ戴キマシタル八十圓内外ト
云フ標準、之ハ先刻モ申上ゲマスル通
リ、二志ト云フ相場ニ下ッタトキニハ、
之ハ六十六七圓ニ下ルノデアリマス、
政府デ八十圓ヲ基礎トシタモノガ、六十
六七圓ニ下ル、更ニ陸揚諸掛リ約八圓
ト云フコトノ定メデアリアスガ、ソレ
モ承リマシタガ、政府ハ何年ノ平均ノ
掛リヲ標準ニ御取リニナッタノカ知リ
マセヌガ、即チ横濱カラ東京ニ持ッテ

來ル浮船賃ニ對シテ、大正十三年ノ一
月ニ三圓十錢、之ガ一圓十錢ニ下ッテ居
ル、僅カ此間ニ於テ浮船賃ノミニ付テ
モ、此諸掛リニ二圓ノ差ガアル、其他ノ
諸掛リヲ加ヘルト吾々ノ計算ハ、政府
ノ標準トシタル一噸八圓ガ四圓内外ニ過
ギナイコトニナル、八十圓ノモノニ對
シテ、諸掛リガ政府ノ見込ヨリ四圓違フ
トスレバ、既ニ五分違フ、此五分ハ關稅
ヲ起算スル上ニ的確ニ現ハレナケレバ
ナラヌ數字デアッテ、是ハ動スベカラザ
ル數字デアル、ソレデアリマスルガ故
ニ、此鋼鐵ニ對スル輸入稅ノ基礎數字
ハ、政府デ御計算ニナリマシタノト、今
日常業者ガ計算シテ居リ數字トハ、數
字ノ上ニ大ナル差ガアリマス、製鐵其
モノニ對シテハ見ヤウガソレゾレアリ
マセウ、鑛石ノ値段モ時々動キマセウ、
又石炭ノ値段モ時々動キマセウガ、此
諸掛リハ私ガ改メ申スマデモナイコト
デアリマスガ、地震前後ニ於テ浮船賃
ノ如キ若クハ人足賃ノ如キモノガ、著
シク變化致シテ居リマス、若シ政府ノ
此基礎計算トシテ御示シニナリマシタ
ル諸掛リノ八圓ト云フモノガ、平時ノ
昨今ノ所ニ復シテ、之ガ四圓デアルト、
根本ニ於テ先ヅ沖着ノ値段ニ對シテ五
分ノ差ガ起ルノデアリマス、是ハ生産
費若クハ爲替相場ノ高下ニ何等關係ハ
ナイ、其基礎ニ於テ既ニ五分ノ差ガア
ルノデアリマス、其上ニ今日現ニ日本
ニ輸入セラレル値段ハ、先刻申上ゲマ

シタ通り六磅十八志内外デ、是ハ二三
箇月間ハ動カヌ相場デアリマス、商工
省デ御調ベニナッタノモ左様ニ御認ニ
ナッテ居ル、ソコデ此數字カラ見マス
ト、如何ニシテモ只今ノ一噸ニ付テ十
八圓ト云フ保護デハ、日本ノ製鋼業ハ
完全ニ重要ナル産業トシテ成功スルト
云フ意味ニ於テ大ニ不足ヲ感ジテ居リ
マス、其不足ヲ感ジテ居ル原因ハ、政府
ノ基礎トシテ計算シタル所ト吾々ノ見
タ所トハ違フ、諸掛リナドガ主ナル原
因ヲ爲シテ居ルノデアリマス、之ニ對
シテ政府ノ百圓ニ付テ一圓十錢ト云フ
提案ヲ、一圓五十錢ニスルト云フ此意
味ニ於テ修正ヲ致スモノデアリマス、
鐵ノ政策ノコトハ改メテ申上ゲルマデ
モナク、先達戴キマシタル政府ノ參考
書類ニ徵シテ見マシテモ、鋼鐵ニ對シ
テ米國ハ千八百七十六年カラ千八百八
十四年迄ハ七割五分ノ輸入稅ヲ掛ケテ
居ル、其後二十年間引續イテ二割乃至
四割五分ノ輸入稅ヲ課シテ居ル、英國
ニ於テハ鐵ノ事業ハ幼稚ナル時代ニ、
其生産ノ増大ヲ獎勵スル爲ニ、千八百
二十三年前ニ於テハ全ク外國カラ鐵ノ
輸入ヲ禁止シテ居ル程絶體的必要ト
シテ居ッタ、亞米利加ハ殆ド禁止稅ニ
等シキ七割五分ノ稅金ヲ課シテ、而
シテ自國ノ製鐵業ノ發展ニ努メタコ
トハ、是ハ歴史ニ明カデアリマス、
英國ハ新製法ノ發明ノアル前後マデ
ハ、即チ千八百二十三年以前ニハ、

全ク鐵ヲ外國カラ輸入スルコトヲ禁止シテ居タリ、製鐵ニ對シテハ國ヲ舉ゲテ此生産ノ獎勵致シタコトガアル、是ハ殆ド列強ノ間ニ於ケル周知ノ事實デアリ、ノデアリマス、此意味ニ於テ折角製鋼事業ヲ政府ガ國策或ハ國策ノ一トシテ認メラレタル此製鐵業ヲ獎勵スル爲ニ、關稅ノ改正ヲ行ハレルト云フコトデアリマスナラバ、此銑鐵又ハ鋼鐵ニ對シテ、完全ニ確實ニ他ノ國ト競争シテ、其生産ガ増大スルコトノ適當ナル稅率ノ下ニ、御計算ヲ行ハレルコトノ必要ヲ吾々ハ認メルノデアリマス、殊ニ先刻モ申上グル通り、總テ是等ハ國ノ根本——國策ノ一デアリマス、其故ニ姑息ナル——姑息ト申シテハ語弊ガアリマスガ、一貫シタル政策、國策ノ下ニ鐵ヲ保護スル、明確ニ世界ニ之ヲ聲明スルコトハ、何レノ國ノ歴史ヲ見テモ、鐵ノ保護ニ對シテハ現ニ問題ニナツテ居ル印度ノ如キデアツテモ、銑鐵ニ對シテハ一割ノ稅ヲ取ツテ居ル、前ニ申上ゲマシタルハ鋼鐵ノコトデアリマスケレドモ、例ヘバ銑鐵ノコトニ致シテモ、米國ハアレダケノ大製鐵國デアリナガラ、今尙一圓五十錢ノ輸入稅ヲ課シテ居ルト云フ狀況デアリマスカラ、是ハ私ガ改メテ申スマデモナク、國トシテドウシテモソレガ必要デアル、アル以上ハ姑息ナル案ヲ離レテ、正々堂々ト國策デアルト云フコトヲ天下ニ揚言シテ關稅政策ノ爲ニ一貫シテ之ヲ御通シ

ニナルガ當然ノ事デアラウト信ズルノデアリマス、殊ニ政府カラ得マシタル材料ニ依ルト、我國ノ鐵ノ需要ハ、大正二十四年ニ至ッテ銑鐵ニ概算シテ殆ド四百萬噸ヲ要スル、四百萬噸ノ鐵ト鐵材及鋼鐵ハ約五億圓ニ近イモノデハナアカト思ヒマス、五億圓ノ鐵ヲ日本デ造ルニ、先ヅ四百萬噸ノ銑鐵、一噸ノ銑鐵ニ對シテ鐵材二噸ト計算シテモ八百萬噸、一噸十圓ニシテモ八千萬圓ノ金高ニ過ギヌ、僅ニ五十萬噸カ六十萬噸ヲ生産スルハ幡ノ製鐵所ヲ作ツテモ、十萬人ノ新市街ガ出來ル、社會政策ノ上カラ見テモ、勞働政策ノ上カラ見テモ、又國防ノ上、經濟ノ上カラ見テモ、國ヲ舉ゲテ極力此製鐵ヲ國策トシテ保護シナケレバナラヌ場合デアアルノデアリマ

ス、私ハ一貫シタル關稅政策、而シテ徹底的ニ之ガ確實ニ保護セラレルト云フ意味ニ於テ、關稅率ヲ決メルガ爲ニ、此修正ヲ加ヘタ次第デアリマス、ソレカラ五百六十八番ノ船舶——船舶ニ付キマシテハ、吾々ハ日本ガ海國デアアルト云フ點、海運業ガ日本ノ國家經濟ノ上ニ重大ナル關係ガアリ、而シテ國內ニ於テモ造船業ヲ獎勵シ、其仕事ヲ發展セシムルト云フコトモ、亦之ニ附隨シテ極メテ重大ナル問題ト考ヘルノデアリマス、其意味ニ於キマシテ、吾々ハ十年ヲ超エザルモノ、之ハ政府ノ御提案通り十五圓ヲ認メルノデアリマス、併ナガラ老朽船舶ヲ日本ニ輸入スルコト

ガ、造船業カラ見テモ、一般的經濟カラ見テモ、甚ダ不利ナルガ故ニ、二十年ヲ超エザルモノ、之ヲ政府ノ十五圓ニ對シテ二十圓ニ修正シ、二十年其他二十年以上ニ達スルモノヲ二十五圓ニ修正シタイト云フ考デアリマス、震災以來私共ノ調査ニ依リマス、日本ニ購入セラレマシタル船舶ハ百四十七隻ト云フコトニナツテ居ル、此百四十七隻ノ内、百二隻ハ皆二十年以上ヲ超過シタル老朽船舶デアリマス、斯ノ如キ狀況ヲ以テ老朽船舶ヲ日本ニ購入スル勢ヒガ繼續致シマシタナラバ、日本ノ造船界ハ更ニ不振トナルノミナラズ、日本ハ老朽船舶——最モ石炭ヲ餘計要スル不經濟ノ船舶ヲ有スルト云フコトニナルト思フノデアリマス、此事ハ御承知デアリマセウガ、那威ノ如キ、伊太利ノ如キ皆二十年以上ノ船舶ノ輸入ヲ絕對ニ禁ジテ居ル、亞米利加デハ御承知ノ通り外國デ拵ヘタ船舶ハ、如何ナル種類ニ限ラズ、一噸モ輸入スルコトヲ禁止シテ居ルノデアリマス、尙ホ之ニ關聯シマシテ、御提出ニ相成リマシタ印刷物ノ法文第十條——前年造船獎勵案ヲ撤回ニナリマシテ、其代リトシテ日本ニ於テ製造スル船舶ノ爲ニ輸入スル鋼板及機械、其他ノ部分品ハ之ガ輸入稅ヲ免除スル、斯ウ云フ事ガ其條文中ニ認メテアルノデアリマス、今回ノ改正案ニ依リマスルト、鋼鐵及機械、共ニ概シテ皆關稅率ガ上ツタノデアリマス、之ガ自給自足カ

ラ進ンデ輸出ノ域ニ達スレバ、勢ヒ多少値段ノ上ルコトハ是ハ免レス事ト考ヘルノデアリマス、其程度時期等ニ付テハ各意見ガアリマセウガ、併ナガラ私共ハ一時多少騰貴スルコトハ免レスト觀測シテ居ルノデアリマス、然ルニ若シ此法文第十條ガ現在ノ如ク殘ッテ居レバ、日本デ造船ノ對シテ、外國カラ買ッタモノハ總テ無稅ニシテ居ル、内地ニ出來タ鐵及機械類ヲ買フ場合ニハ何等ノ保護ヲ與ヘヌト云フコトニナレバ、日本ノ造船材料ハ、外國ノ物ヲ買ヘト云フコトヲ法律ニ於テ獎勵スルト云フコトニ歸着シハセヌカト私ハ考ヘルノデアリマス、御承知ノ通り日本ノ造船業ハ、歐洲戰爭中ニ著シク發展致シマシテ、今日デハ其造船能率ハ約七十萬噸ニ達シテ居ル、此七十萬噸ノ造船能率ニ對シテ、昨年ハ僅ニ五萬噸シカ造船シテ居ラヌ、六十五萬噸ハ全ク廢業ニ屬シ、何等其機關、機能ヲ働カセズニ居ッタノデアリマス、造船界ガ今ノヤウナ次第デアルト云フコトハ、先刻モ申上ゲタ通り日本ノ經濟界又ハ失業

マイト「百斤十一圓トアルノヲ十四圓三十錢ニ修正シタイト思フノデゴザイマス」ダイナマイト「ノ日本ニ於ケル需要ハ、二十萬箱ト稱セラレテ居ルノデアリマスガ、此一箇年二十萬箱ノ需要ニ對シテ、日本國內ニ於ケル官民ノ製造能力ハ二十八萬箱内外ト信ジテ居ルノデアリマス、今回政府ノ御提案ニ相成リマシタルモノハ、其原料タル「グリスリン」ニ對シテ、年來「グリスリン」ノ保護政策ニ代ルニ輸入税ヲ以テ之ヲ保護スルト云フコトノ御方針ニナツテ居ルノデアリマス、此御方針ニ基イテ、之ニ關聯シテ矢張「ダイナマイト」ガ「グリスリン」ヲ需要スル分量ダケ其割合ニ應ジテ此税率ガ上グラレタノデアリマス、然ルニ只今申上ゲル通り、日本ニハ官民合シテ殆ド二割以上ノ生産能力ノ機能ガ餘ッテ居リマス、而シテ過去二箇年間、爲替相場ガ二割内外下落シタニ拘ラズ、尙ホ多數ノ輸入ヲ見テ居ルト云フヤウナ狀況デアリマス、國防上カラ見テモ、亦産業ノ保護カラ見テモ、今少シク保護ヲ加ヘタナラバ、恐ラク外國輸入ヲ見ズシテ、新シイ設備ヲ加ヘルコトナクシテ其輸入ヲ防グコトガ出來、其仕事モ發展シ得ラレルモノト考ヘマシテ、ソコデ十一圓ヲ十四圓三十錢ニ修正致シマシタ次第デゴザイマス、私ノ修正ノ説明ハ是ダケデゴザイマス

○竹内委員 私ハ此稅審六百三十五ニ

アリマス白熱電燈球ニ對スル修正理由ヲ説明致シマス、之ニ付キマシテ私共ハ六十「ワット」以下ヲ百個七圓、其他ヲ百個十七圓ト云フ修正意見ヲ提出致シタノデアリマス、政府案ノ十二圓八十錢ト云フコトニ付キマシテ段々御說明ヲ伺ッタノデアリマスガ、殆ド率直ニ申上ゲマスト云フト、理由ガ分リマセナカッタノデアリマス、現在我國ニ於ケル電球ノ需給ノ實況ニ徴シマシテ、殆ド百分中ノ十五「バーセント」ハ二十燭以下ノ電球ヲ使ッテ居ルモノデ占メテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ其二十燭以下ノ、一般ニ社會生活上ニ普及シテ居リマスル電球ハ、出來ルダケ安く使ハセルト云フコトハ、何人モ當然考ヘナケレバナラスコト思フ、然ルニ現行法ハ此點ハ餘程能ク考ヘラレマシテ、税率ノ當否ハ暫ク別ト致シマシテ、是ガ數十種ニ分ケテ、現行法ハ出來テ居ルニ拘ラズ、玆ニ御提出ニナツタ改正案ハ、之ヲ一總ニシテシマツテ居ル、恐ラク斯ウ云フ事ニナリマスルト云フト、非常ニ高イ燭光ノモノモ、極ク低イ燭光ノモノモ、十把一束ニスルト云フコトデアリマスカラ、全ク社會生活ト殆ド背馳スル所ノ税金ガ盛ラレタト云フコトニ相成ルノデアリマス、是ハ何ト致シマシテモ、普通品ト高級品トヲ區別シテ稅ヲ盛ル外ニ適切ナル方法ハ無イト私共ハ考ヘルノデアリマス、然ラバ實際ノ事情ガ二十燭以下

ガ普通品デアルナラバ、何ガ故ニ六十「ワット」マデヲ普通品ノ中ニ入レタカト云フ疑ガ自然起ッテ來ルト思ヒマス、是ハ實際ノ制度ノ實況ニ徴シマスレバ、六十「ワット」マデハ殆ド同ジ「コス」トヲ以テ製造シテ居ルノデアリマス、且又一面ニハ社會生活ヲ成ベク向上サセルガ爲ニ、現在二十燭平均ノ消費力アルモノハ、出來ルダケ三十燭ナリ、或ハ三十五燭ナリ、四十燭ナリニ高メテ、眼ノ衛生狀態ヲ完全ニスルト云フコトモ、併セテ考慮スル必要ガアルノデゴザイマスカラ、此邊ノ意味ヲ考ヘマシテ、六十「ワット」マデハ「コスト」ノ同ジ普通品ノ「グルーブ」ノ中ヘ入レ、而シテ六十「ワット」以上ハ之ヲ普通ノ必需品以外ノモノト認メテ之ヲ一括シタノデアル、尤モ六十「ワット」以上ニナリマススト云フト、其中ニ實際ハ八十「ワット」百「ワット」進ンデハ五百「ワット」千「ワット」ト云フ風ナ電球モ出來テ居リマスガ、此八十「ワット」以上五百「ワット」程度マデハ、大抵同ジ「コスト」デ出來テ居ルノデアリマス、千「ワット」以上ニナリマススト、非常ニ高クナリマスガ、斯ノ如キ品物ト云フモノハ、殆ド極ク稀レニ用ヒラレルノデアリマスカラ、大體ハ先ヅ六十「ワット」以上五百「ワット」マデノ品物ヲ輸入サレルモノト假定サレルノデアリマスカラ、隨テ之ニ對シテハ一括シテ十七圓ト云フ稅ヲ課スルナラバ適當ナリト考ヘタノデゴザ

イマス、一體政府案ハ十二圓八十錢、即チ二割ト云フコトガ括弧デ割註ニナツテ居リマスガ、此二割ト云フコトハ一向當テニナラスノデアリマス、是ハ御說明デハ能ク明カデナカッタノデアリマスガ、私ノ付度スル所ニ依ルト、十六燭或ハ二十燭、三十燭、進ンデハ何百燭ト云フ色ミノ種類ノ球ヲ一ツヅツ集メテ、サウシテソレヲ平均シテ割出シタノデハナイカト思フノデアリマスガ、サウデモ致シマススト、稍此十二圓八十錢ト云フモノガ、約二割ト云フコトニナル計算ハ、ドウカ斯ウカ生レテ來ル、サウナツテ來ルト、如何ニモ實際ニ觸レナイ不合理ナモノニナルノデアリマスカラ、矢張是ハ少クトモ普通品ト然ラザルモノトノ二大別ニ依テ、別種ノ税率ヲ盛ルト云フヨリ、他ニハ此適當ナル扱方ナハイト云フ考カラ、玆ニ此七圓ト十七圓ト云フ二種類ニ分ケタ次第デアリマス、尙ホ實ハ此白熱電燈球ニ對シテハ、御質問ヲ致シマシタ當時ニ於テハ、憲政會ノ諸君モ本黨ノ諸君モ大抵御同意ノヤウデアッタノデ、必ズ通過スルコトヲ私ハ期待シテ居リマシタニ拘ラズ、此度ノ岩切君ノ案ニハ一ツモ是ガ現ハレテ居ナイト云フコトハ、甚ダ遺憾トスル次第デアリマス、ソレカラ次ニ六百四十番ノ運動具ニ付キマシテハ、今日運動獎勵ノ時代デゴザイマスカラシテ、其方面カラ見マススト云フト、成ベク税率ハ安くシテヤリタ

イト云フコトハ尤モデゴザイマスケレ
ドモ、内地ニ於ケル運動器具ノ製造工
業モ中ニ進ンデ参リマシタ、今日將來國
民的ニ此運動ガナレバナル程、斯ノ如
キ種類ノ品物ト云フモノヲ、出來ルダ
ケ内國品ヲ以テ濟マシテ行クト云フコ
トハ、今日カラ吾々ハ考ヘナケレバナ
ラヌト思フノデゴザイマス、隨テ此工
業ヲ保護スル意味ニ於キマシテ、吾々
ノ修正意見ノ如ク、或ル程度迄ノ稅ハ
此際忍バシテ運動器具ノ外國輸入ヲ全
ク避ケ得ルヤウニ、早ク到著シ得ル相
當稅ヲ餘計掛ケルコトガ、極メテ適當
デアルト云フ意見カラ、斯ノ如キ修正
意見ヲ提出致シマシタ次第デアリマ
ス、ソレカラ前ニ戻リマシテ五百二十
六ノ時計デゴザイマスガ、是ガ吾々ハ
毎箇ニ付テ一圓三十錢ト云フ低イ稅ヲ
掛ケタイト云フ考デアリマスルガ、恐
ラク是ハ多ク説明ヲ要セヌデモ、皆樣
御了解ノ點デアリマスルガ、今日マダ
マダ時間ヲ守ルト云フ風ガ甚ダ普及シ
ナイ時代ニ於テ、出來ルダケ此時計ヲ
庶民的ニ普及サセルト云フコトハ、頗
ル大切ナ事ト考ヘルノデゴザイマスル
ガ故ニ、吾々ハ之ニ對シテ殊ニ重キ稅
ヲ掛ケルコトノ如何デアルカト云フコ
トヲ考ヘル所カラ、斯ノ如ク修正ノ意
見ヲ提出致シマシタ次第デアリマス
ス、大體私ハ其程度ノ説明ヲ致シテ置
ク次第デアリマス

政友會側ノ補充モ濟ンダヤウデアリマ
スカラ、是カラ討論ニ這入リマス——
星島二郎君
○永田委員 討論ハ兩方共一括シテデ
アリマスカ

○加藤委員長 左様デアリマス
○星島委員 私ハ政友會ノ出シマシタ
修正案ニ賛成シ、隨テ其一部合致シテ
居リマスル岩切君ノ修正ハ、政友會ノ
修正ヲ賛成シマスレバ賛成スルコトト
ナルト思フノデアリマス、併ナガラ其
修正ノ趣旨ニ付キマシテハ、自ラ精神
ヲ異ニシテ居リマスガ故ニ、其根本趣
旨ニ相違ガアルト云フコトニ御注意ヲ
願ヒタイト思フノデアリマス、即チ先
ヅ各論ニ移リマス前ニ、總論的ニ私ハ
修正賛成ノ意見ヲ述ベテ見タイト思フ
ノデアリマス、四十餘日ニ互リマスル
所ノ質疑應答ニ依リマシテ、大體ニ於
キマシテ今回政府提出ノ改正案ハ、只
今濱口藏相モ既ニ認メラレタ如ク、日
進月歩ノ今日、是デモ決シテ満足ナル
モノデハナイ、俄ニ又改正ヲ要スルモ
ノガアル、故ニ常設ノ委員會ヲ設ケル
モノデアアル、斯ウ云フ風ニ申サレタ、之
ニ對シ本黨並憲政會ノ人達ハ、今日前
多クノ種目ニ付テ修正シタイケレド
モ、マダ十分ノ調査ヲ要スル、八分通り
ハ殆ド確定シテ居ルケレドモ、二分ノ
餘裕ヲ殘シテ其調査會ノ審査ニ讓リ、
改メテ來年ノ次ノ議會ニ於テ之ヲ審議
スルト云フ、極メテ悠長ナル御議論デ

アッタノデアリマスルガ、私ハ先程質問
ニモ一寸其精神ヲ表シタ通りニ、勿論
根本精神ヨリ致シマスレバ、斯カル如
キ大法案ヲ、實際一月二月ノ中ニ審議
スルト云フコトハ、神ナラス身ノ甚ダ
出來難イ事デアアル、サリトテ今日此憲
法治下ニ於キマシテ、議會ノ會期ヲ延
長スベシト云フ議論ハ、既ニ輿論デア
リマスケレドモ、攝政宮治下ニ於キマ
シテハ、ソレハ到底行ハレナイ、私共ハ
寢食ヲ忘レテ有ユル法案ヲ此三箇月ノ
間ニヤラナケレバナラナイ、丁度今回
出マシタル所ノ案ノ中ニ於キマシテ
モ、民事訴訟法ノ如キモノハ、今朝漸ク
衆議院ニ廻サレテ、ドウシテ後ト二日
間ニ審議ガ出來ルカ、出來ナイ相談デア
リマスケレドモ、已ムヲ得ズ極ク重要
點ダケヲ捉ヘテ以テ、是ガ賛否ヲ決ス
ルト云フコトニナッテ居ル、御互議員ガ
心ノ底デハ出來ナイ事デアリマスケレ
ドモ、平素カラ勉強シテ置イテ、之ヲ大
綱ヲ以テ決定スルト云フコトハ已ムヲ
得ヌ事デアアル、其振合カラ致シマスレ
バ、此關稅ノ改正ノ委員會ハ實ニ度々
開カレ、既ニ四十餘日、殊ニ委員會ガ閉
デラレテ十日間モ掛ッテ研究シタ事デ
アリマスルカラ、根本論ヨリ致シマスレ
バ、マダ不足カモ知レマセヌケレドモ
他ノ一般ノ重要法案ト區別致シマシ
テ、今期議會中、否今迄ノ議會ヲ通ジマ
シテ、最モ熱心ニ眞面目ニ、サウシテ十
分ニ討議サレタト認メンケリヤナラヌ

ト思フノデアリマス、大體ノ見當ハ見
極メタ、一體政治家ハサウ微細ニ互テ
隅カラ隅マデヤラヌデモ、大體要點ヲ
擧ンデ行ッテ、修正スベキモノハ修正ス
ベシト、今日ノ議會ノ調子デハヤッテ宜
シイノデアリマスカラ、岩切君ハ三點
ダケハ確信ヲ得タケレドモ、其他ノモ
ノハマダ確信ヲ得ル數字ニ達シナイ、
八分通り豫想ハ付イタケレドモ、後ト
ハ議院外ノ審査會ニ讓リ、再ビ政府ノ
提案ヲ求メルト言フ、日進月歩ノ時代
ニ、十數年來抛ッテアッテ關稅ノ改正ガ遲
レテ居ル爲ニ、如何ニ今日ノ日本ノ產
業ノ上ニ影響ヲ及シテ居ルカ、是ハ實
ニ一月ヲ爭フモノデアアルノデアリマ
ス、ソレニ拘ラズ悠長ナル審査會ヲ是
カラ開キ、尙ホ來年ノ議會ニ之ヲ提案
ラスルト云フ態度ハ、私ハ眞ニ產業ノ
發達ヲ願フ所以デナイト思フ、故ニ私
共ハ其不徹底ナル點ハ詰ッテ、吾々ハ四
十數種ニ互テ修正ヲ致シタノデアリマ
ス、只今ソレハ、立チ代リマシテ、皆ガ
其修正ノ種目ニ付テ述ベマシタケレド
モ、本當言ヒマスレバマダ——一ツ一
ツニ付キマシテ、モット——詳シク述ベ
ヌケレバ國民ニ對シテモ相濟マヌヤウ
ニ思フノデアリマス、私共ハ正式ノ委
員會ヲ閉デラレテ、十日間ノ中ニ度々
寄りマシテ、二回モ此刷物ヲ刷替ヘマ
シテ、サウシテ皆樣ニ御目ニ懸ケテモ宜
イヤウニ基本ノ趣旨ヲ定メ、サウシテ
稅目ニ對シテ一々修正案ニ別箇ノ理由

ヲ添付シマシテ、サウシテ之ヲ當委員ニ協議ヲ願ヒ、今日修正案トシテ差出シタノデアリマス、本來カラ言ヒマシレバ、私ハ政府ガ最初此委員會ニ臨マレマスル前ニ、此參考書ノ下ニデモ一ノ品目ニ——今回出マシタ關稅案ノ下ニ、一々修正ナサレタルモノニ付テハ簡單ナ理由書ヲ——吾ノ手許ニハ工業俱樂部ヤ、商業會議所ガ書類ヲ送ッテ參ッテ居リマスガ、少クトモ一ツノ品目ニ付テ三行四位ノ、極ク簡單ナ改正ノ理由位ハ附ケテ戴キタイト思ッタノデアリマス、サウシテ審議ヲ進メマスレバモット早ク行キ、本當ニ十分ナル審議ガ出來タカモ知レスト思フノデアリマスガ、私ハ十分ニ審議ガ出來ナイト云フ意味ヲ以テマシテ、其理由ヲ以テ議院外ノ審查會ニ之ヲ讓ルト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、而モ先程質問ニモ一寸申述ベマシタヤウニ、其審查會ナルモノガ米國ノ「タリフコンミチ」ノ組織ノヤウニ、必ズ其委員ノ全部ガ議員デアルコトヲ條件トシテ、其議員ガ十分ニ調査ガ出來ルヤウニ、或ハ二萬弗位ナ「サラリ」ヲ出シテ、サウシテ以テ審議スルト云フヤウナ理想的ノモノナラバ、ソレハ所謂議院法二十五條ニ依リマスル所ノ繼續委員ト認メルコトガ出來マス、サウシテソレハ議員ノ權能ヲ阻害スルモノデハナイノデアリマス、寧ロ今日ノヤウナ會期ノ少イ、憲法上如何トモスベカラ

ザル、此會期延長ヲ旨ク運用シマスレバ、議院法ノ二十五條ヲ運用シマシテ、サウシテ民事訴訟法ノヤウナ非常ニ條文ノ多イモノヲ、矢張繼續委員ニ讓リ、此關稅案ノヤウニ條文ノ多イモノハ繼續委員ニ讓ッテ、而モソレニ或ル程度ノ權限ヲ持タシテ、其繼續委員會ニ於テ議決シタモノハ、各派幹部ノ了解ヲ得タモノニ於キマシテハ、ソレガ直ニ勅令ニ依テ發布サレ、サウシテ次ノ議會ニ事後承諾ヲ求メルヤウナ所ニマデ至ルコトヲ私ハ望ム、サウ云フ意味ノ御審案ナラバ、マダ私共多少考ヘル餘地ガアルノデアリマス、ソレガ何等條件ナク、全然議院外ノ委員會ニ之ヲ付議スルコトヲ前提トシテ、單ナル希望條件ヲ述ベラレテ、サウシテ唯三點、小麥ト小麥粉ト鳥卵、小麥粉ハ小麥ガ上ツタカラ當然上ルノデアリマスカラ、謂ハバ二點、小麥ト卵、之ニ四十日モ費シタト云フコトハ、非常ニ頭ガドウカシテ居ル、唯二點ダケ、而シテ是デ了ルコトハ實ニ私共ハ心外ニ堪ヘナイ、而モ十日ノ委員會ガ終リマシタ當時及其後ノ空氣ハ、實ハ大分内輪話ヲ致シマシタ、日本ノ現在ノ政黨ハ歐米トハ異ッテ、今ノ政黨ハ妙ナ狀態デアリマスカラ、實ハ内輪話ガ出來ル狀態、サウシテ實際ニ於キマシテ、此處ニ吾ニガ修正案ヲ出シマシタ中ニモ、是ハ本黨ヤ憲政會ノ方カラ註文ヲ出ケテ、其處ニ多少ノ所謂内輪社會ノ精神ヲ發揮シタモノガアルノデ

アリマス、然ルニソレヲ俄ニ拋棄サレテ唯二點、小麥ト鳥卵ダケデ、サウシテ此熱心ニヤッタモノヲ覺ヲ付ケルコトハ、政治道德ノ上カラ見マシテモ、私ハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、尙ホ私共此委員會ニ臨ミマシテ以來、實ニ多クノ陳情書ヲ受取り、又實ニ多クノ陳情者ニ會ッタノデアリマス、私共經驗淺イ議員トシマシテハ、實ハ初メテ斯ウ云フコトニ打突カッタ、御承知ノ如ク受附ガ今年度ハ餘程眞面目デアルト云フ評判デアル、私ハ大變好イ傾向ト思フ、ドウシテ今年度ハ受附ガ靜デ眞面目デアルカト云フト、所謂權利問題、普選其他立憲政治ノ基本概念ノ問題ニ付キマシテノ陳情者ガ割合今年ハナイ、實際家ガ殖エタ、ソレハ日本ノ所謂立憲政治ガ多少進歩シテ、餘程實際問題ニナツテ來タ、サア關稅ニ對シテドウスルト云フヤウナコトニ付キマシテ、相當ノ有識アル人ノ訪問者ガ受附ニ見エタノデ、今年度ハ議會ノ受附ハ大變整理シ宜イ、サウシテ眞面目ナル事ヲ看テ取ツタト云フコトハ、取モ直サズ關稅問題ガ議セラレテアッタカラデアリマス、ソレ等ノ人ミニ對シマシテ、私共仄ニ聞キマスノニ、理窟ノアル議論ハ宜シイ、サウ云フ事ハ何處迄モ努力シヤウト云フ言質ヲ與ヘテ居ル、私ハ本黨ナリ、或ハ憲政會ノ人達ガ、彼等ニ言質ヲ與ヘテ居ルコトヲ知ツテ居ルノデアリマス、ソレヲ單ナル希望一片ヲ述ベテ、何ト

カスルト云フ程度デアルト云フコトハ、是ハ即チ議員トシテノ言責ヲ重ンズル所以デナイト自分ハ熟ニ感シタノデアリマス、サウ云フ精神カラ致シマシテ、私ハ岩切君ガ出サレマシタル所ノ修正、其本ハ唯二ツ、ソレニ附加ヘテ所謂小麥粉ヲ入レテ三點、當然吾ミノ修正案ノ中ニモ含マレテ居リマスケレドモ、其發案ノ精神ニ付キマシテハ以上ノ御憾ミヲ申シテ、サウシテ已ムナク其點ニ於テハ一致スルト云フコトヲ申上ゲル外ハナイノデアリマス、私ハ元來今回ノ改正案全體ヲ見マシタトキニ、最初總論ノ質疑ヲ致シマシタ際ニモ度々申上ゲタノデアリマスルケレドモ、全體ノ空氣カラ致シマシテ、所謂稅ヲ盛立テル機關ガ大藏省ニアリマシテ、サウシテ之ヲ援助スルノガ商工、農林ト云フ風ニナツテ居リマス、是ガ一方商工、農林ノミニ任セテアリマスレバ、公平ナル審查ガ出來ナイト云フ位ニモナラウト思フノデアリマスガ、將來ハ是ハドウシテモ内閣直屬ノ獨立機關ニスルカ、何カ偏セヌヤウナモノニシナケレデナラナイト云フ意見ヲ申シタノデアリマスルガ、此改正案ヲ見マシテモ、一面カラ言ヒマスレバ吾ミ議員モ多少其弊ニ陷ルノデ、陳情ガ來レバ、ドウシテモソレニ人情聽キタクナル、改正案ノ隅ニ見マスト云フト、或程此點ニ付テハ斯ウ云フ陳情ガ強ク入ッテ居ルト云フコトガ、實ハ吾ミ委員トナッ

テ經驗シテ、初メテソレヲ察スルコトガ出來ルノデアリマス、隨テ陳情ノ來ルノハ多クハ生産者デアアル、或ハ會社筋デアアルカラ固マツタ運動ガ出來ル、一般ノ消費者ハ直ニ——日本ノヤウニマダ消費組合ガ發達シテ居ナイ國ニ於テハ、消費者ノ聲ガ甚ダ聽カレナイ、斯ウ云フ點ガ此改正案ニモ非常ニ現レテ居ルノデアリマス、私共修正案ヲ出シマスニ當リマシテ、其點ニ特ニ留意シタ積リデアアルノデアリマス、私ハ元來關稅ノ問題ニ付キマシテハ、根本ノ信念思想ヨリ致シマスレバ、是ハ總テノ國民——或ハ所謂到底現實ニ到達シ得ベカラザル點デハアルカモ知レマセヌケレドモ、理想論トシマシテハ、各國是ハ自由デナケレバナラナイ、是ハ否ムベカラザル原則ト思フノデアリマス、現ニ世界平和ノ主義ヲ唱へ、國際聯盟ガ殊ニ此點ニ留意ヲ致シマシテ、色々ナル所ノ決議事項、希望條件ヲ發表致シテ居リマス、日本ニ於キマシテモ、國際聯盟協會ガ極ク最近ニ於キマシテモ、或ル文書ヲ公開致シテ、サウシテ之ヲ識者ニ問フテ居ルノデアリマス、其中ノ二ツ一ツハ國際經濟ヲ發達セシメ、産業ノ能率ヲ増進シ、人類ノ共存共榮ヲ圖ル爲ニハ、天然資源ノ開設利用ニ付テ成ベク不平等の觀念ヲ去リ、成ベク原料品ノ輸出入之ヲ自由トシ國ノ差別的措置ヲ取ラザルコトヲ希望ス、斯ウ云フ事ヲ掲ゲテ以テ國際聯盟ノ一ツノ理想

トシテ、サウシテ各國ヲシテ之ニ從ハシムルヤウニ努メタノデアリマス、本員モ此原則ニハ實ニ無條件賛成デアリマシテ、願クハ各國トモ基本原料ニ付キマシテ成ベク無稅自由ニシタイ、是ハドウシテモ世界ノ共存共榮、殊ニ最近總テノ問題ガ國際的ニナツテ居ル今日ノ經濟狀態カラシテ、ドウシテモ斯ウナラナケレバナラナイ、私ハ修正案ヲ見マシテ、勿論政府ノ方針ノ此根本ノ思想ニハ同感デアアル、此修正案ニ付キマシテハ此思想ヲ十分ニ取入レテ、俄ニ日本ノ經濟上ニ支障ヲ來サヌ範圍ニ於キマシテハ、矢張最高理想ニ則リマシテ、サウシテ原料ノ無稅ト云フコトヲ原則トシタイ積リデアリマスガ、併ナガラマダ俄ニ所謂自由主義者ノ喜ブベキコトニハナツテ居ナイ、一時自由貿易ヲ以テ非常ナル國策トシ、サウシテ青年或ハ思想家ノ非常ナル輿論ノ中心トナツテ居ッタ英國サヘモ、原則ニ於キマシテ寧ロ極端ナル保護貿易ニ歸ッテ居ル、現狀ハ必シモ俄ニ總テノ事ヲ差別待遇ヲ撤廢スルコトハ出來ナイ、寧ロ過渡期ノ一ツノ經驗トシ、將來ノ最高理想ニ到達スル一ツノ前提トシテ一時代トシマシテ通ツテ來タ、各國ガ總テサウデアアル、我國ハ中間ノ生産品半製品ト云フヤウナモノニ對シテ、寧ロ極端ノ保護主義ヲ採ッテ居ル、今回ノ改正案ハ矢張其點ニ付キマシテ、總テ此率率ト云フコトニナツテ居ル、各派ノ質

問應答ヲ見マシテモ、詰リ根本ノ議論ニ於キマシテハ、モット保護スベシ、原料ハ無稅ニシ、加工品其他ニ付テハモット保護スベシト云フ議論ニ付キマシテハ、本黨モ憲政會モ政友會モ總テ同ジ意見デアッタト云フコトハ、委員會ニ於テ、又修正案其他ノ調査ニ於テモ、唯程度如何ト云フコトガ問題トナツタノデアリマスケレドモ、目前ニ非常ナ保護ヲ致ス、ケレドモ吾々ノ言フ修正案ノ根本ハ、將來ノ國際聯盟ノ持ッテ居ル理想ノ實現ヲ早カラシメンガ爲ニ、出來ルダケヲ所謂協定稅率ニ直シヤウニスルト云フノガ、國際聯盟協會ノ決議シテ居ル第二項デ、成ベク喧嘩ヲシナイヤウニ、關稅ノ戰爭ヲヤラナイデ、成ベク國際協定ヲシテ一國ト協定スレバ、其協定稅率ガ他ノ國ニ及バナイト云フノガ、國際聯盟協會ノ主張デアリマスガ、吾々ハ總テノ稅率ハサウナツテ居リマスケレドモ、之ヲ現時幼稚ナル工業ヲ保護シ、サウシテ早く——例ヲ以テ言ヒマスレバ、所謂日本ノ紡績業ニ於テ總テ早く獨立シテ行クヤウニナツタトキニハ無稅ニシテ、ドン——男ラシク無稅ニスル、斯ウ云フ希望ヲ早く達セシメタイ爲ニ、一ツノ手段トシテ主張スル、其根本ノ信念ハ何所デマモ其所ニアルノデアリマシテ、吾々ハ非常ニ總テヲ増率シ、所謂保護貿易主義者ノ極端ナル保護貿易ヲヤルヤウニ誤解サレテ居リマスケレドモ、サウデナ

クシテ、一刻モ早ク最高ノ理想ニ到達スルコトニ努メルト云フ一ツノ本旨カラ出タノデアリマス、デ以上ノ御精神ヲ酌取リマシテ、サウシテ私共ハ具體的ノ案ニ進ミマストキニハ、前ニモ同僚吉津君其外ヨリ既ニ表明サレタヤウニ、ソレヲ約メテ見マス云フト、約十項トナルノデアリマス、多クノ方ニハ其刷物ハ御配リシテゴザイマスカラ、大體御承知ノコトト思フノデアリマスケレドモ、私ハ今述ベタヤウナ基本ノ概念ヲ假ニ條文的ニ分ケテ見マス云フト、大體斯ウ云フ風ナノデアリマス、私ハ此基本ノ趣旨ニ依リマシテ、逐次各論ノ品目ヲソレニ附加ヘテ、修正ニ賛成ノ意見ヲ申述ベテ見タイト思フノデアリマス、先ヅ順序トシマシテ、第一番目ニハ問題トナリマシタ所ノ農產物ノ保護デアリマス、之ニ對シマシテハ特ニ私ハ自分一個ノ理想ガ最近變ッテ、自分ガ日本ノ將來ノ爲ニ新ラシク一ツノ農村立國トモ申シマセウカ、或ハ地方分權生活トモ申シマセウカ、或ハ地方ノ安住生活トモ申シマセウカ、言葉ハマダ發見シナイノデアリマスケレドモ、日本ノ將來ニ取リマシテ非常ニ考ヘネバナラス所ノ一ツノ思想的背景ヲ持ッテ、此修正案ニ賛成シタト云フコトヲ十分御聽取ヲ願ハフト思フノデアリマス、基本要旨トシマシテ農產物ニ付キマシテハ、農業生産ノ増改ヲ圖リ、以テ鞏固ノ自給自足ヲ期シ、合セテ農村

ノ安住及振興ヲ圖ル爲ニ、農產物ニ對シ特ニ意ヲ用ヒテ編シテノデアリマスガ、私ハ此文章ノ中ノ增收ヲ圖リ、或ハ自給自足ヲ圖リ、振興ヲ圖ルト云フヤウナコトハ、殊ニ其問題ニ熱心ナ長田委員ヤ、或ハ山内委員ヨリ十分ニ御説ガアルコトト思フ、唯此中ニ特ニ農村ノ安住ト云フ文字ヲ説明シタイト思フノデアリマス、私共ハ學生時代ヨリ此自由貿易主義デ——私共ハ多ク此「フリー・トレード」ノ學問ヲシタノデアリマス、此心持カラ申シマスレバ、此農產物ノ米其他小麥ニ對シマシテ保護ヲ加ヘルト云フコトハ、一寸合點ガ行カヌヤウナ議論ニナツテ來ルケレドモ、是ハ最近ノ各國、殊ニ歐洲大戰後ニ於ケル各國ノ農村地方ニ關スル總テノ遺リ口ヲ見マシテモ、既ニ其片鱗ガ現ハレテ居リマスガ、日本ノ今日ノヤウナ狀態ニ於キマシテハ、私ハ算盤玉カラ言ヒマスレバ、是程馬鹿々々シイコトハナイ、是ハ外ニ議論ガアリマセウケレドモ、私ハ最早算盤玉ヲ超越シテ、モット徹底シタル議論ニ到達シタノデアリマス、私ハ佛蘭西ガ——或ハ巴里ガ非常ニ奢侈デアツテ、實ニ此佛蘭西ノ巴里ガ榮華生活デアルト云フ觀察ヲシテ、歐洲カラ歸ッタ人ノ話ハ、是ハ實ニ佛蘭西ヲ知ラヌモノデアアル佛蘭西ノ強、味ハ佛蘭西ノ地方農村ニ在ル、實ニ能ク開墾サレ、能ク行届イテ、而モ佛蘭西人ガ實ニ農村平和ノ國家ノ強味ト云フヨリ、寧

ロ佛蘭西ノ農民ガ實ニ能ク奮闘シテ生活ヲ致シテ居リマシテ、其處ニ實ニ人生トシテノ平和ガアリ、慰安ガアルト云フコトヲ十分體得シタル所ニ、佛蘭西ノ非常ニ強味ガアル、ソレヲ觀察シタ人ノ話ヲ聽キマシテ、私ハ洵ニサウダト感シタノデアリマス、私ハ最近歐羅巴ニ參リマシテ、所謂小國、或ハ和蘭、或ハ丁抹、斯ウ云フ國々ヲ觀察シテ、彼等ノ實ニ平安ナル生活、往々心地ノ良イ社會ト云フモノハ何處ニ在ルカト言ヘバ、實ニ田舎ノ隅々マデ行互レル農業生活ヲシテ居ル所ニ在ルト考ヘタ、其處ニ其國ノ強味ガアル、強イト云フヨリモ、實ニ其處ニ人生トシテノ住心地ノ良イ心持ガ現ハレテ居ル、是ハ見逃シテハナラナイ一ノ傾向デアリマシテ、我ガ日本ガ維新前各藩ニ分レテ居ッタモノヲ其後所謂中央集權ニナリマシテ、總テガ東京、或ハ都會ニ集マリマシタ結果、非常ニ偏重シタル思想、偏重シタル政策ガ行ハレマシタ、近來ノ社會問題或ハ思想問題ノ根本ハ、ドウシテモ此點ヲ見逃シテハナラナイ、都會集中、地方分權、此二ツノ問題ハ、識者ノ大ニ考ヘナケレバナラヌコトト思フ、私共ハ普通ノ理想カラ言ツテ、ド——自由主義ニシテ、都會ニ集中セシメ、所謂商工立國ヲ以テヤル方ガ如何ニモ早道ノヤウニ考ヘテ居ッタ時代モアリマシタガ、單ニ富國強兵ト云フコトヲ以テ行クノハ、眞ニ永久ニ國家

ヲ安泰ニ置ク所以デナイ、私ガ郷里ニ歸リマシテ、實ニ十段二十段ト云ノ段段畑ヲ、而モ肥料ヲ肩ニ擔イデ耕シテ居ルノヲ見テ、アレ程馬鹿々々シイ事ハナイト直感シテ、不平ヲ懷イタコトモアリマシタ、併シ私ハ農村立國ト云フコトカラ人生ヲ根本問題ニ觸レマシテ、必シモ國ガ強イト云フコトバカリガ宜イノデハナイ、兵力ノ強イト云フノガ國家ノ目的デハナイ、私ガ軍縮ニ共鳴シ、所謂軍國主義ヲ排斥シタ一面ニハ、如何ニシテ御互ニ本當ニ平和ナ生活ヲスベキカト云フコトヲ考タカラデアアル、是ハ單ニ植民ヤ移民デ左様ナ生活ノ出來ルモノデハアリマセヌ、如何ニ植民移民ヲ致シマシテモ、年々殖エル七十萬人ノ全部ガ伯刺西爾ニ行ケルモノデハナイ、全部ガ滿洲ヤ北海道ニ行ケルモノデハナイ、ソコデハ算盤玉ニハ合ハナクテモ、其人ミガ國內ニ能ク散ラバツテ、分布シタ生活ヲスル所ニ其國ノ安定ガアルノデアアル、他カラ物ヲ買フヨリモ、先ヅ自分ノ持ッ居ル土地ヲ耕シテ作ルト云フコトガ、人間生活ノ上ニ大變力強イ所ガアル、人生ノ暖カイ空氣ガ其處ニ育マルノデアアル、是ハ關稅問題トハ餘程距離レタ議論トナツテ、多クノ方ハ或ハ興味ヲ持タレナイイカモ知リマセヌガ、私ハ今回ノ政友會ノ修正案、而モ私ノ主義思想ガ變リマシテ、サウシテ單ニ農產物保護、所謂農村振興ト云フ意味デナクシテ

心ノ底カラサウシナケレバナラヌ、マダ是デモ不足デアルト云フコトニ考ヘルニ至ッタノハ、其思想カラ起ッタノデアリマス、是ハ日本ノ國家トシテモ、國民トシテモ、非常ニ考ヘナケレバナラヌ事デアリマシテ、此根本思想ヲ認ムル以上ハ、其處カラ發足シテ色々ノ思想ガ起ツテ來ルノデアリマス、其第一ハ、明治維新後所、謂各藩ニ分レテ居タ思想ヲ集ムル爲ニ、華族ハ全部東京ニ在住スルノ原則トシタノデアアルケレドモ、今日カラ見レバ、最早ハ華族ガ東京ニ住マツテ今日ハ三越、明日ハ帝國ト遊ビ暮ラスヨリモ、寧ロ地方ヘ歸ツテ、自ラ耕スト云フ思想ヲ持ツヤウニシナケレバナラヌ、其處マデ深ク考ヘタ意味ニ於キマシテ、私ハ此案ニ賛成シタイト思フノデアリマス、地方分權、地租委讓、斯ウ云フ思想モ其處カラ出テ來タノデアリマシテ、假令算盤玉ニハ合ハナクトモ、サウスルコトガ必要デアアル、ソレガ日本國民ヲシテ永久ニ此景色ノ良イ國ニ、平安ニ生活セシメルコトトナルノデアアル、植民デアルトカ、人口制限デアルトカ云フヤウナコト以外ニ、此根本原則カラ總テノ政治ヲヤラナケレバナラヌト云フコトヲ自分ハ熟熱感シタノデアリマス、其思想、其背景ヲ以テ此關稅案ヲ審查シマスレバ、私ハ寧ロ其根本ニ於テ此修正ハ餘程遠慮シタモノデアルト考ヘルノデアリマス、私ハ新農村立國ト言ヒマスカ、新地

方安住生活ト言ヒスカ、十分ニ自分ノ心持ヲ現ハス簡單ナル適切ナル言葉ヲ發見セヌノデアリマスケレドモ、特ニ此點ニ留意シテ、農産物保護關稅ノ引上ゲハ、單ニ消費者ニ一時的迷惑ヲ掛ケルト云フコトデナクシテ、寧ロ都會ニ集中シタル工場勞働者ガ、歸農シテ平安ナル生活ヲスル、單ナル榮耀榮華ヲ望ムヤウナ都會生活ノ思想カラ離レルト云フ意味カラシテ、殊ニ農村安住ト云フ文字ヲ此基本趣旨ノ中ニ入レタルデアリマス、其點ニ付キマシテ特段ナル御留意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、續イテ私ハ此改正案ニ對シマシテ考ヘマスルニ、現政府ハ、或ハ稅制ノ整理ニ於キマシテ、或ハ豫算ニ於キマシテ、特ニ社會政策ニ非常ニ意ヲ用キラレタ、今期議會程社會政策ト云フ言葉ガ議場ニ現ハレタ年ハ少イ、是ハ洵ニ宜イ傾向デアアルケレドモ、ソレハ口ニ言フタダケデハ何ニモナラス、實際ノ政策、政府ノ提案ノ上ニ、ソレガ具體的ニ現ハレナケレバナラス、今回ノ改正案ハ、全體トシテハ増額デアアル、ソレハ宜シイ、所ガ其中ニモ社會政策ト云フコトヲソレ程マデニ大キナ聲デ用ヒラレルナラバ、此稅率ノ中ニモ入レテナケレバナラス管デアアル、然ルニ之ヲ見マシタ所、私ハ多クノ場合實ニ失望致シタノデアリマス、此關稅改正案ノ中ニ、社會政策ノコトガドノ程度マデ安排サレテ居ルカト云フコトヲ見マス

ルト、寧ロ非社會政策ニ解シナケレバナラヌ點ガ多イ、其最モ著シイ一ツノ例ハ毛織物デアリマス、是ハ此委員會ニ於キマシテ私共ハ寧ロ傍觀ノ地位ニ立ッテ居ッタノデアリマスガ、憲政會ノ諸君ハ殆ド總テ不信任ニ近イ程ノ言辭ヲ以テ質問サレタコトハ皆様御承知ノ通りデアアル、私ハ一體何處ニ其缺點ガアルカト云フコトヲ申シテ見タイ、實ハ本修正案ハ、出來ルナラ一致シテ通過サセタイト云フ精神カラ、本黨ヤ憲政會ノ御意見ヲ聽イテ、餘程手緩クシテ出來タ案デアリマス、私共ノ論旨カラ言ヘバ、或ル意味ニ於テハ甚ダ不徹底ナモノデハアルケレドモ、其片鱗ハ我が修正案ノ中ノ數字ニモ現ハレテ居ル、政府ノ改正案ニ依リマス、所謂「サラリーマン」程度ノ着ル、多少ノ綿ガ這入ッテ居ル五百瓦以下ノモノハ一番需要ノ大キイモノデアアル、是等ノモノニ對シテ五割以上ノ目盛ガシテアル、然ルニ其ノ他ト云フ高級品ニ對シテハ僅ニ三割デアアル、一般ノ需要者ニ直ニ影響スルモノニ對シマシテハ五割ノ増率ガサレテ居リマス、高級品ニ對シテハ寧ロ薄クシテ三割程度ニナッテ居ルト云フコトハ、是ハ取モ直サズ非常ナル非社會政策的ノモノデハナイカ、吾々ハ修正案ニ付テハ此點ヲ考慮シマシテ、勿論日本ノ毛織物工業ヲヨリ多ク發達セシメンガ爲ニ、大體ノ増率ハ之ヲ認メル、サウシテ早ク日本モ紡績工業ノヤウニ、毛織物工業ノ原料ヲ無稅ニシタイ、ドウセ日本デハ棉花ハ出來ナイ、是ト同様ニ此原料ノ毛ヲ無稅ニシテ、サウシテ日本ノ毛織物工業ヲ十分ニ發達セシメテ、早ク棉糸綿布同様無稅ノ域ニ達シタイト思フガ故ニ、已ムナク一時消費者ニハ甚ダ氣ノ毒デアアルケレドモ、其將來ノ發達ヲ期スルガ爲ニ、若干ノ増率ヲ認メルケレドモ、同ジ増率ヲスルナラバ、高價ナル高級品ハモット高クシテ宜シイ、下級品ハ低クスルノガ當然デアアルノニ、何故改正案ニ於テハ寧ロ高級品ニ薄クシテ下級品ニ厚ク強イト云フコトニ付テハ、非常ナル疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、殊ニ此毛織物工業ノ改正案ニ對シテハ非常ニ運動ガアッタト云フコトハ、私共ハ寧ロ一種ノ眼ヲ以テ之ヲ監視シテ居ッタヤウナ次第デアリマス、吾々ハ甚ダ一面カラ言ヒマスレバ手溫ルイカモ知レマセヌケレドモ、五百瓦以下ノモノ、殊ニ綿ノ這入ッタモノニ對シテハモウ少シ低イガ宜シイト云フノデ、之ヲ提案致シタヤウナ次第デアリマス、之ニ對シテ希望條件ノ中ニモ十分徹底ヲ缺イデ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、其點ハ甚ダ不可解ニ思フノデアリマス、尙ホ社會政策ノ見地カラ見マス、或ハ紙類ノ如キ、是ハ尤モ多少希望條件トシテ岩切君モ述ベラレタノデアリマスケレドモ、原案カラ見テ此一般ノ文化教育ニ關係アル紙類ガ此改正案

舶來品嗜好ノ弊風ガアルノデアリマス、是等モ單ニ關稅政策ニ依テ打破スルト云フコトハ勿論不可能カモ知レマセヌガ、少クトモ其稅率ノ盛リ方如何ニ依リマシテハ多少是等ノ弊風ヲ打破スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、サウ云フ意味カラ一面ニハ輸入ヲ防遏シ、一面ニハ舶來品ノ——勿論良イモノハ宜シイガ、舶來思想ヲ打破スルト云フ意味カラ、運動具其他ニ付テ特ニ意ヲ用キテ修正ヲシタ積リデアアルノデアリマス、木材ノ輸入問題ニ付テハ既ニ說明ニ付テ十分盤サレタコトト思ヒマスカラ、私ハ此點ニ付テハ餘リ多クヲ言ハナイノデアリマス、唯特ニ私ハ委員會ニ於キマシテモ政府ニ其說明ヲ求メ、殊ニ材料ノ供給ヲ仰イダノデアリマスガ、私共根本思想カラ言ヒマスレバ、軍備縮少論者デアアル、軍需工業ニ對シテ特段ノ注意ヲ拂フト云フ興味ハ少イノデアリマスケレドモ、先程來申シマシタ日本ノ總テノ工業ヲ、所謂自給自足ノ域ニ進メ、ソレガイザト云フ場合ニモ十分ノ域ニ達セシメタイト云フノハ、最後ノ恆久的平和ヲ愛好スル信念ヨリ起ッタノデアリマスガ、目前現實ノ過渡期トシテハ、已ムナク軍需工業——産業ノ獨立ヲ圖ラナケレバナラヌ、サウ云フ意味カラ或ハ「ダイナマイ」殊ニ其原料トナルベキ「グリセリン」ニ付テ其改正案ニハ注意ヲ拂ッテ、

是ハ無條件ニ賛成シ、尙ホソレデモ不足トシテ「グリセリン」工業ノ最モ主ナル「オレイン」ニ對シテ、此稅率ノ増加ヲ圖ッタノデアリマス、以上一々各論ニ付テ品目ニ付テ總テ說明ヲシマスレバ、或ハ「フォルマリン」ノ如キ、政府ハ今マデ補助ヲシテ居タモノヲ皆ナ之ヲ取ツテシマッタ、之ヲ取ツテモ稅率ヲ何等手加減ヲセヌト云フコトハ、是ハドウモイケナイト云フコトデ、之ヲ加ヘルコトニシマシタ、或ハ農産物ノ中ニ於テモ多クノモノハ増率サレテ居ルニモ拘ラズ——考ヘラレテ居ルニモ拘ラズ、全然今日マデ見放サレテ、而モソレハ山間僻地ノ非常ナ所謂段々畑ノ生活ヲシテ居ル者ノ間ニ近時非常ニ隆盛ニナツテ居ル藁蓐芋ノ如キハ、全然此稅率カラ度外視サレテ居ルト云フコトハ、是ハ最初ニ申シマシタ私共ノ所謂段々畑ニ安住ナル生活ヲスルト云フコトノ根本思想ニモ反スルト思ヒマスカラ、藁蓐芋及切干粉ト云フモノヲ稅番ニ加ヘマシテ、之ヲ保護シヤウト云フコトニナツタノデアリマス、畢竟スルニ吾ノ修正ノ根本ハ以上申シマシタ精神ニ依リマシテ、サウシテ一々此具體的ノ品目ニ互リマシテ調査ヲシ、サウシテ修正致シタノデアリマシテ、說明マダ尙ホ足ラズト思ヒマスケレドモ、ドウゾ是等ノ精神ノ根本ヲ御酌取リ下サイマシテ、本黨モ憲政會モ肚デハ確ニ賛成致シテ居ル、サウシテ十日以來ノ明ル

イ心ニナツテ——一時ハ撤回ヲサレタガ、明ルイ心ニナラレテ本當ニ國民ノ要求スル所ヲ御容レニナツテ、我ガ修正案ニ賛成サレンコトヲ希望スル次第デアリマス

○佐々木委員 私ハ本案ニ對シマシテ政友會ヨリ御提案ニナリマシタ修正案ニ對シテ反對ヲ致シ、岩切君ノ御提出ニナリマシタ所ノ修正案並附帶希望條件ニ對シテ賛成ノ意ヲ表スルモノデアリマス、詳細ニ付キマシテハ何レ本會ニ於キマシテ同僚ノ岡田君ヨリ申上ゲルコトニ致シマシテ、單ニ今申上ゲタテ趣意ダケ申上ゲ置キマス

○工藤委員 今日ハ朝カラ國務大臣ヨリモ相當ナル御答辯ガアリ、政友會ニ於キマシテハ十人ノ中七人ハ修正意見又ハ質問討論意見ガアッタノデアリマス、若シ本案ニ付テ御意見ヲ徵シタナラバ、恐クハ二十七名悉ク相當ナ議論ガアルデアリマセウケレドモ、四十日間ニ互ル質問其他ノ場合ニ於テノ意見ニ依テ、略々ハ議論ヲ盡シタモノト見テ居リマスカラ、今日ハ之ヲ以テ討論ヲ打切ツテ、然ルベク御採決アリ、會期切迫ノ折柄デアリマスカラ、速ニ委員長ヨリ議長ニ報告セラレルヤウニ願ヒマス、之ヲ以テ討論打切リト致シタイノデアリマス

「異議ナシ」「反對」ト呼フ者アリ

○加藤委員長 ソレデハ採決致シマス

ス、工藤君ノ提議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

「賛成者 起立」

○加藤委員長 多數、ソレデハ是デ討論ヲ打切リマシテ、後ハ採決ノ順序ヲ諸君ニ申上ゲ、順次採決ヲ致サウト思ヒマス、第一ニ岩切君ノ提議サレタ修正案、ソレカラ次ニ政友會ノ諸君カラ提出サレタ修正案、ソレカラ第三ニ附帶希望ノ一、第四ニ希望ノ二ト、斯ウ區別致シテ採決ヲ致シマス

○堀切委員 採決ノ順序ニ違ヒガアルヤウニ思ヒマス、即チ原案、政府提案ニ遠ザカッテ居ルモノヨリ先ヅ採決致シマシテ、順次近イモノニ致スノガ至當デアルト思ヒマス

○加藤委員長 ソレデハ政友會ノ提出サレタ修正案ニ付テ決ヲ採リマス、此案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

「賛成者 起立」

○加藤委員長 少數、次ニ岩切君ノ提議サレタ修正案、「其三點ニ付テデスカ」ト呼フ者アリ、小麥、小麥粉、烏卵ニ付テ採決ヲ致シマス、此提案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

「賛成者 起立」

○加藤委員長 全會一致デアリマス

○堀切委員 滿場一致デアリマセヌ、立タヌ方ガアリマス

○加藤委員長 多數デアリマス、附帶希望ノ二ツヲ一緒ニシテ差支アリマセヌカ

「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○加藤委員長 ソレデハ此二ツヲ一緒ニシテ採決致シマス、此岩切君ノ提議サレタ附帶希望ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔賛成者 起立〕

○加藤委員長 多數デアリマス、其他ノ原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ望ミマス
〔賛成者 起立〕

○加藤委員長 多數、ソレデハ其他ハ原案ニ決シマシタ、是デ委員會ハ終了致シマシタ

午後五時五十六分散會

大正十五年三月九日印刷

大正十五年三月十日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社